

## 「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売承認に関する意見募集に寄せられたご意見

### 承認すべきとのご意見

|    |  |
|----|--|
| 1  | <p>クリニックには連日のように緊急避妊希望という患者様がいらっしゃいます。若年者が多いというわけではなく、20代30代の既婚者がメインです。コンドームでの避妊を行っていたが失敗したというケースが圧倒的に多く、いまだコンドームに避妊を頼っている日本のお粗末な避妊事情が伺われます。現行の緊急避妊法では約半数に悪心・嘔吐の副作用が見られ、安全性の面からも、早急に緊急避妊薬の認可が必要と切実に感じます。諸外国から「中絶大国」と非難されている現状を厚生労働省の方々はどのようにお感じになっているのでしょうか？日本の女性にも、せめて国際的平均レベルの避妊法の選択肢が与えられるよう願っております。</p>  |
| 2  | <p>望まない妊娠を避け、女性の健康を守るためにも、ぜひ必要です。性暴力被害による妊娠はもちろんのこと、安定的パートナー（夫やボーイフレンド）との間での思いがけない妊娠によっても、その後の生活（仕事・勉学など）において様々な支障を抱えるのは女性です。女性が自らの意思で妊娠・出産・育児に臨むことがとても重要だと思いますので、緊急避妊薬の服用という選択肢を与えてくださるよう切にお願いいたします。</p>  |
| 3  | <p>私は〇〇〇〇年に発行した「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」の中で「緊急避妊法」について記載しました。また、非常勤講師として看護学校での保健学Ⅱ（公衆衛生学）でも「緊急避妊法」について講義で話しています。というのも、美空ひばりさんや、歌手の千島夫夫人のジェーンシェパードさんは双子の妊娠中絶後に妊娠ができなくなったエピソードや、身近にも丙午のための中絶が原因で子供ができなくなってしまった人の話を聞いていたからです。中絶は出血などによる死のリスク以外にも女性のみがその後不妊になるという危険も負っています。また、この「緊急避妊法」に失敗してその後妊娠が継続されたとしても使用された薬はもともと体内にある女性ホルモン剤なので、胎児に影響はないとされています。やむを得ず妊娠を望まない場合には、緊急避妊として薬剤が投与されることは有用な選択肢と考えます。しかるに、一度くらいは新聞紙上で緊急避妊薬やその入手先の電話番号などが紹介された記事を見ましたが、一般的にはまったく知られていないと思えます。性犯罪被害者への使用も想定されることも考慮し、緊急避妊を目的とする薬剤が販売されれば、より周知徹底がなされ、迅速に本剤を入手できるようになると思います。販売先については、緊急に薬局で手に入れ、その後医療機関にかかるという選択肢もあるかと思えます。今は調剤薬局勤務のため昔勤務していた15年以上前のことですが、処方せん無しで販売されるOTC薬に可能性があるという薬があり、それでもよいかと買って行かれました。上手くいけばラッキー、失敗したら病院へ、です。〇年前に本を書いたことで、私は緊急避妊法と入手先の電話番号を参考書の「ポケット医薬品集」から知りましたが、当然医師の方もすでにご存知のはずです。が、周知はまったくされていません。ピルの重大な副作用は血栓ですが、緊急避妊法は1回にみの短期ですし、女性ホルモン剤は修学旅行や結婚式と日程をずらしたいときに、以前は薬局で普通に販売されていました。周知徹底には多くの人が訪れる薬局での販売なども選択肢と考えます。</p> |
| 4  | <p>医師です。週に数件の緊急避妊ピル（EC）を処方しています。ECの早急な認可を希望しております。</p>   |
| 5  | <p>望まない妊娠を減らすために、一日でも早い承認を切望します。</p>   |
| 6  | <p>緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の早期承認をお願いします。</p>  |
| 7  | <p>緊急避妊薬としての早期の承認を希望します。</p>   |
| 8  | <p>女性の身体を守るためにぜひ承認してください。</p>  |
| 9  | <p>妊娠・出産は望まれたものであれば、大変素晴らしいものです。逆に、望まない妊娠は女性にとって苦痛であり、悲しくもあり、健康に害をおよぼ場合もあります。人工妊娠中絶や児童虐待につながるおそれもあります。中絶の半数が、既婚者の3人目、4人目、5人目は出産が厳しい、という方です。コンドームが破損したので緊急避妊ピルを来院するかともいらっしゃいます。緊急避妊が、今後の確実な避妊（低用量ピル、子宮内避妊器具）につながる場合も多いです。経口避妊薬が承認された時期以降、人工妊娠中絶術、および性感染症は全体的に減少しています。また、最近の研究では経口避妊薬の服用者のほうが適切な医療を情報で教授できるため、性感染症が少ないとのデータもあります。緊急避妊薬が承認されたからと言って、性感染症が増えると言う懸念は無用です。女性の健康管理、維持のためにぜひ副作用の少ない緊急避妊薬が日本に導入されることを切に祈っています。</p>  |
| 10 | <p>望まない妊娠を避けるために、あるいは、性被害者を守るために、必要です。ただ、反面、本来必要なコンドームの使用による感染予防や避妊をせず、性感染症のリスクも高くなることを無視し、性交後ピルを乱用する事を助長する事にもなることが予想されます。従って、金銭的な利益を得るだけの医療施設で、安易な投薬を許可するのではなく「性被害」「夫婦間」などの制限をきちんと設けて届け出る処方体制が必要だと思います。</p>   |
| 11 | <p>とくに強姦被害に遭った女性に対し、副作用の大きい中用量ピルしか手段がないという状況は問題であると考えます。安全性に問題がないのであれば、緊急避妊薬を承認していただきたい。</p>   |
| 12 | <p>横浜市内の精神科単科病院に勤務している〇〇〇〇と言います。緊急避妊を早急に承認して下さいますよう、お願い致します。</p>   |
| 13 | <p>望まない妊娠、人工妊娠中絶術を少しでも減らそうと努力している産婦人科開業医です。緊急避妊薬は長年待ち望んでいた医薬品です。是非、早急な認可を希望いたします。望まない性交の結果、望まない妊娠が成立し、致し方なく人工妊娠中絶術を選択する女性を日々みえています。彼女たちを救うため是非認可をお願いいたします。</p>   |
| 14 | <p>ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認につきまして、一刻も早く承認されることを望みます。なぜなら、①望まない妊娠を防ぐ有効な薬剤であり女性の権利擁護・幸福追求のために重要な価値をもつため、②他の先進国では既に承認されており日本に住むがために先進的医学（薬剤）の恩恵を受けられない状況は改善すべきため、だからです。また当事者（例えばレイプ被害者）で承認を望まない人がいるでしょうか？あるいはレイプ被害者を目の前において承認反対論を明確に述べる人がいるでしょうか？そうした人道的見地もふまえて、迅速なる承認をお願いいたします。</p>   |
| 15 | <p>医師です。緊急避妊を早急に承認してください</p>   |
| 16 | <p>承認に賛成です。緊急避妊用のピルは母体の保護のためにも早期に承認されるべきものと考えます。</p>   |
| 17 | <p>レイプ被害に遭った女性を助けるため、緊急避妊を早急に承認することを、強く要望します。</p>  |
| 18 | <p>製造販売は承認してもいいが、バイアグラと同じ保険適応はなしでいいと思う。</p>  |
| 19 | <p>公衆衛生に従事する者です。性的犯罪被害者の人権を守るため、緊急避妊を早急に承認してください。</p>  |
| 20 | <p>友人で、中絶手術の経験がある女性がいます。中絶してしまった罪の意識と、将来もう自分は子供が産めないかもしれない…といった不安を打ち明けられた時、どう声をかけていいかわからなかった事があります。そのような思いをせずに済む方法があるのであれば、日本でも使用できるようにすべきだと思います。もちろん安易に使われないように指導することが大前提となりますが…。また、性犯罪など不可抗力の場合の女性を助けるツールとして、当薬剤を国で認める事は必要だと思います。</p>  |

|    |  |
|----|--|
| 21 | 緊急避妊早急に承認してください。レイプ被害の方、病気で低用量ピルを定期的に内服できない方など必要とされる方は多くいます。緊急避妊に頼って、普段の避妊を正しくしなくなるのではないかと考えられる方々もいらっしゃるようですが、そうでしょうか？緊急避妊を必要として病院に来た方に、今後の避妊についてまで一緒に考える。これが婦人科のあり方なのではないかと思いませんか？薬は処方すればよいものではありません。その後のフォローまで考えてみてはどうでしょうか？妊娠という責任を心身ともに抱えるのは女性です。避妊について男性に任せるだけでいいのでしょうか？人工妊娠中絶よりもリスクが少ない、今後の妊娠・出産への影響を考えてもリスクが少ないものがあるにもかかわらず、それを承認されていない方法で頼る（現在は中用量ピルを代用している）、または選べない現状では、女性の健康が蔑ろにされていると捉えられても仕方ないのではないのでしょうか。 |
| 22 | 児童虐待の一因に、望まれない妊娠があるとされております。そのような事を防ぐためにも、承認をお願いします。   |
| 23 | 賛成です。性被害による望まない妊娠を少しでも減らしてください。  |
| 24 | 科学的にノルレボ錠の安全性は明らかです。緊急避妊を早急に承認してください。  |
| 25 | レイプ被害にあった女性を守るためにも是非必要です。  |
| 26 | 性交後の否認については需要も多く、当院にても1週間に数名の割合で訪れています。強姦後の悲惨な妊娠などの場合にも救いの薬剤となります。是非承認をお願いしたいと思います。  |
| 27 | 緊急避妊法が適応の薬剤はありませんが、現在も緊急避妊法として医師の責任のもと適応外の中用量ピルが使用されています。レイプされた人にも中用量ピルの処方が推奨されています。緊急避妊法により、これまで数多くの望まれない妊娠が避けられてきました。正規の適応症のある緊急避妊薬の承認を望みます。   |
| 28 | 〇〇県産婦人科医学会で県警との連絡係をしていますレイプ被害にあった女性のためには緊急避妊は絶対必要です緊急避妊用ピル ノルレボ錠0.75mg販売の承認をお願いします   |
| 29 | 今、中学校や高校に性教育を行っています。2009年に〇〇〇〇〇〇教育研究会で行った「高校生の性に関する調査」での緊急避妊法の認知度は、「知らない」男子高校生80.0%女子高校生72.6%です。ようやく知識が普及しつつあるという現状です。レイプなどの被害を受けて、ようやくの思いで服用する薬を副作用の吐気で吐いてしまったら…。そしてその人は他の人にも伝えると思います。より副作用の少ないノルレボの承認をぜひお願いしたいと思います。婦人科には、レイプされて妊娠、コンドームが破損してECを服用するも吐いてしまったと、目を被いたくなるような悲しい女性が訪れます。より副作用の少ないノルレボ錠の承認をお願いします。  |
| 30 | 医師です。緊急避妊を早急に承認してください  |
| 31 | 産婦人科開業医です。緊急避妊ピルは現在副作用の強い錠剤しかわが国では認められておりません。明らかに副作用が少なく効果の強い製剤を認めるべきだと思います。   |
| 32 | ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売の承認に賛成します。現在でも、既に、承認外のホルモン剤が「緊急避妊ピル」として処方されているのが現状だと思います。たとえば、レイプ被害にあった女性が、それだけで深い傷を負っているのに、さらに加害者の子どもを妊娠することへの恐怖・不安をかかえ、あるいは適用外のホルモン剤を使用することで大きな副作用に苦しむ、というのは、とても悲しくつらいことです。それを見てもみぬふりをし、この薬剤の承認を見送ることは、先進国として、とても恥ずかしいことだと思います。強姦被害にあったとき、妊娠を望んでいないときに避妊に失敗したとき、より、体への負担が少ない方法で、望まない妊娠を避ける手段を、女性達に与えてください。  |
| 33 | ノルレボ錠は緊急避妊ピルとして活用できると聞いております。レイプ被害に遭った女性を苦しめたくないのも、この薬が認可されることを期待します。ノルレボ錠の安全性は明らかで、この薬を承認するのはチリ、ペルー、イラン、アルジェリア、アフガニスタン、北朝鮮、そして日本の7カ国だけだということでした。世界のほとんどの国が認めている安全な薬、レイプ被害等による望まない妊娠を防ぐという有効な薬を、未だ日本が認めていないのはおかしいと思います。ぜひ承認していただきたいです。   |
| 34 | 私は過去に中用量ピルを飲んだことがあります。悪心の副作用がでましたが、そのまま何もせずに妊娠するよりましだと思い、耐えました。今回承認を議論している薬は、副作用がより軽いと聞きました。やむなく緊急避妊する女性のためにも、承認してください。新しい緊急避妊ピルができたからと言って、安易な性行動に走る人が増えるとは思えません。そんな人は今でもやっていると思います。ぜひ、正しい判断をお願いいたします。   |
| 35 | 女性の健康と性被害にあった人を守るために必要です早いうちに承認されることを望みます  |
| 36 | 現在は公に認められていない中用量の(E+P)配合錠を緊急避妊が必要な患者さんに用いています。世界でも未承認の国は7カ国と聞いております。ぜひとも、副作用の少ない、また効果が認められるこの薬剤の承認をお願い致します。  |
| 37 | 避妊方法選択における女性側の選択肢の確保とともに、女性の身体保護の為に緊急避妊薬は必要不可欠だと考えます。現在も配偶者間であっても墮胎件数が多くあり、その際女性のみがその身を痛みに晒しているのが現状です。また、昨今の景気悪化など経済的事由で子が産めないなど配偶者間であっても妊娠を望めない現状でもあります。墮胎は後に不妊や他の病症を引き起こすこともあるので、女性の身体保護優先のために緊急避妊薬は絶対必要です。  |
| 38 | 被害者支援センターの理事をしています関係で、性被害の女性を数多く見ます。こうした方々の救済の一助としてぜひ、ノルレボを認可してください。お願いします。  |
| 39 | 副作用の発症率、12時間後の服用が出来ない女性、妊娠回率から見て女性の最後のセカンドチョイスであるノルレボ錠の早期承認・販売を希望します。現役婦人科医師の知識不足による間違っただけの緊急避妊の処方も多く、これによって妊娠回避出来なかった女性の苦悩は測りしれません。早期承認を強く希望します。  |
| 40 | 緊急避妊はプラノバルで代用しなさいといっている厚生労働省のかたは、一度どれだけ副作用の吐き気が酷いものか体験してみてください。専用品があれば、その苦しみを回避できます。また、正式な緊急避妊指導が普及することで、医師による誤った緊急避妊処方が減らせます。誤指導されている女性はとても多いです！！   |
| 41 | 性暴力被害者、バリア法の失敗（コンドーム破損・脱落）という状況に陥った女性を妊娠の恐怖から救う最後の手段である緊急避妊は女性の健康を守るために、また、性被害にあった人を守るために必要であると思います。   |
| 42 | 婦人科医として、緊急避妊薬は早急に承認されるべきと考えます。   |
| 43 | 私の勤務している病院には緊急避妊を求めて来院される方がかなりおられます。コンドームが外れた・破れたなどのケースに加えて、レイプ被害に遭われて警察官とともに来院される女性もおられます。中には緊急避妊の知識がないためにレイプ後に妊娠して中絶手術を受けられる方もいます。ノルレボ錠は従来国内で緊急避妊目的で使用されてきたプラノバルなどの中用量ピルと比べて格段に副作用が軽いというメリットがあります。もちろん、きちんと避妊せずに日常的に緊急避妊法に頼っていると、年間を通した妊娠率は高くなりますので、しかるべき避妊指導とともに本薬剤が提供されるのが望ましいと考えます。   |
| 44 | ノルレボ錠の承認に賛成です。知り合いの医師から、現在緊急避妊薬の代用として使われている中用量ピルは副作用が強く、また使用方法を誤るケースが多いと聞きました。今回ノルレボ錠が承認されれば、暴行の被害にあった女性達をより安全に救済できると考えます。是非承認をお願いします。   |

|    |   |
|----|---|
| 45 | ノルレボは必要です。プラノバルやソフィアAを代用する緊急避妊法は、医師が正しい処方を知らない場合もあります。医師を信頼したのに、間違っただけで望まぬ妊娠をした女性は数多くいるはずで、避妊に100%はありませんが、避妊の選択肢を広げることは、女性を守るために必要なことではないでしょうか。あくまでも「代用」でしかない方法をいつまで続けるつもりでしょうか。  |
| 46 | レイブによる妊娠でその女性がいかにか苦しむのか想像しただけで胸が痛みます。私も女の子の父親ですが、わが子がそのような状況におちいたらと思うと、...。このようなことが起きない可能性が高まるのであれば早急に承認してほしいと妻とも話しています。  |
| 47 | 女性が産みたいときに産める、産みたくないときは妊娠を避けられるための有効な手段の一つである緊急避妊薬の速やかな承認をお願いします。世界に遅れること40年後にやっと承認が実現した低用量ピルの二の舞にならないように、日本が女性のリプロダクティブ・ヘルスに優しい国であることを示して頂きたいと思えます。  |
| 48 | 承認申請から認可までに、なぜこんなに日本は時間がかかるのでしょうか。新薬は、大変大きな知的財産であり、大きな利益を得るものなのに、みすみす海外に利益を搾取されるということが多すぎます。いったい厚生労働省の役人は何をして、こんなに時間がかかるのでしょうか。しかし、承認の遅れも、役人だけではなく国民性のためでもあると考えられます。副作用があると、なんでも国に保証しろと言う他人任せの考えが、承認の遅れを招いているのかも知れません。ただ、薬害エイズの問題は、完全に役人の悪が招いたものですが。サリドマイドについては、詳しくは分かりませんが、最近になって、別の薬効が発見されたということですので、人間の使い方次第なのだとすることが、よく分かります。日本は、資源が何もなく、知的財産のみで存続している国です。薬の承認は、大いに力を入れていくべきことであり、後れを取ってはいけないと考えます。いろいろな新薬の試験や承認ができるだけ迅速に、そして、国も力となって進めていき、国益とするべきだと強く思っています。そのような科学を大切にしている国の姿勢が、子どもたちの理数への興味を強くするはずであり、国の発展になると思えます。偏見を言わせてもらおうと、スポーツでは、国民は暮らしていません。科学、工業が富を生み、スポーツにつながっているのです。実際に、経済がひどい、スポーツが強い国はたくさんあります。科学への子どもたちへの夢を持たせるためにも、新薬、医学は非常に大切です。（私は教員です）本業については、調べてみると、海外ではほとんどの国で認可され、使用されているとのこと、認可しないという理由が見当たりません。このようなことを国民に問うという行為そのものが、臆病であり、日本の科学の進歩を遅らせているのだと思えます。いだから、今年のように癌の新薬を外国から買うということになるのです。日本の製薬、科学に栄光あることを切に願います。私は認可に賛成します。 |
| 49 | 医師です。副作用の少ない緊急避妊薬は必要です。レイブ被害の女性にせめて忌まわしいレイブによる妊娠を避けるという安心感を持たせてあげたい。自分の家族の女性がレイブにあつて妊娠してしまつたとしたら、きっと中絶手術が必要となります。被害者から見た費用とリスク、医師の時間と精神の負担というどの点から見ても緊急避妊薬の有用性が明らかです。現在はプラノバルという中用量のホルモン剤が緊急避妊薬として代用されていることが多いのですが吐き気や嘔吐など副作用が半数以上に見られます。ノルレボ錠は副作用が格段に少ない様です。残念なことに泥棒や詐欺師と同じようにレイブをする人間がいることは事実です。せめて妊娠を避けられる安心感を。  |
| 50 | 望まない妊娠の回避のため副作用の少ない、安全性の高いノルレボ錠の早期承認を望みます。  |
| 51 | この薬の必要性を強く感じます。自堕落な避妊不備による安易な回避方法という用途に捉える意見も多いかと思いますが、例えばレイブによる望まない妊娠を回避するケース。避妊失敗による妊娠がその女性の命を脅かしてしまうほどの重篤な疾患を持っているケースもあるでしょう。性病の蔓延、避妊の軽視といった危惧されるご意見もあるかと思いますが、社会として「教育」はしっかりと行っていたく、その上でいざというときに女性の健康や人生を守る知恵も必要だと考えます。緊急避妊用という確たる薬が存在することで医師が責任に苦しみながら治療用ピルを代用することもなくなるでしょう。   |
| 52 | 私は産婦人科の勤務医をしています、産婦人科医で問題になるのが強姦の被害者などの診療に対し、緊急避妊の目的で中用量ピルを投与しておりますが、現在緊急避妊に最適な薬剤は日本では許可されていません。強姦被害者（不幸な妊娠をさらに確実に防ぐ）を救うためにノルレボ錠をぜひ承認していただきたいと思ってパブリックコメントに応募しました。  |
| 53 | 承認すべきだと思います。理由は現在でも緊急避妊治療は実質行われているということ、さらに個人輸入でのノルレボ錠の（濫用に近い）使用が多く行われているということ。この2点により医師の正しい指導の下でという条件付ながらノルレボ錠を承認すべきであると考えます。  |
| 54 | ■ノルレボですがWHOでは、望まない避妊を避けるための方法としてノルレボの服用など限定的な緊急避妊法を進めている点。■ノルレボを逆輸入にて安易に個人輸入することは危険であるにもかかわらず、検索すると大量に出回っており、正規に産婦人科から手渡せられることを望みます。■ネット検索によるとモーニングアフターピル（中容量、もしくは低用量ピルを1度に多量に摂取する方法。）・・・強制的に女性の状態を避妊しない状態に持っていく方法です。吐き気や頭痛などの副作用があるとされる。【危険すぎる、この治療法の放置こそ厚生労働省は見逃してはいけません】■過去、夫婦生活にてコンドームが外れているのに気がつかず、精子を殺すためにココアを洗剤を妻に使用してもらいました。緊急避妊薬があれば危険な洗浄もしなくて済みます。■命を粗末にしてはいけません、女性の負担が大きい今の状態を一步進めたいと、ご検討をお願いします。また、一般薬局で市販されるわけではないから、安易な利用のされ方も無いと考えます。  |
| 55 | 望まない中絶を防ぐために、より安全な選択肢がほしい   |
| 56 | 産婦人科医師です。緊急避妊を早急に承認してください。望まない妊娠から女性を守るために必須の薬剤です。特に、レイブ被害に遭った女性を苦しめないために必要です。プラノバルを使い続けなければならない理由が分かりません。  |
| 57 | 婦人科のクリニックを開業している医師です。今日も緊急避妊ピル希望の患者さんが来院されました。従来、私たち医師の責任で処方している中用量ピルと比較して、副作用の少ないノルレボ錠の安全性は明らかです。緊急避妊を早急に承認してください。   |
| 58 | コンドーム不使用・コンドームの敗れに気付いた時、そして最近増加しているデートDVなどのレイブ被害時等、緊急避妊は、多くの女性にとって、望まない妊娠を避けるための最終手段です。世界で普通に用いられている緊急避妊薬を使用できなかった日本の現状は早急に改善すべきと考えます。副作用の多い中用量ピルでの代用を中止し、ノルレボの早期の承認を望みます。  |
| 59 | 産婦人科医師として、緊急避妊薬の処方求められる機会も多く、現実には我が国で唯一可能な手段であるノルゲストレル・エチニルエストラジオール合剤であるプラノバル配合錠を、適応外使用のため自己の責任において緊急避妊薬として処方しております。しかし、この方法は副作用としての嘔気が非常に強いという問題があります。一方、ノルレボ錠はプラノバルと比して有意に副作用が少ないという治験結果が出ております。ノルレボ錠を必要とするのは、単に避妊に失敗したという人ばかりではなく、性犯罪被害者も少なくありません。これらの人々に薬剤による副作用という二重の苦痛を与えないためにも、より安全なノルレボ錠の早期承認を望みます。   |
| 60 | 悲しいことではありますが、誕生する命がすべて望まれたものではないことは事実です。レイブなどでやむを得ず妊娠をしてしまう場合もあります。そのような場合、緊急避妊薬は必ず必要だと私は考えます。現在は中容量のピルを代替として使うことがほとんどですが、副作用が強く女性にとっては重ねて辛い結果になります。そのためにも低用量ピルは必要だと考えます。   |
| 61 | 性被害にあわれた女性の緊急避妊のため、必要な薬だと思います。国内での承認を強く求めます。  |
| 62 | レイブ被害に遭った女性を2重に苦しめないために、ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売を承認して下さい。女性が自分の意思に反する性行為の結果、望まない妊娠まで背負わされるのでは、あまりにひどいことだと思います。現在、レイブ被害に遭った女性に対して提供されている緊急避妊ピルの中用量ピルよりもノルレボ錠0.75mgの方が副作用が弱いとの研究結果も出ていますと聞きます。また国際的にも承認している国の方が圧倒的に多い中で、なぜ承認されないのか、納得できません。  |

|    |   |
|----|---|
| 63 | 緊急避妊薬が認可されてない状況自体が異常なことは諸外国を見れば明らかです。不幸で一生に渡る問題が起きないようにするために当然必要な薬です。一日も早い認可を求めます   |
| 64 | 緊急避妊薬は必要であると、日々痛感しています。レイプなどといった特殊な状況だけでなく、すでに若い世代の性交渉への興味が非常に高く、不適切な情報蔓延を抑える術もない現時点では、性交可能女性は、自身の身を自分で守らないといけない状況になっています。特に沖縄は、失業率が高いにもかかわらず、幼すぎる状況で親となり、家族全体が不幸に見舞われる(心中など)をよく目にします。望まれて生まれるべき命であるはずのものが、望まれない命として、世に生み出され、結果として虐待などの他の社会的要因も引き起こしています。今は性交渉は以前よりかなり手軽です。にも関わらず、避妊レベルが現状では、この様な悪循環を更に増悪させることと思います。ぜひ、販売承認をお願いいたします。   |
| 65 | 女性健康情報サイト「○○○○」の管理人をしています。○○○○は基礎体温や月経周期を管理し、自身のセルフケアを行う目的で、1万5千人ほどの女性が利用されておられます。SNSシステムになっているので、日々様々な情報交換がある中で、先日も学生さんからの書き込みで、排卵期に彼とのセックスでコンドームをつけたのにも関わらず途中で脱落してしまい不安で不安で、結局モーニングアフターピルを使用したという報告がありました。「レイプ被害に遭った女性を苦しめたくない」という気持ちももちろんですが、それほど特別のケースでなくても「コンドームを使って避妊していたのに、脱落してしまった、破れてしまった」という緊急事態は日常であり得ます。年齢に関係なく、女性はこのような不安といつでも隣り合わせなのです。もちろん妊娠は女性だけでなく、男性にとっても同じ割合で責任を持つ事柄だと思いますが、肉体的・精神的に直接的な影響を受けるのは女性です。妊娠避妊については日頃自己管理をすることが当然ですが、これらの不安を軽減するためにも、承認されたモーニングアフターピルの必要性を痛感しています。  |
| 66 | 承認をサポートします。性被害にあった人を守るため、女性の健康を守るために必要と考えます。低用量ピルの際に直接は関係しないエイズ感染の危険を高めるとの理由等で、承認が先送りされたと感じますが、その様な事が無いように宜しくお願いします。  |
| 67 | レイプ被害に遭った女性を救う施策や支援は、驚くほど不十分です。そんな中で、望まない妊娠を防ぐために、この効果の高い新薬が一刻も早く承認されることを切望します。   |
| 68 | 私は医療の専門家ではないので、一人の女性として意見します。安全性が他の国で担保されていて、日本でもそれなりの検査を通して安全性に問題がないのであれば、販売承認してほしいです。妊娠は巷ではそれほど大きく語られません。しかし、中絶でなく自然におこる流産であっても、それまでの妊娠期間、そして処置は女性にとって体に重大な負担と苦痛を与えるものです。まして望まない妊娠の可能性がある場合にはその精神的苦痛も計り知れません。そして、性行為が同意であれ強制であれ、その苦痛は女性ひとりの体で受け止めなければならないのが生物学的な真実です。ピルを導入するにあたって、おそらく薬の実態を知らない人が反対する場合は、真摯がどうのと言うことだと思えます。女性一人が悪者にされる図式です。どうかそういう物事に流されずに、医薬品としての安全性がクリアできるのであれば、後は当事者の女性にとってベストな提供方法を考えて、すみやかに承認していただくよう望んでやみません。   |
| 69 | 緊急避妊を早急に承認してください。レイプ被害にあった女性を苦しめることないようにしてください。世界ではすでに承認されています。   |
| 70 | 私は中絶問題を研究する者です。諸外国では、比較的早くからモーニングアフターピルという薬剤が使われています。ノルレボ錠はこの種類に属するものと思われませんが、副作用が少ない緊急避妊薬だといわれています。意図せずに妊娠した場合、中絶ではなく、緊急避妊薬などで妊娠が阻害できれば、これは、女性にとっても、また、社会にとっても非常に有益なことだと考えます。その根拠・意見として以下に7つの点を挙げます。1、中絶は女性への悪影響をもたらさず、妊娠は、特に若い年代は、生理周期が不規則であり、女性にとって全く予測不可能な場合が多いことがあります。中絶は、胎児の生命を殺害することであるだけでなく、女性の身体や精神にも何らかの影響を起こさないではありません。それから、煩雑な中絶手術が不妊問題を生じる原因となる場合もあるのです。中絶よりも、緊急避妊を優先すべき理由があります。2、中絶数が減少し胎児生命が保護される。これは結局、望まない妊娠の中絶数を減少させることにもつながり、胎児の生命への保護という点にも合致します。3、レイプ被害などで現実に利用されている。一部の産婦人科医師が、レイプ被害者などに被害後ノルレボ錠を投与し、効果を上げているという現状があります。これは、上の3つの理由からもレイプ被害のみならず、一般の望まない妊娠にも普及させるべきだと思います。4、性道徳の問題。避妊薬の普及に必ず上げられるのは、性道徳の低下の問題ですが、これは、社会そのものが性を煽っている状況(マスメディアなど)を黙認した状態では、結局、女性のみが損害を被るような結果になってしまいます。性道徳については、男女関係のあり方や、避妊法の教育など、適切な性教育を行っていくことで対処していく必要があります。現状で性道徳を言うことは、結果的に、女性だけに重い貞操観を課すだけでなく、女性のみ妊娠・中絶の負担をかけることになるのです。5、指定医師団体から予測される反対の無根拠。また、中絶手術は自由診療であるため、母体保護法指定医師の裁量によって、正確な届出がなされないことによる統計的数値の信頼性を動揺させること、また、脱税の温床になっているという問題があります。以前の中量ピル承認の是非に関しては、ピルが普及すると中絶手術減少により収入減となるという意図から、指定医師達が反対に躍起になったという事実があります。女性の身体や安全よりも、自分たちの経済的利益を優先するなど医師としてはあってはならない行為だと思えます。副作用がとりわけ深刻でなければ、中絶より、緊急避妊を優先すべきです。6、処方法。最初は、医師の処方による服用と言うことになれば、むやみに使用されることは回避されると思います。ただし、所定時間内に受診する必要は、妊娠阻止への障害となりえますので、ある程度の安全性が明確になっているのであれば、事後ではなく、事前に処方してもらうことが可能となるべきです。性交渉の後、所定時間内に服用しなければ避妊の効果は無いとすれば、そのような受診の時間を取ることができる例は減少するからです。7、緊急避妊薬を常用への注意喚起。緊急避妊薬でも、ホルモン剤であることには代わりがないので、常用すれば身体的悪影響が及ぶ可能性もあります。したがって、常用による悪影響の存在、また必要であれば、やむを得ない場合にのみ緊急避妊薬を使用し、通常は、他の安全な避妊法を用いることを注意喚起するべきでしょう。そうでなければ、期待された効果をえられないリスクがあると考えます。以上が個人的意見です。 |
| 71 | 妊娠によって、女性の生活は大きく変わってしまいます。レイプなどの被害にあった方が、もしその被害によって妊娠してしまったら、被害によってつらく悔しく思うだけではなく、その結果の妊娠によって、出産するにしてもしないにしても生活や人生が変わってしまいます。それだけは避けてあげたいと思います。また、コンドームなどの他の避妊法を使っていたにもかかわらず失敗してしまったというときに、その状況で女性が「今妊娠したくない」と思っていた場合には、かなり大きな不安があると思います。実際に妊娠してしまうと、仕事や体調面に大きな影響があるので、そのことに対する不安もあると思います。そういうときに、緊急避妊を利用することで、軽減することができ意味のあるものになると思います。避妊方法についても、一般的に広まっているのはコンドームだと思われるが、男性側の意思に任されています。女性側の意思で女性が主体となって使えるものは薬剤がメインだと思います。だから、承認されることで、多くの女性を助けることにつながると思います。  |
| 72 | 「産婦人科医師です。緊急避妊ピル(ノルレボ錠)を早急に承認してください」  |
| 73 | 一日も早く承認されるべきだと考えます。緊急避妊に無知なばかりに予期せぬ妊娠をしたり、性暴力の結果の中絶という大学生のケースをいくつもみてきました。より安全な緊急避妊薬の承認は世界の趨勢であり、女性の権利保障です。低用量ピルのように後手にまわり、非難と嘲笑の的になることがないようにされたいです。   |
| 74 | 最近の日本は、子供ができたとしても育てられない環境にある。母と子の心中や、若さゆえに子供を育てられずに見ごろしてしまう事件、虐待とそれによる子の死亡は、1日1度といわずに報道される。そのたびに悲しく、やるせない思いをしている。子を殺めなければならなかった背景を改善することは気の遠くなるほどの時間がかかる。デートDVによる性行為強要による不可避な妊娠だってある。女性を犯罪者にしないためにも、緊急避妊薬は必要。できれば、ドラッグストアで処方箋なしで購入できるようにしてほしい。女性を犯罪者にはいけない。   |
| 75 | 産婦人科医です。強姦による妊娠や望まない妊娠を防ぐため、また女性が本当に産みたいときに産めるように、緊急避妊ピルを支持します。   |

|    |   |
|----|---|
| 76 | 緊急避妊薬は、性暴力被害者、バリア法の失敗（コンドーム破損・脱落）という状況に陥った女性を妊娠の恐怖から救う最後の手段であり、女性の健康を守るために必要  |
| 77 | 絶対必要です。多くの幼い子供が虐待を受けています。年々、性行為の弱年齢化が進んでいると思います。経済的に子供を育てられなかったり、愛情のない男性の子供産んだりしています。残念ですが女性には、強引に性行為を強いられることがあります。女性の体を守るため、自立を助けるためこの薬は必要です。  |
| 78 | 医師です。緊急避妊を早急に承認してください   |
| 79 | 女性を支援する事業を行っているNPO法人です。今なお、レイプやDVにより望まない妊娠をして苦しんでいる女性は後を絶ちません。緊急避妊は女性の健康と人生を守るためにぜひ必要です。  |
| 80 | 審議の対象となっている「ノルレボ錠0.75mg」は、米国ではすでに、同主成分である「プランB錠0.75mg」が、17歳以上の患者にはOTC薬として、16歳以下の患者には処方せん薬として市販されています。私は米国の薬局で薬剤師をしています。勤務先の薬局では1週間に平均1、2箱が売れています。購入者が17歳以上であることを確認するため、購入する際に写真付きの身分証明書提示を要求しています。購入する人たちの大半は20代の女性ですが、30代、40代のご夫婦がそろって来られることもあります。発売元のテレビコマーシャルや雑誌の折り込み記事などで、本剤が、「緊急避妊薬」であるという認識は、広く一般に受け入れられているようです。また、プランBの価格は、1錠49.99ドルと、コンドームなどの避妊方法より高価であることも、消費者に常用するに値しないという印象を与えていると思います。患者さんから受ける質問の多くは、本剤が、すでに妊娠している場合にも奏功するかどうか、飲むタイミング、副作用、どのように効くのか、ピルとどう違うのか、というものです。日本での本剤承認への大きな懸念の一つには、本剤が、未成年者のセックスを助長するのではないかと、という議論でしょう。しかし、米国の現状をみると、未成年者のセックスは、本剤のみに影響されるようなものではありません。15歳、16歳の一般的な家庭で育ち、高校に進学しているような未成年女性による妊娠は珍しくないのです。インターネット、その他、ありとあらゆるセックス、避妊、妊娠に関する情報が簡単に得られます。プランBに至っては、日本人であれば、米国へ渡航すればOTC薬なのでたやすく購入できます。インターネットで購入することも可能でしょう。活発な議論をしていくべき点は、本剤のエイズ予防よりも、医療従事者／教育者／保護責任者が正しい情報を把握し、適切な家族計画を未成年者ができるようにする支援システムだと思います。ところで米国において、最近、MTVというテレビネットワークで、「16歳で妊娠」という人気番組が放映されています。出演したティーンエイジャーのママが雑誌の表紙を飾り、あたかも人気者のような取り扱われ方をされているのですが、番組の意図は、未成年者の妊娠の苦悩と現状を伝えることにあります。赤ちゃんの両親となった16歳のカップルが、自分たちで住む場所も確保できず、それぞれの両親のもとで世話になっている姿、学校生活と両立できず、また、就職にも困窮している姿を、本人たちの言葉で紹介しています。番組がコマーシャルへと切り替わる際には、未成年者の妊娠は100%、回避可能であるというメッセージも送り続けています。皮肉なことに、米国ではプランBという薬があり、望まない妊娠を回避することができるといった情報と手段があるにも関わらず、未成年者の妊娠が増加しています。米国の現状をそのまま日本のそれと比較することはできません。しかし、情報の解釈は、受け取る本人に依存しているため、米国のティーンママを格好いい、ととらえる日本のティーンエイジャーがいても不思議ではありません。承認に際し、発売するかどうか、という議論はもちろんです。それにも増して患者が本剤について正しく理解し、適切に使用するために、彼らが始めにコンタクトをとると考えられる医療従事者、なかでも医師／薬剤師に十分な情報提供（例：本剤が中絶とは全く異なること）を行い、プライバシーの配慮から通話料無料の電話相談窓口をもうけ、患者からの質問についても回答できるサポートシステムの配備が必要でしょう。それらが整ってはじめて、本剤が、若者だけでなく、30代、40代の母親となる女性が、自らの人生設計／家族計画を真摯に考え、実行する手段となると思います。 |
| 81 | 倫理的に、人の命を絶つという点では問題があるように思われますが、今回の場合、生か死を判断するのは、その子の親であるという点で賛成です。 昨今、若者の早熟化が進み、希望妊娠ではないケースが増加しているという話をよく耳にします。また、若者に限らず、『希望でない妊娠』をして出産した場合、その子の面倒を親は見続けてられるのでしょうか？そういう意味で、親に判断をさせたいという点では良いと考えます。性行為後72時間しかない判断期間で結論を出すのは難しいが、未成年、金銭的問題、男性の一方的判断、犯罪による被害など、即避妊の判断ができるケースは多いと考えられます。この希望ではない妊娠をする可能性のある女性に対して使用できれば、女性の将来、また、不幸に生まれてくる子も減少できるでしょう。また、違う点で言えば、WHOも推奨、世界でも多くの国が承認しているという薬です。ドラックラグをなくすためにも、世界基準に合わせるべきではないでしょうか。   |
| 82 | 日常診療の中でも、内科の外来にさえ性暴力被害や、性行為中のコンドーム破損・脱落の失敗により緊急避妊の手段を求める受診者が後を絶ちません。女性のエンパワーメントの時代です。今回の承認に先立ち、反対意見による承認の遅れなどがなきよう願っています。   |
| 83 | 婦人科をしている医師です。ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認を是非早急をお願いいたします。レイプをはじめ女性本人の責任ではない妊娠を回避するため、外来で多くの女性が緊急避妊ピルを希望して来院します。現在日本で唯一使用できる薬剤は副作用が多く、服用する患者さんのアドヒアランスに影響しております。是非早期にノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認をお願いいたします。   |
| 84 | 最近緊急避妊を希望される患者さんが大変増えています。ぜひノルレボ錠を認可をお願いします。  |
| 85 | ノルレボ錠自体に生命への危険な副作用がないのであれば、すぐに認可すべきであると考えます。なぜなら、緊急避妊は、子宮内を搔爬したりする中絶手術よりは身体へのリスクが少ないと思われるからです。この際に性感染症のリスクなど、薬自体の副作用でないものを考慮してはなりません。性感染症は、緊急避妊を認めなくても蔓延を止めることができないからです。  |
| 86 | 思いがけなくレイプの被害にあってしまったとき、女性が心と身体に負う傷ははかりしれません。そのことだけでも耐え切れないくらい大きいのに、さらにその日から彼女は、「もしかしたら妊娠してしまったかもしれない」という恐怖にさらされます。そして本当に妊娠してしまっていたら、「中絶」というさらに大きい傷を負うことになるか、あるいは聖女のようにレイプの結果できた子どもを受け入れるか。しかし、後者の場合も、子どもの存在が忘れたいはずの傷へと何度も引き戻し、もしかしたら子どもを虐待してしまうということがおこるかもしれません。「中絶」した場合も、「私は命を殺してしまった」という、全く彼女のせいではないのに「殺人者」という責め苦を彼女は負うこととなります。憎むべき犯人はまったくそのような葛藤から免れているというのに。レイプにあってしまった女性を、そのような苦しみから救うために、緊急避妊用ピルの製造販売の承認は必要です。そして、知り合いの医師からの情報によると、ノルレボ錠0.75mgには重大な副作用が伴うわけでもない。他国では早くも承認され、実際の使用例も積み重ねられてきており、わが国はその使用が許されていない少数の国の一つだと聞いております。ぜひ、ノルレボ錠0.75mgの承認を進めてくださるようお願い申し上げます。   |
| 87 | 日頃から、緊急避妊ピルを求めて受診する女性にプラノバールを処方しています。望まない妊娠は女性の心理・身体的な健康を大きく損ないます。安全に処方できる薬剤を医師も女性も望んでいます。  |
| 88 | 世界中で性的弱者である若い女性達の望まない妊娠を未然に防ぐことができるノルレボ錠0.75mg。世界で未認可なのはチリ、ペルー、イラン、アルジェリア、アフガニスタン、北朝鮮、日本の7カ国のみです。日本が自称先進国であるならば、これでは名ばかりです。熟慮以前に製造販売承認が急務です。  |
| 89 | 望まない妊娠を防ぐ方法として、緊急避妊ピルは大変重要な役割を担っています。特に、レイプ被害者の緊急避妊は警察で公費で実施されているほど、有意義です。その薬は早急に承認され市販されることが強く求められます。是非緊急避妊薬を早急に承認してください   |

|     |  |
|-----|--|
| 90  | 望まない妊娠を回避する方法として女性に選択肢を与えるということで、賛成です。既に多くの国では一般用医薬品として販売されているので、現在は個人輸入による医薬品の使用も少なくないのではないのでしょうか。日本で承認することによって、より安全で的確な処方につながると思います。ただ緊急避妊の承認は安易な性交渉に繋がる可能性があるため、避妊ピルやコンドーム使用の促進に繋がる教育もより大切になってくると思います。しかしこれは緊急避妊薬がなくても促進すべきで、緊急避妊薬を出さない理由には至らないと思います。   |
| 91  | レイプ被害にあった女性のために、絶対に必要です。   |
| 92  | 東北北部にて産婦人科勤務医師をしております。低収入、貧困の中、子どもを育てることができず、有効な避妊方法を選ぶことなく、妊娠中絶にいたる女性が非常に多いのが現実の日本東北北部です。せめて、世界中で一般に用いられ、安全性の確認されているノルレボが使用できれば、『望む時期に望む相手との祝福される妊娠』を助けてあげることができます。世界中の中での女性への負しい対応をせざるを得ない、今の日本を何とか助けてください。一国でも早い承認を望みます。  |
| 93  | 緊急避妊薬の認証を早急に進めていただきたい。米国に留学していたときに、避妊についての考え方が、日本が大変遅れていることにショックを受けました。女性を守るという考え方がないように思います。ぜひ、安全な緊急避妊薬であるノルレボ錠を早急に日本で使用できるようにしてください。   |
| 94  | 女性の健康と望まれない妊娠を防ぐために早期に保険適応されることを望みます。  |
| 95  | 性暴力被害者、避妊失敗に陥った女性の健康と守るために必要と考えます。   |
| 96  | 諸外国ではすでに認可発売になっており、処方箋すら必要なく購入できる国もあります。本邦では緊急避妊法として使用できる薬剤がプラバノールしかなく、嘔気の副作用が問題です。性暴力の被害者や避妊法の失敗者を二重で苦しめる結果となっています。また望まれずに生まれた後の命に対する、虐待など悲惨な結果を予防する効果も期待できます。ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売が早期に承認される事を望みます。   |
| 97  | そもそも、これはパブコメの対象とするべきことでしょうか？低用量ピルのときも、専門家と当事者の意見が最も重視され尊重されるべきでした。民意を諮ることは結構なことですが、最終的な判断を間違わないでいただきたいです。被害女性にとっての最善を最優先してください。  |
| 98  | ノルレボ錠の国内における製造販売承認をぜひ積極的に進めていただきたく、この度パブリックコメントを提出させていただきます。理由：現在、犯罪などによる性的被害者が、望まない妊娠という事態を避けるために行うことができる薬は、国内ではプラバノールだけですが、この薬剤は内服すると吐き気などの副作用がとても強く、犯罪被害者の身体をさらに苦痛に追い込むこととなります。医療の現場に立つ者として、これほどつらいことはなく、その患者のつらさを間近でみている医師としては、患者の苦痛を軽減するための手段を望んでやみません。他の先進国ではすでにノルレボ錠が認可され、欧州では医師の処方箋なしで入手できるようになっています。それだけ実績のある薬剤であり、また他の先進国と比較して犯罪被害者が救済される手段が少ないということは、先進国である日本であってはならないと考えます。ぜひとも早急に積極的な承認を行っていただければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。 |
| 99  | 産婦人科女医として開業16年目になります。望まない妊娠で来院される方はたくさん見えました。北村先生に教えていただいた緊急避妊法を教えてあげるとで（外来、思春期教育とかPTAとか）明らかに望まない妊娠がへりました。若い人たちにこそごく大切なツールです。ノルレボでプランAそのあと、プランBでOCを伝えたいと思います。できれば気持ちが悪くなく飲めたらいいです。愛知県ではレイプされた女性に緊急避妊法は無償で投薬されます。レイプだけでも十分不幸なのに、知らない人の赤ちゃんを妊娠し、言い出せなかった若い女性（ひどいのは義父の子）を少しでも楽にしてくれるツールです。お願いします。   |
| 100 | 多くの諸外国で認可発売されており、緊急避妊薬として確立されている。現在日本で使用されている中用量ピルでは嘔気が強く、より適切な緊急避妊薬としてノルレボが必要である。望まない妊娠から女性を守る適切な薬剤として必要である。  |
| 101 | レイプ被害に遭った女性にとって、なくてはならない必要なものです。   |
| 102 | 女性の体を守るために是非承認していただきたい。性被害にあった人たちの体を守り、心を守るためにも是非承認を望みます。  |
| 103 | 望まない妊娠と、その結果による中絶を少しでも減らすべく必要である。現在の自費による緊急避妊や中絶は母体に負担がかかりすぎる。   |
| 104 | 緊急避妊ピルの承認をもとめます。私は、自身がDVを体験し、今、DV被害者の支援活動にも携わっています。夫からの暴力には、性的暴力（性交の強要）が含まれていることはご存知と思います。シェルターに逃げてきた女性の中にも、妊娠中の方を何度もみてきました。命が大切だからこそ、生まれてくる命をいとおしく大切に思える人たちの元に迎える、そうした環境を新たな命に保証するのは、大人の、社会の責任だと思います。レイプの被害者の人たちにとっても、切実です。承認を是非お願い致します。  |
| 105 | 緊急避妊薬のノルレボ錠承認について、承認していただけますようコメントします。先進国といわれる日本において、可能なものならば、選択肢を担保できる、そんな国であってほしいと考えます。と同時に、性暴力被害にあわれた人の緊急避妊や、バリア法の失敗（コンドーム破損・脱落）にあった人の選択肢として、承認をお願いするものです。緊急避妊薬を承認することで、性行動が活発化する懸念が、もしあるとするならば、性や生殖を含む包括的な健康教育をさらに充実することで払しょくできるでしょう。SEXでコンドームを使わなかったというだけで、緊急避妊が激増することはないと考えます。緊急避妊薬を処方する際に、避妊に関するセクシャル・コミュニケーションや相談先、情報入手先を記載した冊子を作成して渡すといった方法で、複数回の緊急避妊対応を避ける事に効果的だろうと考えます。どうぞ、早急な検討、承認をよろしくお願いいたします。                       |
| 106 | 産婦人科医師です。現場では緊急避妊薬は日常的に必要な薬です。医師の裁量で使用する薬として、選択肢があっても良いと思います。一回服用の薬を心待ちにしています。是非早く認可してください。  |
| 107 | 北東北で行政の保健師をしている者です。中用量ピルよりノルレボのほうが副作用が少ないことは北村医師の統計により明らかですし、先進国が承認している中、日本はピルも含めて遅れをとっていると思います。一刻も早い緊急避妊ピルとしてノルレボを承認してください。そうじゃないといつまでたっても望まない妊娠で悲しむ女性は減らないと思います。   |
| 108 | 望まない妊娠を避ける方法が、科学的に確立されているにも関わらず法律の問題で利用できないのは理解に苦しむ。緊急避妊の早期承認を求める。   |
| 109 | 望まない妊娠を防ぐために、是非承認をお願いします。  |
| 110 | 〇〇〇〇センターの相談員です。レイプ被害女性の緊急避妊は、その女性の被害回復や人生の主体性保持のためには欠くことのできない重要な対応である。そのためにぜひ安全性の高いノルレボ錠を認可していただきたい。   |
| 111 | 緊急避妊を早急に承認してください被害にあった女性を助けるため承認をお願いします  |

|     |   |
|-----|---|
| 112 | <p>「昨今では児童虐待の問題がクローズアップされており、少なからず、低所得者層、低知識者層（単なる若者も含め）による望まない妊娠がそれに寄与していると考えられます。さまざまなことが人工的に可能となっている社会背景もあり、「不自然さ」を理由に避妊に反対するというは適当ではないと考えます。このような理由から、薬剤の使用には賛成いたします。出生率への影響は否めませんが、それよりも社会の安定が優先されると考えます。ところで、このようなパブコメそのものが、低知識者層になじみません。従って、積極的な啓蒙活動と、販売にあたっては市販とすること（アクセスのよさを重視、不要な保険診療を避ける）が重要と考えます。特にこの緊急避妊のy処方などのために、地域の救急外来における時間外診療が妨げられることは誠に遺憾な限りは避けたいと思います。</p>         |
| 113 | <p>特に性犯罪被害にあった女性にとって、緊急避妊ができるこの薬剤は身体的にも心理的にも被害からの立ち直りを大きくサポートするものです。すでに全世界100カ国以上で採用されているこの薬を、ぜひ日本でも使用できるようにしていただきたい！ 性犯罪被害で受けたダメージがさらに大きくなるような「望まない妊娠」「不必要な中絶」が起きないように早急にこの薬をきちんと採用してください。</p>   |
| 114 | <p>女性の健康や性被害にあった人を守るために必要です。ぜひ、承認してください。</p>  |
| 115 | <p>私は長野市内で出産も扱うクリニックを開業している、産婦人科医師です。また10年前より、長野県の性犯罪被害者支援を警察、行政、NPOなどと連携して行ってまいりました。この緊急避妊用の薬をもっとも必要としているのは、性犯罪に巻き込まれ、つらい思いをする女性です。犯罪にあっただけでも大変なことです。しばらくして妊娠という2次被害に気が付いたときの恐怖感、筆舌に尽くし難く、生涯にわたり被害者を傷つけます。現在、認証されている緊急避妊のための薬は存在せず、副作用の多い形でしか代用できないのが現状です。世界のほとんどの国が認め、実用されている薬を、一日も早く認証していただき、多くの女性を支援できればと思います。乱用などの懸念は、我々産婦人科医師が責任を持って処方し、患者さんへの啓蒙をはかっていく所存です。</p>                  |
| 116 | <p>医師です。緊急避妊は女性の当然の権利です。早急に承認してください。</p>  |
| 117 | <p>ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に賛成します。2006年の中絶件数は276,352件、対出生比で25.3%にのぼります。また2009年の強姦件数は警察に届け出ているだけでも1402件、毎日3.84人が強姦にあっています。これだけ望まない妊娠、そして性暴力が起こっている状況を踏まえ、世界でも販売が承認されているノルレボ錠0.75mgを、日本でも承認していただきたいです。</p>   |
| 118 | <p>開業産婦人科医です。是非早期承認をお願い致します。</p>  |
| 119 | <p>若い人の健康支援事業をしている者です。緊急避妊を早急に承認してください。レイプ被害やデートレイプなどは予想以上に多く発生しています。当事者の一生を変えてしまうほど大きな問題です。被害者の女性をこれ以上苦しめないでください。</p>  |
| 120 | <p>この薬が早期に承認されることで、多くの望まない妊娠や性犯罪の被害者たちは救われます。一日でも早く、承認してください。</p>   |
| 121 | <p>産婦人科医師です。緊急避妊を早急に承認してください。</p>   |
| 122 | <p>緊急避妊を早く承認してください。避妊の失敗による人工妊娠中絶を減らせるように。</p>  |
| 123 | <p>墮胎による負担を少しでも減らすために、早急にノルレボ錠の承認をお願いいたします。</p>   |
| 124 | <p>前略 ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認について早期の承認をお願いいたします。現在においても日本では望まない妊娠による無保険の墮胎手術が数多く行われていると聞きます。これは倫理的な問題は別として母体にとって非常に危険な行為です。また既存のピルを大量に用いて避妊を行うケースもありますが、これは副作用が強く非常に苦痛を伴うと聞きます。本医薬品は、これらの問題を解決できる手段として重要であると思います。先進国のほとんどは既に発売されています。ドラッグラグ解消のためにも早期の承認が望まれます。以上です。</p>   |
| 125 | <p>緊急避妊薬の早期承認をお願いします。昔、コンドームが破れたことによって彼女が妊娠し、中絶した経験を持っています。妊娠が発覚するまでの間、認識が発覚して中絶をするまでの間、中絶の後、心身ともに過度のストレス状態に陥ったことを覚えています。緊急避妊薬があれば、このようなストレスを感じずに済んだと思います。いまこの瞬間に緊急避妊薬を必要としている人は少ないのかも知れませんが、私も今すぐに必要なわけではありません。だから、承認に賛成する人の数が少ない可能性もありますが、絶対に必要な薬だと思います。レイプを含め、望まない妊娠によって女性を傷つけないためにもぜひ、緊急避妊薬の早期承認をお願いします。</p>  |
| 126 | <p>世界中で発売されているので、日本でも一日も早く承認されることを待ち望んでいます。</p>   |
| 127 | <p>産婦人科医師です。レイプ被害に遭った女性を苦しめたくありません。早急に緊急避妊を承認してください。</p>  |
| 128 | <p>十分子供にも恵まれ 現在は妻はピルを常用しておりますが、ずっと飲み続けることの体への負担を思うとこの薬はずっと待ち望んでいたものなので早く承認してほしいところです。</p>   |
| 129 | <p>望まない妊娠を比較的安全に防ぎ、世界の多くの国で承認されているノルレボの日本での早期承認を希望します。</p>  |
| 130 | <p>早期製造販売の承認要望として意見させていただきます。理由 現代の生活多様性に伴い、想定外の妊娠や愛人の存在、生活苦といった親の都合で生まれてきた子供を赤ちゃんboxへの放棄や乳児虐待や餓死等のかわいそうなニュースを良く聞きます。また、出産前の人工妊娠中絶等でも母体への影響（や費用）も多大なものになります。本医薬品は、副作用もほとんど無いとの事、ピル等の避妊薬と共に選択肢が広がる事は上記の問題排除にとって良い方向であり早期製造販売の承認要望として意見をさせていただきます。ただし、新たな避妊薬の安心感からエイズ拡大をさせないために注意喚起が必要です。</p>   |
| 131 | <p>妊娠・出産は女性の身体、人生に大きな影響を及ぼす事柄であり、それを望むか望まないかは女性の自由です。きっかけが何であれ、緊急事態に陥り望まない妊娠を必死に避けようとしている女性は、救われなければなりません。「望まない妊娠をしないための教育」が第一ですが、本人に全く落ち度がないにもかかわらず妊娠することもあり得るのです。ぜひ承認していただきたいと思っております。</p>  |
| 132 | <p>望まない妊娠に対して女性の負担の大きい人工妊娠中絶をおこなう確率を減らすために、副作用の少ないノルレボを承認することは是非必要と考えます。</p>  |
| 133 | <p>レイプ被害に遭った女性を助けるべきだ、副作用の少ない薬を使用するべき、等が承認賛成派の、倫理的な面や、エイズ拡散の懸念等が反対派の主な意見なのではないかと思っております。どちらも重要な意見ではあると思いますが、一番重視しなければいけないのは、苦しんでいる女性の精神面や身体面の保護ではないでしょうか。緊急避妊薬を使うことで、生命の尊さが損なわれる可能性がある、ということが問題なのであれば、その他の措置(性教育等)で対処できるかもしれませんが、この薬が承認されない限り、副作用の少ない薬で女性の体を守ることはできないと思っております。黄体ホルモン剤の未承認国は、チリ、ペルー、イラン、アルジェリア、アフガニスタン、北朝鮮、日本だけであり、先進国である日本で未だに承認されていないことは異常だと思います。一刻も早く承認すべきだと思います。</p> |

|     |  |
|-----|--|
| 134 | 日本は世界有数のコンドームメーカーが多く文化でもありますがこの薬を承認しないのは本質を見誤っていると思います 強姦以外にも避妊具の破損等、どうしても出産できない人の選択肢の一つとして社会的存在意義は大きいです あと日本は世界的に医療が遅れていて、フィリピンに住む人が日本の治療法が遅れてて、その治療のため母国に帰った程です 先進諸国70カ国以上で既に承認・販売されてるこの薬を未だ日本で販売されてないのが日本人として残念です 今後この様なドラッグラグは早急に解消してもらいたい   |
| 135 | 個人的な過去の経験からしても、中絶を避ける為にはこの薬は必要です。しかも米国を含め多くの国で承認販売されています。  |
| 136 | 承認賛成です 非常時の手段として受精卵の着床よりも先に子宮内膜をはがして妊娠を防ぐ。素晴らしい薬だと思います。現行の中絶には反対です、すでに痛みを感じる神経、脳があれば悲惨です。どちらが女性に対し優しいかは天秤をかけていただきたく。それとパブコメでは賛成意見は日常生活では”筆を握りコメント書くことは”少ないと思います（緊急事態になった時、初めてほしい薬だから）ので、緊急避妊された人の数も把握されていたら賛同意見として計上をお願いします。   |
| 137 | レイプ被害に遭った女性が妊娠することを防ぐためには不可欠です。緊急避妊薬を早急に承認してください。  |
| 138 | 乳児遺棄、児童虐待、育児放棄など、当事者を子どもとする悲しい事件が後を絶ちません。「望まない妊娠で生まれた子どもは、親から虐待されるリスクが高い」と指摘する大学教授もいるようですし、厚生労働省の2008年度の調査でも、虐待で死亡した子の31・3%、出産直後の遺棄など、生まれた日に死亡した子の68・6%が、「望まない妊娠」で生まれた子だったという結果が出ています。そんな「望まない妊娠」を無くすために、ノルレボを超早急に承認し、一日でも早く販売が開始されることを望みます。それから、最初は処方箋での販売になるのですが、この薬の効能は時間との戦いになります。土日が入ったり、仕事が忙しくて病院に行けないなどのケースも容易に想像されることから、避妊成功率を高めるためにも薬局で購入できるようなシステムをできるだけ早く構築するよう併せて望みます。 |
| 139 | 性暴力を受けた場合、避妊に失敗した場合に必要な薬と考えます。   |
| 140 | 承認していただき知名度もあがれば望まない妊娠を防ぐことができ、今問題になっている児童虐待や死亡の事件も減ることにつながるであろうと思います。これ以上不幸になる子供を増やしたくないです。   |
| 141 | レイプされた女性の妊娠を防ぐために、有効な薬であると思うので、認可するべきだと思います。   |
| 142 | 緊急避妊を早急に承認してください。避妊は当然の権利です。   |
| 143 | レイプ被害が女性たちにもたらすダメージを少しでも軽減するために、必要な薬です。被害にあった女性たちは、長期にわたって精神的苦痛にさいなまれます。レイプによる妊娠がさらなる悲劇をもたらすのは明らかです。また、そのような状況で生まれてくる子どもたちのことも考えて下さい。ノルレボ錠0.75mgの製造販売を承認して頂けるよう、お願いします。  |
| 144 | 緊急避妊早急に承認して欲しいです   |
| 145 | 早く承認して欲しいです おねがいします。   |
| 146 | この薬は絶対必要です。海外では日本は中絶天国といわれています。また近年外国人も増え、治安悪化もあります。今後少子化対策として移民を受け入れるということになると性犯罪も増えると予想されます。   |
| 147 | 産婦人科開業医です。緊急避妊の必要性を切実に感じております。早急に承認して頂きたいと思います。  |
| 148 | 性暴力を受けた女性など、緊急避妊ピルを必要とする女性がいます。この薬の製造販売を早急に承認すべきと考えます。   |
| 149 | 女性の健康を守るために必要」「性被害にあった人を守るために必要」   |
| 150 | 性暴力被害者をこれ以上苦しめないためにも、ノルレボを承認してください   |
| 151 | 多くの少女たちが、性被害によって沈黙を強いられながら、過酷な中絶を体験しています。海外で緊急避妊薬として信頼されているノルレボ錠の承認を求めます。  |
| 152 | 緊急避妊薬の早急の承認をお願いします。レイプや避妊の失敗だけでなく、DVなどで夫に避妊をしてもらえず、子どもが増え離婚できなく苦しんでいる女性もいます。医師による処方箋ありの販売ならば、その場で今後の避妊についての話などもできます。妊娠、中絶によって苦しむ女性を少しでも早く救ってください。よろしく願いいたします。  |
| 153 | ●私たちのグループは、良識ある市民の立場で「〇〇〇〇ネット・キャンペーン」という市民キャンペーンを始めました。●地元にて万が一性被害に遭った場合の連携体制Sexual Assault Response Teamのシステムの整備を求める運動です。●性被害に遭う女性たち子どもたちは、予想される以上に多いです。●被害直後、心身ともに深く傷つけられた上に、妊娠の不安、中絶の苦しみが重なることは、とても過酷です。●どうか副作用の少ない緊急避妊薬ノルレボを日本でも承認してほしいと願います。  |
| 154 | 既に海外の多くの国でOTCとして市販され、安全性と有効性が周知されている該薬を、我が国でも早く承認いただき、望まない妊娠を回避し、母体の精神的、肉体的な影響を与える墮胎の減少を図っていただきたいと考えます。  |
| 155 | 性犯罪の被害者、及び産み落としたり、望まれない子供の殺害などの防止に役立つと考えます。また、墮胎による体の負担の軽減や医療費の削減にもつながると思います。  |
| 156 | レイプ被害にあったことがあります。緊急避妊薬を手に入れるために、医者に冷たい仕打ちを受けたこと、看護婦の好奇の視線、急がないと全てが手遅れになる絶望感。。これ以上二重の苦しみがないように、お願いします。  |
| 157 | とにかく臨床の現場で必要な薬です。副作用が少なくなることが分かっているが、未承認のために使えないというのはそもそもおかしな話であり、現実に対しての無知蒙昧がなせる話としか言いようがありません。早期の承認を希望します。   |
| 158 | 緊急避妊薬は性犯罪などに巻き込まれた女性を、望まない相手との望まない妊娠という恐怖から救う素晴らしい薬だと思います。中絶をしなければならぬ女性が少しでも減るように、少しでも早い承認が実現することを願っています。  |
| 159 | 苦しんでいる方たちのためにも、是非、承認していただきたいと思います。   |
| 160 | 若者の産み落としたり望まない妊娠・出産の結果としての虐待などの社会的不幸を避けるためにも緊急避妊薬は絶対に必要です。早期承認を強く要望します。  |
| 161 | 私は中学3年生の娘がいるのですが塾の教師にわいせつ行為を受けました、また更に性行為を画策されてもいました。少ない被害で事なきを得ましたがもし、性行為をされてしまい、妊娠した場合のことを考えると安全な副作用の少ない緊急的に使える薬は絶対に必要です。是非、承認されることを望みます。  |
| 162 | 女性のリプロダクティブ・ヘルス・ライツの観点から、女性の身体に最小限のリスクで望まない妊娠を防ぐことのできる緊急避妊薬の認可を要請します。女性により多くの、安全な選択肢を保障することは厚生労働省の重要な仕事のひとつです。   |

|     |  |
|-----|--|
| 163 | 医師です。望まない妊娠を避ける目的で緊急避妊は是非とも必要であり、そのための薬剤の承認を強く希望します。   |
| 164 | レイプ被害に遭った女性が苦しむことのないよう、緊急避妊を早急に承認していただきたい。   |
| 165 | 強姦被害に対する緊急避妊などに諸外国ではノルレボが用いられ、そのノルレボの副作用は比較的少ないと言われている。被害にあったうえになお薬で苦痛を味わうということがなるべく起きないようにしてほしい。早急によりよい薬の承認をしてほしい。  |
| 166 | 承認してください。レイプ被害の被害者や、夫から性暴力を受けた女性たちを、これ以上過酷な状況に追い詰めたくありません。   |
| 167 | 海外では、ガソリンスタンドなどでも販売しているという緊急避妊薬ですが、日本でのニーズはあまりないものと考えておりました。店頭で仕事をしていると、田舎の個人薬局ですら、ここ10年で性に対する関心が年々急速に若年化している傾向ですし、妊娠検査薬を購入する女子高生も増えました。東京都では、コンドームの販売に関して18歳未満の購入に対し、今後厳しくすると検討されているとのこと、本人の同意を得る得ないにかかわらず、興味本位の性交渉で緊急避妊の必要性がかなり増すように思われます。欧米のように、薬局で薬剤師による相談販売も念頭に入れて検討していただきたいと思います。  |
| 168 | 生まれたばかりで、トイレに捨てられたりとか、生まれてすぐ虐待死されたりとか、このようなことが頻繁に起こる今の時代には、やはり必要ではないのでしょうか。  |
| 169 | 避妊に100パーセントはありえません。どんなにコンドームを使って予防していたとしても、破れてしまったというような事故はいつでも起こりえます。またレイプなどで望まない性交をさせられてしまう女性もいます。すべての人のために緊急避妊薬の選択肢が広がることを望みます。緊急避妊薬を承認していただきたく、お願いもうしあげます。   |
| 170 | 恋人からの性暴力にあった者です。被害女性の苦しみを増やさないために、安全な緊急避妊は大切です。また、性に関する偏った情報が蔓延している中では、望まない妊娠は当事者の、ましてや女性の自業自得などと言えるでしょうか。この薬を早く承認していただけるよう要望します。  |
| 171 | 人から聞いた話ですが、年間の中絶手術が年間30万件近くあると聞きました。素人ながらに聞き、その件数は異常ではないかと感じました。緊急避妊薬の承認により、その件数が減少するかどうかはわかりませんが、少なくとも、女性には、望まれない性行為などあった場合選択肢があっても良いと思いました。  |
| 172 | 緊急避妊用ピルノルレボ錠の承認をお願いしたく、メールいたしました。私はいま不妊治療をしています。現在、避妊用ピルの代用とされている中容量のピルを服用していますが、副作用がとてもひどいのです。ノルレボ錠は副作用が少ないとされています。わざわざ副作用の強い中容量ピルを代用する必要はないと考えます。また、「緊急避妊用ピル」と銘うった専用の薬があるということは、緊急避妊に関する啓発にもつながると考えます。   |
| 173 | レイプやDVなどで女性が望まない性行為を強要された時にその後のケアとして緊急避妊薬は必須です。性犯罪だけでも女性の心も身体も傷ついています。さらに、望まない妊娠は女性の人生まで左右しかねないものです。それを少しでも防ぐために早急に認可をして頂きたい。  |
| 174 | ようやく本邦において緊急避妊薬が承認の段階となり安堵しております。緊急避妊薬は、心身ともに傷つく性暴力・コンドーム破損・ピルの飲み忘れ・体調不良によるピルの効果不全などによる誰にでも起こりうる期待されない妊娠やその心配から解放されるとても有用なクスリです。人工妊娠中絶や中高生の悲しい産み落とし事故などもノルレボが社会に知られていたら起こりえないことなのです。欧米ではすでに性交後5日間有効のクスリさえ承認されています。従来からの中容量ピルによるYuzpe法が知られるようになり、外来でも処方の方が有りますが、本来臨床試験で認められた用法用量ではないため、吐き気が強かったり、思わぬ副作用が生じないか心配しながら処方しておりました。幸い今まで大きな事故はありませんでしたが今回正式に治験を経て医薬品医療機器総合機構においても承認との見通しとなり、婦人科医としても一安心です。ピルについても性感染症の広がり懸念する意見が今でも聞かれますが、それとこれとは別の問題と考えております。通常の性交渉でコンドームを使用しない若者は多く、流産や不妊につながるクラミジア感染は現代もっともよく見られる性感染症でありHIVも増加しています。ノルレボはあくまでも緊急避妊薬であり、普段は他の避妊方法が必要であることがアナウンスされるはずですが、その際に、避妊だけではなく感染防御としてのコンドーム着用が有用・必要であることを広く社会に知らしめる絶好の機会としたものです。最後に、ノルレボがスムーズに承認されることを祈っております。 |
| 175 | 表題の件について、意見を申し上げます。性犯罪被害に遭われた女性は、直接の暴力だけでなく、妊娠の危険性や(心的なものも含めた)後遺障害など、多くの傷に苦しめられます。そうした被害者たちの苦しみの一部を軽減する緊急避妊薬の承認は、喫緊の課題だと考えます。もとより、薬剤の承認については、人体での安全性の確認が重要ですが、本薬剤については特に問題はなく、諸外国でも既に承認されている例も多いと聞きます。であるならば、承認は当然のことと思います。こうした薬剤は、避妊行為を批判的に取り上げる一部の道徳主義的見解から批判されることがあります。しかし、性暴力被害に対処することの方がより重要な問題と考えます。そうした観点からの意見を重視して承認が見送られることは、あってはならないと考えます。   |
| 176 | 産婦人科医です。緊急避妊薬を早急に承認してください。   |
| 177 | 暴行を受けた女性の心身を救済するためにも承認されることを強く望みます。  |
| 178 | 望まない妊娠とそれ由来する虐待、暴力を少しでも減らしていくためにも、ノルレボ錠による緊急避妊法の承認を早急をお願いします。  |
| 179 | レイプ被害に遭った女性のために低負担な緊急避妊ピルを認可してください！約30ヶ国が低容量の緊急避妊ピルを薬局で処方なしで購入出来るのに、日本では認可すらされていないという事が信じられません！  |
| 180 | 現在同棲中ですが、不注意の妊娠を避ける為にも必要です。  |
| 181 | 望まない妊娠で中絶を受けた方、その後不妊症になってしまった方、レイプなどによって妊娠のしてしまうのではないかと心配している方達を診察しています。この薬によって女性の不幸が予防できると考えております。この薬があるから危険な性行為が増えたり、不道徳な行為が増えるとは考えられません。  |
| 182 | 現在、日本国内において製造販売承認を受けた緊急避妊薬が存在しないため、緊急避妊を要するようなケースでは、母体を痛める心配のある妊娠中絶処置が行われております。安全性に特段の問題が認められないノルレボ錠が導入されることは医療の現場における選択肢を増やす面においても有用であると考えます。   |
| 183 | 性犯罪防止、性暴力被害者救済の第一歩の為に、ぜひ緊急避妊ピルノルレボの承認をお願いします。  |
| 184 | 大変優れた、安全な薬です。承認の前提で安易な利用などのリスクを最小限にとどめる仕組みを作れば問題ないと思っております。  |
| 185 | 性暴力被害にあったことがあり、今では多くの性暴力被害者の方、支援者の方と交流しております。医療機関では産婦人科医や助産師であっても、緊急避妊そのものの知識がなかったり、訴訟リスクを避けるためか根掘り葉掘り聞いたりもします。性暴力被害にあったというのを勇気を振り絞って言っても、緊急避妊のことで来院したのに警察に言うことを強要したり等の話もたくさんあります。まずは緊急避妊を当たり前にできるよう、医療機関で使えるように承認してもらわなくては話になりません。緊急避妊の知識も学校教育で性教育の中に取り入れて欲しいです。性暴力被害に遭い妊娠してしまうと、より一層傷つきます。男性は傷つきませんが女性は中絶により心も体も傷つきます。一刻も早く承認してください。内閣府の調査では女性の10人に1人が望まない性交を強いられた経験があります。そのうち警察にいったのは4%です。この数字が正しいことを日々感じます。  |

|     |  |
|-----|--|
| 186 | 緊急避妊はレイプ被害にあった女性にとって、妊娠中絶を避け健康を守るために必須の治療です。また、コンドームの破損等で避妊に失敗した女性にとっても重要です。しかしながら現在は緊急避妊の処方してくれる医院自体が少なく、また処方薬も通常のピルを転用している状態で、副作用による嘔吐で薬をはき出してしまい正常な効果が得られないなどという怖れが大いにあります。ゆえに副作用の少ないノルレボの解禁を強く期待いたします。   |
| 187 | 産婦人科診療所に事務長として勤務しています。緊急避妊を早急に承認してください。レイプ被害に遭った女性を苦しめたくありません。   |
| 188 | 性犯罪の被害者など、望まない妊娠で負担を負い苦しむ女性やその周りの人々が少しでも減ることを願っています。一日でも早く承認して、辛い思いをする人を減らして欲しいです。   |
| 189 | 性犯罪被害に遭い強姦されましたが、親に拒絶されて言えなかつたりしました。レイプされても、親に言えない人は産むか親に内緒で中絶するしかありません。レイプされると、性病をうつされる危険があり、その上で妊娠の恐れもあり、母子共に無事でいられるかの保障もありません。また、低年齢で強姦された子供は最悪の場合死に至ったり、帝王切開をしなければなりません。低年齢で子供を産んでる方はいませんが、危険なため帝王切開が主だと思います。また、男性は少なからず、自分の彼女や妻が性犯罪によって強姦されると、妻や彼女に非が無かつたとしても、DVなど強く殴り続けられたり、人間として扱わないなどをします。私自身も経験してます。そういった悲劇を避けるためにも、どうかきちんとした緊急用ピルを出していただけるようお願いします。日本は、被害者のケアに関して大変遅れてると思いますが、緊急用ピルからでも、何とかお願いします。ご自分の娘さんやお孫さんや奥様がレイプされて、ご家族にいえなかつた場合のことを考えて頂きたいと思います。性犯罪は刑が軽く、また再犯率も高いです。これが解消されない、犯人が更生しないのであれば、せめて緊急用ピルを処方していただけるようお願いします。  |
| 190 | 性機能、性感症、不妊を専門にする医師です。緊急避妊を早急に承認してください。   |
| 191 | 緊急避妊薬の必要性はもうずっと前から議論されてきました。例えば、レイプ被害者が受けるべき適切な処置の一つとして緊急避妊薬の使用があります。望まない妊娠を避けるためです。また、日常生活の質を向上させるため、是非とも認可をお願いしたいと思います。  |
| 192 | 日本は各国と同じように、低用量緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売承認をするべきです。宗教などに強く拘束されない、かつ先進国である日本なのに、緊急避妊ピルの承認は遅すぎます。10年前に承認販売された避妊ピルもやはり遅すぎました。緊急避妊ピルは強姦された女性、避妊の失敗や望まない妊娠の方にも有効です。現在医師責任で処方している中用量ピルより、はるかに副作用が少ないと聞いております。もし、日本が諸外国と同じように早く承認販売できていれば、多くの女性やパートナーは幸せな人生を歩んでいた方が多くいた事でしょう。副作用の少ない緊急避妊ピルは女性の健康や権利を救う事の出来る薬です。犯罪被害者への医療支援の意味からも承認販売されるべき「薬」ですね。  |
| 193 | 緊急避妊薬を、早急に承認して欲しいです。この薬が承認され、正しく処方されなければ、レイプ被害に遭った女性を何重にも苦しめることになるのです。よろしくお願いします。  |
| 194 | 緊急避妊の早急な承認をお願いします。レイプ被害にあった女性の精神的肉体的苦痛要素を少しでも減らしてほしいです。  |
| 195 | 本日ニュースにて『未承認の中絶薬で墮胎、22歳女を書類送検「相手にいわれ」』 <a href="http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20101119-00000577-san-soci">http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20101119-00000577-san-soci</a> を見てコメントすることに致しました。日本では、未承認の中絶薬がインターネットでも買える時代となっております。上記のような件で望まない妊娠の場合の薬をお医者さんのモトデ見てもらい、説明を受け処方して早期に対応する為にも、ノルレボ錠0.75mgは必要と思います。今回の事件は未承認の薬で医者の説明もなく飲まれているわけですが、説明もないまま使用する事は一番危険な行為だと思います。薬は副作用等もあると思いますので、どれでも承認して良いわけでもありませんが、ノルレボ錠0.75mgはWHO（世界保健機関）により緊急避妊での使用におけるエッセンシャルドラッグとして指定されており、安全であると思われれます。早期に承認して頂き販売できるようになり、社会の中で望まない妊娠の場合の薬として（ノルレボ錠0.75mg）多くの人にいち早く知ってもらうことで上記のような方々が救われると思います。今回の事件は望まない妊娠の女性のSOSだと思ひ、意見させて頂きました。   |
| 196 | 望まない妊娠をさせられた女性を苦しめないためにも緊急避妊薬を早急に承認してください。   |
| 197 | 私はノルレボ錠の医薬品製造販売の「承認を早急にすべき」という意見を持ちます。日本では一刻も早く緊急避妊の措置を充実させなければなりません。今でもこうしているうちに、強姦やレイプなどに遭って悲しい思いをしている女性がいると思われれます。とくに、国際化が進む中で、人間関係は複雑化しております。また、性犯罪は、増加しつつあります。そのような中で、精神的及び肉体的にダメージを女性が多く出現することは容易に予測ができます。精神的なダメージはなかなか回復できません。まずは、肉体的なダメージを最小限に軽減するのが、医師及び国の役割ではないでしょうか。日本国における女性を守り、ひいてはより多くの女性に幸せな妊娠をして、幸せな生活が送れるようにするために、安全な緊急避妊薬の製造販売の承認が必要です。さらに、資料にあるとおり、48カ国（2010年4月）で使用されており、大きな事故があった様子がないことから、安全性については担保されていると思われれます。よって、レノルボ錠0.75mgの一刻も早い承認をすべきと考えます。  |
| 198 | 緊急避妊薬を承認してください。現状、代用されているピルでは副作用が辛く女性に無駄な苦しみを与えています。避妊の失敗は女性のみでの責任ではなく、ましてやレイプ被害などの犯罪被害者の女性までもが、自分の責任として更に苦しみを背負うことに憤りを覚えます。副作用の少ない手軽な緊急避妊の早急な承認を、よろしくお願いします。  |
| 199 | 多くの人々がコンドームによる避妊法をとっている以上、必ずどこかで破損・脱落という事故が起きます。性暴力被害を受けた女性にとっても、加害の恐怖に妊娠の恐怖が重なるのは、耐えがたい苦痛です。現状でも緊急避妊薬は個人輸入などの手段で手に入りますが、あらかじめ用意しておく性質のものではありませんし、すぐに処方してくれるところになければほとんど意味をなしません。どうか、一刻も早く緊急避妊ピルの国内承認に踏み切ってくださいませよう、お願い致します。   |
| 200 | 現在審議中の、緊急避妊薬ノルレボ錠の承認についてご意見申し上げます。今のところ日本には専用の緊急避妊薬がなく、医師の責任において主に中用量ピルを転用している状態だとうかがいます。しかし、正式に承認されたものではないため、処方を受けることができなかつたり、処方時に叱責など尊厳を傷つけるような取り扱いを受けたり、不正確な処方を受ける女性が跡を絶ちません。また、通常の使用よりも多量の卵胞ホルモンと黄体ホルモンを摂取することになるため、副作用も重く出てまいります。その中には、性暴力の被害にあった方や、健康上の理由で妊娠ができない方も含まれます。日本では避妊が男性主体になってしまうことが多く、また人が行なうことである以上、通常の注意を払っていても意図せぬ事態が起こって避妊に失敗することもあります。緊急避妊薬の正式な認可がない現状は、このような女性たちの選択肢を減らし、より心身の負担が大きい人工妊娠中絶へと追い込んでしまっています。黄体ホルモン単体の緊急避妊薬はすでに世界各国で広く使用されており、中・高用量ピルの転用よりも高い避妊効果とより少ない副作用の発現が認められていて、すでに有効性と安全性が十分確認されていると考えます。望まぬ妊娠によって女性のみが、技術的に防ぐことのできる副作用で苦しんだり、人工妊娠中絶を余儀なくされる状況をこれ以上継続しないためにも、一刻も早い承認をお願いいたします。また、服用が早いほど避妊効果が高いという性質上、薬局での市販など24時間体制でアクセスが可能になるような措置を講じることも、あわせてご検討願います。 |
| 201 | 女性の立場や、世界の承認事例を考えると、むしろこの販売時期は遅いように思います。承認されることを望みます。  |
| 202 | 緊急避妊を早急に承認してください。  |
| 203 | 早期の承認を求めます。レイプ被害に遭った女性、望まない妊娠をした女性がが苦しむのは見たくないです。  |

|     |   |
|-----|---|
| 204 | <p>拝啓、日本国民の責務として一言お伝え申し上げます。友人からきいたところ、件名の案件において、ぜひとも承認へ向けた制定が必要とのこと、納得いったのでお願い申し上げる次第です。何より、現在の日本では、交通事故や犯罪被害などで怪我をしている場合は病院で医療を受けることを優先するのに、性犯罪となると告訴するというを決めていない状態では病院に連れて行くことがないとききました。これではレイプ犯罪の被害者などが望まない妊娠をしまったり、また望まない墮胎手術を受ける可能性が非常に高いと思いました。これまでこうした事情を知らなかった自分も恥ずかしいこと確かなのですが、犯罪被害を軽減することに役立つ薬品の許認可が遅れているということは、大変嘆かわしいことです。自分の経験も踏まえてのことですが、日本は男性の政治家の方が思っている以上に、女性への性暴力は多く起きています。ただ、それは恥ずかしいとか、言うときれいに傷つけられることもあるといったことで、なかなか表面化しないだけのことです。たとえばわたしも、過去に受けた性暴力の内容に関して、夫に言ったことはありません。25年も連れ添ったパートナーに対してもそういう判断をするほど、性暴力は表に出にくい犯罪だと思います。私の場合はまだレイプ・強姦被害ではなかったためこの承認薬の必要性はなかったのですが、可能性としてこうした薬の必要性は感じております。どうか女性たちをこれ以上苦しめるようなことはせず、被害低減のための機会を増やしてくださいませよう、切にお願い申し上げます。</p> |
| 205 | <p>中容量ピルは副作用が大きくて、友人が避妊に失敗した際に使用し、大変だったと聞きました。レイプ被害に遭った場合などは精神的なショックも大きいのに、アフターピルでさらに体に負担をかけるのは残酷だと思います。避妊に失敗したり、レイプ被害に遭ったりということは、日常に起こっていることですし、私自身も経験があります。思いがけず妊娠してしまい、中絶する負担、または子供を産んでも、愛することができなかつたり、というケースもあると思います。私は、副作用の少ない緊急避妊ピルの承認に賛成です。</p>  |
| 206 | <p>産婦人科で勤務しております。望まない妊娠や妊娠中絶を減らすうえで、大変有効だと考えます。また、性犯罪の被害者がそれが原因で妊娠することから守れるのであれば、早急な承認を希望いたします。</p>   |
| 207 | <p>思春期の子を持つ母親であり、また閉経間際の年代の女性でもあります。夫のDVやレイプによる妊娠も含めて、この年代の望まない妊娠は、本人および周囲の多くの人の人生を変えてしまいます。妊娠を引き受けるのは必ず女性です。緊急の手段として、承認をお願いいたします。</p>  |
| 208 | <p>緊急避妊ピルを早急に承認してください</p>   |
| 209 | <p>性暴力被害者の相談をしています。緊急避妊用ピルは、女性の健康と人生を水際で守るものです。レイプベイベーをこれ以上増やさないためにも、そして、性暴力被害に重ねて中絶の経験をさせないためにも、認可を強く希望します。</p>  |
| 210 | <p>かつて、性犯罪被害に遭った婚約者を支えていました。婚約者亡き後、自分も性被害に遭い、今は多くの性犯罪被害者の方、支援者の方と交流しています。大切な性を完膚無きまでに破壊し、魂を殺す卑劣な性犯罪に於いて、望まない妊娠をさせられた場合、被害者の方は更なる真の地獄に陥ります。婚約者のように、自殺という形で殺される被害者の方々もたくさんいます。是非とも、加害者という悪魔からの望まない妊娠を防ぐ為に、安全性が明らかなノルレボ錠の緊急避妊ピルの承認を、一刻も早く望みます。</p>   |
| 211 | <p>これまでの中用量ピルによるヤツペ法は副作用がひどく、女性の負担がとても大きかったので、ノルレボゲストレル単独剤の緊急避妊薬の承認はとても重要です。早期に承認されることを期待しています。理由は以下のとおりです。1) 厚労省科研での実態調査(武谷・北村)によると日本人女性の約100万人がすでに緊急避妊の経験を持っており、日本におけるニーズが明確である。2) 近代的避妊法へのアクセスのよくないわが国においては、伝統的避妊法であるコンドームが主流であり、脱落や破損といった事故をゼロにはできないためバックアップとしての緊急避妊が不可欠である。3) 見知らぬ男性による強姦、見知らぬ男性によるデートレイプのような状況では、避妊が行われることはほとんどなく、性暴力被害者の心身負担軽減のためにも緊急避妊専用薬は重要である。4) 近年、自宅や出先のトイレで出産をし、新生児を死亡させるカップルも存在する。またこどもの虐待も増えている。望まない妊娠を予防するためにも緊急避妊薬の早期承認が重要である。</p>   |
| 212 | <p>緊急避妊用ピルのノルレボ錠について、早急に承認して頂きたく、パブリックコメントを寄せさせていただきました。日本では正規の緊急避妊用ピルが承認されていないため、レイプ被害にあった女性がせめて望まぬ妊娠だけは避けようとするケースです。さらには副作用に悩まされ、場合によっては嘔吐のために緊急避妊に失敗してしまうということにもなっています。副作用が少なく安全な、正規の緊急避妊用ピルの早急な承認を強く望みます。</p>   |
| 213 | <p>産婦人科医師です。緊急避妊を早急に承認してください。日本では、医師が一切の責任を負って、中用量ピル(プラノバルあるいはドオルトン)を処方し続けてきました。現在「犯罪被害者への医療支援」が47都道府県で実施されており、レイプ被害に遭った女性に対して、緊急避妊ピル(中用量ピル)を無料で提供しています。公に承認された緊急避妊ピルがないにもかかわらずです。多発性骨髄腫の治療薬としてサリドマイドが使われていますが、この女性患者に対しては、必要に応じて緊急避妊ピル(中用量ピル)の提供が義務づけられています。公に承認された緊急避妊ピルがないにもかかわらずです。処方する医師個人のみについてまで責任を負わせ続けるのですか？</p>   |
| 214 | <p>性暴力被害に遭った女性に対して、現在は中容量ピルが緊急避妊ピルとして提供されていると聞きました。心身ともに傷ついた女性がさらに身体的に負担がかかるようなことはあってはならないと思います。被害に遭った女性の支援策として、身体的負担の小さいノルレボ錠が使われるべきと考えます。また、世界的にも認可されていない国はごくわずかだと聞いています。できるだけ早期にノルレボ錠が認可されることを希望します。</p>   |
| 215 | <p>思わぬ妊娠からの出産は時として女性の人生を狂わせます。中絶は女性の体に負担を与える上に、精神的にも負担を与えます。よって緊急避妊という、女性にとって選択肢が増えることはとても好ましいことと考えます。</p>  |
| 216 | <p>レイプ被害に遭った女性を苦しめるのは間違っています。緊急避妊を早急に承認してください</p>   |
| 217 | <p>緊急避妊薬は女性の健康を守るために、また性被害にあった人を守るために必要です。迅速な承認をお願いいたします。緊急避妊薬を用いれば望まない妊娠を防げることを政府として周知に取り組んでほしいと思います。とりわけ医療機関や警察への周知は緊急の課題だと思います。</p>  |
| 218 | <p>避妊の失敗はあります。レープなど自分が望んでいない性交もあります。望まない妊娠の回避に緊急避妊ピル、特に副作用の少ないノルレボの認可をしてください。</p>   |
| 219 | <p>性暴力被害者の妊娠を防止するためにぜひとも承認をお願いします。本当に日本という国はこのようなことについて後進国であるため、女性たちが困難に直面しています。</p>  |
| 220 | <p>性犯罪、性的被害を受けた女性を救う1つの選択肢になると思います。承認をお願いします。</p>   |
| 221 | <p>望まない妊娠を無くすため、より安全な緊急避妊方法を早急に承認してください。レイプ被害に遭った女性をこれ以上苦しめないでください。</p>   |
| 222 | <p>望まぬ妊娠と一言に言っても、自分の体を管理しきれないという理由以外に、例えば性暴力を受けた等の理由があると思います。戦々恐々としながら薬をもすがる思いで婦人科を尋ねれば、日本では「緊急避妊薬」が未認証がゆえに、他の薬で代用せざるをえない。しかも、効果は決して100%ではない。女性にとっては、非常に怖い現実です。私は学生時代、低用量ピルを使用して自分の性を守ってました。女性にとって自分の性を守る薬が、どれだけ大事なのか経験しているつもりです。是非この機会に、「緊急避妊薬」であるルノレボ錠の承認をお願いします。待っている女性はたくさんいるはず。これからも、でてくるはず。待っている女性がたくさんいるはず。これからも、でてくるはず。</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 223 | 産婦人科の医師です。外来を行っている、望まない妊娠をした女性が毎日のように受診します。本来ならば、低用量ピルの内服やコンドームなどによって避妊しておけば、こんな悲しいことは起こらないのに、本当に残念です。低用量ピルに医師の処方が必要とされていることは、実に間違った規則だと思っています。さらに、今回、より有効性の高い緊急避妊ピルの承認がスムーズに行われていないことを知りました。ぜひとも、早期に緊急避妊ピルの販売承認を行っていただきたいと思ひます。そもそも、電車のつり革広告やコンビニの雑誌コーナーなどの子供の目につくところに「セックス」という言葉を氾濫させることには大した規制もないのに、どうしてセックスした結果として起こる妊娠に対してはこんなにも規制があるのでしょうか。学校教育でも、有効な避妊方法については、現場までさせず。避妊教育を受けないうまま、雑誌や広告でセックスという言葉に触れれば、望まない妊娠をしてしまうのは、当然の帰結であると思ひます。その結果に対して、より有効と考えられている方法を導入しないことには納得ができません。ぜひ、早期の承認を御願ひします。もし、セックスを助長するので承認は時期尚早、などという意見を述べられている方々がいるのであれば、つり革広告や新聞広告、そしてコンビニの雑誌などで、セックスに関連した記事を載せないような法律を作るような運動を起こしていただきたいと思ひます。よろしく御願ひします。 |
| 224 | 望まれない妊娠をするなら、このような薬に頼った方がよいではないでしょうか？知り合いの女の子10人ほど聞いてみたが全員賛成だった。早期の承認を望みます。  |
| 225 | 大学でハラスメント相談、DV相談を受けています。女性の望まない妊娠を防ぐためにこのような薬が必要です。ぜひ認めてください。  |
| 226 | 全くの素人ですが意見いたします。「2010年4月現在、緊急避妊を目的として、本剤が欧州、アジア、アフリカ等の海外48カ国で承認、45カ国で販売、またLNGを1.5mg含有する製剤が41カ国で承認、37カ国で販売され、一般用医薬品又は医療用医薬品として使用されている。また、米国においては、緊急避妊を目的として、本剤と同一有効成分を含有する製剤（LNG0.75mg錠及び1.5mg錠）が一般用医薬品として承認・販売されている。」とあります。これだけ多くの国で承認・販売されているのに日本でも承認していいのではないのでしょうか？効能・安全性は既に認められているので後は倫理だけの問題かと思ひますが、望まれない性行為に対する避妊の対処方法は一つでも多いほうが良いと思ひます。早期の承認・販売を望みます。   |
| 227 | レイプされた場合、避妊に失敗した場合などに絶対必要です。これがなければ、望まない妊娠中絶、子どもへの虐待などが増えると思ひます。世界の主要な国々では承認されているとも聞いています。ぜひ承認して下さるよう強く要請いたします。  |
| 228 | 緊急避妊を早急に承認して下さい。   |
| 229 | 警察に協力し性犯罪被害者の診察を担当している産婦人科医です。児童相談所の依頼で性的虐待を受けた児童の診察にもかかわっています。ただでさえトラウマを受けている性犯罪や性的虐待の被害者を、ヤッペ法の副作用で苦しめたくありません。一日も早く、ノルレボ錠を使用できるようにしてください。  |
| 230 | 緊急避妊ピルは現在中用量ピルで医師の責任の下対応され、副作用がひどい状態です。ノルレボ錠0.75mgは北村邦夫氏(社団法人日本家族計画協会 家族計画研究センター・クリニック)の研究によると、中用量ピルに比べ明らかに副作用が少ないと出ています。是非ともノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売の承認を御願ひしたいと思ひます。   |
| 231 | 産婦人科診療所を開設しています。日常診療の中でも、緊急避妊を求めての受診は少なくありません。望まない妊娠を回避する方法が人工妊娠中絶ではなく、薬剤の一回投与で可能となることは、本当に重要なことだと考えます。妊娠がただ喜ばしいことだとばかりはいえない状況が存在することを忘れてはいけません。ノルレボ錠は現場で必要な薬剤です。是非、早期に承認して頂ける様御願ひ致します。  |
| 232 | 私は警察医をしています、特に産婦人科医で、強姦の被害者の診療に多くかかわっています。緊急避妊の目的で中用量ピルを投与していますが、現在緊急避妊に最適な薬剤は日本では許可されていません。強姦被害者(不幸な妊娠をさらに確実に防ぐ)を救うためにノルレボ錠をぜひ承認していただきたい。   |
| 233 | 産婦人科勤務医です。承認に賛成です。現在、月数件の緊急避妊の要望があります。望まない妊娠を防ぐ有用な手段であり、妊娠中絶という女性の心身に負荷がかかることを行なわなくてすみます。  |
| 234 | 女性の健康を守るために必要  |
| 235 | 女性外来に勤務しています。緊急避妊をする患者さんは、中容量ピルの副作用に困っています。早急に緊急避妊ピルを承認して副作用に苦しむ女性を減らして下さい。望まない妊娠による虐待事例も、見えました。緊急避妊をきちんとできる環境を整えて下さい。もちろん、現場ではきちんと避妊の教育も行っています。   |
| 236 | 性犯罪の被害者や望まない妊娠をした未成年者のために、この薬が必要だと思ひます。避妊に失敗し、墮胎することになった女性の、その後も続く心身の負担を考えると、この薬による避妊法はどうしても必要です。女性が経済的に自立するためには、学業や職業的訓練期間が大切です。望まない妊娠は、その機会を奪い、自立への道を断つこととなります。正しい性教育とあわせて、この薬の正しい使用が広く社会に認知されることを望みます。  |
| 237 | 望まない妊娠を避けるため、10台の中絶を避けるためにも、必要な薬剤と思ひます。欧米での先進的な方策も学ぶべきでしょう。  |
| 238 | 緊急避妊薬は必要です。レイプ被害もですが避妊失敗も女性の心と体に負担をかけます。このクスリが世界中で普及している理由がよくわかります。是非とも承認御願ひいたします。   |
| 239 | レイプ後の避妊、望まない妊娠を防ぐために、ぜひ必要です。望まない妊娠をした場合、妊娠を中絶する、または継続して出産、育児をする母子のリスクを考えると、緊急避妊薬は十分費用対効果はあると思ひます。ぜひ承認を御願ひします。  |
| 240 | ノルレボ錠0.75mgの早急な販売承認を御願ひ致します。女性が卑劣な性犯罪に巻き込まれた場合、精神的な傷を負うばかりでなく、万が一、妊娠してしまった場合に受けるショックは計り知れないはずで、せめて、公的に承認された薬剤で適切に処置されるルートが早期に確立されることを、娘をもつ親として強く望みます。  |
| 241 | 本薬剤は世界各国で承認されています。フランス系の会社に勤務していましたがフランスでは重篤な有害事象の報告もないと聞いていました。なぜ日本で承認されていないのか不思議な顔で聞かれました。母体に好ましくない中絶手術により、多くの女性が不妊症で悩んでいる話も聞いており、中絶による不妊回避と日本女性の人権を大切に守る上でも必要な緊急避妊薬であります。医薬メーカーが申請していなかったためですが今回、申請された医薬品会社に対して社会的な良心を感じます。是非承認を御願ひします。   |
| 242 | 本当に必要だと思ひます。性犯罪で被害にあった女性のために必要です。すぐに承認してください。いたたまれない事件が多く、国として遅すぎると感じます。世界で多くの国が承認しているのであれば問題は無いと思ひます。どうか宜しく御願ひいたします。  |
| 243 | 性犯罪にあった人を守る為に、ピルに代わる緊急避妊薬は絶対に必要であると思ひます。緊急避妊に対する正しい情報提供をしっかりと行っていくことを望みます。   |

|     |  |
|-----|--|
| 244 | 性別や年齢を問わず、性的非行の被害者は速やかに救済されなければならない。女性を望まない妊娠の負担から解放することは、その重要な方策の一つである。望まない妊娠を避ける手段としての医薬品の使用は、欧米各国ではすでに確立した安全な方法であると聞いている。これを利用可能にすることは、議論の余地無く速やかに行うべき施策であると考え。今日、性的活動が低年齢化しているが、社会の変動を考えればそのこと自体を問題にし、物理的な制約を課すことは得策でないし、実効的な手段も乏しい。また、若年層の男女、たとえば高校生の年代での性的活動を制限する有効な手段や当事者を納得させる論理もない。他方で、望まない妊娠が嬰兒の遺棄といった行動を引き起こし、その後の人生の方向を誤らせることは避けなくてはならない。現状では、もっぱら妊娠した女性の側のみ大きな負担が、しかも長期にわたって及ぶという不公平も厳として存在する。したがって、比較的容易な避妊の手段に、とりわけ女性の側からアクセス可能にすることは、極めて重要である。また、性的欲求を昂進させるための医薬品を承認しながら、望まない妊娠を避ける医薬品の使用制限を行うことは、加害につながりうる可能性を拡大しながら被害救済を困難にするという意味をもつ。これは、女性の権利を軽視する考え方だと言える。注意すべきは、レイプ被害の内容が極めて広範にわたることである。典型的な、見ず知らずの男性による極めて暴力的な性交渉の強要はむしろ少なく、多かれ少なかれ知っている人物かによって、合意と強制との線引きが困難な状況、言い換えれば女性から合意ではなかったという証明が難しい状況で、事件が起きていることがむしろ普通だと考えられる。他者に不同意だったとは証明しにくい本人には深い傷が残るようなケースでも、望まない妊娠という事態は避けることができるべきである。また、周知のことだが一般に女性がレイプ事件についてその被害を周囲あるいは公的権力に訴えることは、心理的に極めて困難である。被害を受けた後は、混乱したり、様々に思い悩んでいたずらに時間を費やしてしまうことが考えられる。入手に高い壁を設けることは、本医薬品の意義を元礼することになろう。服用すべき期間に確実に当該女性の手元に届くのでなければ意味がない。他方、本医薬品については、薬局で購入すること自体が心理的な壁になると考えられ、広範囲に乱用されることは考えにくい。以上の理由から、本医薬品は速やかに認可され、かつその存在を中学生以上の年代の女性に周知するべきだと考える。 |
| 245 | 早急に承認されるべきだとおもいます。レイプや低年齢の産落としなどの悲劇を少しでも減らすことができるはず。先進国のほとんど承認されているので、安全性は問題ないと思う。   |
| 246 | レイプ被害にあった女性が苦しまないで出来るだけ早く普通の生活に戻れるよう早期承認をお願いします。   |
| 247 | 女性の避妊薬としてリスクの高い薬をいつまでも摂取させつづけるのは危険だと思います。私には医学的知識はありませんが、海外などで多くの性的被害にあったかた、望まれない妊娠をしてしまったかたがノルレボ錠を使用し、副作用もなく安全であるとされている薬が簡単に日本でも使用できるようになれば女性としてとても安心することができます。また、低用量ピルに関しての承認問題でござったのは、性感染症が蔓延する、という懸念問題がはらんでいたというのが本当でしょうか？だとしたら非常に女性蔑視を根本に含んだ懸念であると思います。緊急避妊薬として安心な薬がほしいのは性的被害者、ひどい心の傷をおった被害者です。せめて身体からでも苦痛を取り除くよう最善の手をつくしてあげてください。あなた方家族の、だれでもいい、妹、母親、妻、娘、親戚、友人、その方々が被害にあったときのことを考えてみてください、手続きにはいろいろな問題や困難があるかもしれませんが、しかし苦しんでいる方々のことを少しでも思いやって考えてほしい、どうか安全な避妊薬を被害者の方々のもとに簡単に手に入るようなんとかお力をかしてください。   |
| 248 | レイプによる妊娠を防ぐために承認されるべきだと思います。   |
| 249 | 現在のアフターピルよりも副作用が少なく、女性の身体への負担を軽減することが出来ると思います。早く承認されることを望みます。  |
| 250 | 交通事故や犯罪被害などで、怪我をしている場合は、病院で医療を受けることを優先するのには、警察は、性犯罪となると、告訴するということを決めていない状態では、病院に連れて行くことさえしませんが。緊急避妊は当然の医療ケアとして扱われていないのです。報告罪だとか告訴だとか、ふつうはなじみのない生活を送ってわからないことだらけですし、被害直後の混乱した状態で威圧的に言われても逃げ出したくなるのが普通だと思います。ひどい話を沢山聞きます。警察を経由せずに病院に直接行った場合なども、ひどい対応をされたという話もたくさん聞きます。こうした現状を変えるためには、緊急避妊がもっと当たり前なこととして、当然のこととして認められる必要があります。迅速な承認を切に願います  |
| 251 | 女の体を持った者の1人として、ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売の承認を求めます。コンドームなどの器具を使った避妊は確実ではありません。女性は男性と違い、女性である以上妊娠と無縁ではいられません。それがたとえ望まないものであったとしてもです。ピルが無ければ何らかの理由で避妊ができなかった、失敗した女性は産むか中絶するしかありません。女性には身体的にも精神的にも、経済的にも大きな負担がかかります。場合によっては子供を産めない体にもなります。たとえ産んだとしても産まれた子供のうち、どれだけの方がまともな教育、家庭、生活にありつけるでしょうか？より確実に効果があり、副作用の少ない方法があるのならなぜそれを承認しないのですか？  |
| 252 | 題記の薬品につき、性暴力被害の女性を守るために、ぜひとも早急な認可が必要と考えます。母国が人権後進国であるのは情けないことです。   |
| 253 | 緊急避妊ピルを求めて受診する患者さんは10代から40代まで後を絶ちません。中容量ピルで代用するのではなく、緊急避妊のために承認された医薬品が絶対必要です。望まない妊娠を少しでも減らすために、承認を強く希望します。   |
| 254 | 〇〇と申します。レイプ被害に遭った女性をくるしめたくないと思います。緊急避妊を早急に承認してください。  |
| 255 | 性行為の際に、病気・妊娠など、リスクを負うのは常に女性です。女性の主体的な避妊の手段、選択肢を増やすことは、女性の社会的な負担を減らすためにも、非常に重要なことです。私の知り合いの友人も、性暴力被害にあって、望まない妊娠の危険がありました。ノルレボ錠の承認は、危険回避の意味はもちろん、そういった人々に対する、精神的なバックアップにもなるでしょう。ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認を、強く希望します！！   |
| 256 | 医師の判断と責任で処方していた緊急避妊ピルでは副作用が多すぎます。レイプ被害に遭った女性たちが、緊急避妊を求めた後に吐く(13.3%)、気持ち悪くなる(55.2%)、ではセカンドレイプにあわせているようなものです。ノルレボ錠の承認を急いでください。   |
| 257 | 「ノルレボ錠0.75mg」の承認賛成です。ニュースなどを見る限り、違法な中絶薬が出回っているようなので、安全性の高い薬品を承認し、これ以上違法な薬品が出回らないようにすべきだと思います。  |
| 258 | 輸入代行業者が個人に販売しているのは極めて危険。法の下での管理が必要だと思います。国際的にも認められた薬が、先進国では日本だけ認められていないというのは一体どういうことかと疑問を抱かずにはいられません。  |
| 259 | レイプされたという異常事態だけでなく、コンドームが破れた、基礎体温のつけ間違い等の避妊に失敗する事態は、実はなにげに発生します。恋人同士でも、若気の至りで勢いで避妊をしそねたなどの例も身近に見聞きます。このような際に、72時間以内に服用することで最後の避妊を可能にする緊急避妊ピルは救済手段としてあらゆる人々にとっての福音です。ぜひ早急な認可を求めます。  |
| 260 | 性犯罪に遭い、憎むべき加害者による妊娠などという二次被害をなくすためにも早急なる承認をお願いいたします！   |
| 261 | 中用量ピルでの緊急避妊の副作用で、大変気持ちの悪い思いをしました。性被害に遭い、更にその後の治療でも苦痛を味わわなければならないのは、あんまりだと思います。どうかノルレボ錠の認可をお願いします。  |



|     |   |
|-----|---|
| 281 | 私はノルレボ錠0.75mgの販売に賛成です。妻と二人の子供がいるのですが、やはり家族計画を考えたとき金銭面からも今子供ができては困るという時はあると思います。 コンドームをつければいいのではという意見もあるかもしれませんが、やはりつけないですということはどの家庭にもあることだと思います。夫婦ですので性病ということに関しての心配が低いということも、コンドームをつけない原因（あまえ）かなと私自身思うときがあります。 極まれにですが、大丈夫かな？と思うときがあり妻に相談すると次の生理まで妻はまだ来ないまだ来ないと不安がります。 妻としては子供はまだ欲しいのですが今は困る、産休明けてまたすぐ産休を取りづらいという心配もあるようです。 もし子供ができていて今は無理だから降ろそうとなるとやはり心的ストレスと罪悪感は大いではないのでしょうか？ 私の周りにもそーいった悩みを持つ家庭多いように感じます。 こんなときに ノルレボ錠0.75mg(緊急避妊薬)があれば、不安や罪悪感といった心的ストレスも取り除くことができるのではないかと考えます。 世間ではいろいろと子供虐待や産み捨てといった心無き事件があとをたたないように思いますが今回この薬が日本で販売されることで、少しでもこのような悲惨な事件がなくなることを願います。 子供は親に望まれて生まれてくることが、1番の幸せなのではないのでしょうか？私はこの薬の持つ意味は今の日本社会において、とても軽視できないものだと思います。 最後に日本でこの薬の販売が早期に行われることを望みます。宜しくお願い致します。 |
| 282 | 男性には望まない妊娠を避ける「射精しない」という確たる方法があるが、女性には受動態であるが故に、それはすべてが不確かになる。 動機が愛を確かめる、合意に基づくものならば、その不平等も許される範囲であろう。しかし、一方的なものも多く存在し、合意していない不幸な場面も多く、母子ともに大変な人生を歩まなければならない例が、たくさん、報告されている。 望まない妊娠を避けることが出来る、このノルレボにより、母子ともに、自分が確信できる人生を歩ませてやりたい。 よって、早期に販売を承認してほしい。   |
| 283 | 女性にとって妊娠はとても大きなできごとだと思います。過ちはだれにでもあるもの、それを清算しまたやり直すことができるのは、当人にとっても、もしも後に生まれてくる可能性のある子供も、社会にもすべて救うことができるのです。過ちを許すそれも社会の責務だと考えます。昨今、結婚の晩婚化に伴う、女性の性犯罪は増える一途をたどっています。そんな中、女性を守る一助となることを期待しています。最後に本品の承認を期待しています。   |
| 284 | 性的犯罪を受けた方の中で承認賛成の意見を出せる人はおそらく少数でしょう。つらい記憶を消し去りたい、なにもなかったことにしたいと思うのは当然です。早期の承認を！   |
| 285 | 望まない妊娠をなくすため、緊急避妊ピルを早急に承認してください。  |
| 286 | 性犯罪被害者をはじめ、全ての女性が必要になった場合に使えるように、緊急避妊薬ノルレボ錠を早急に承認してください。  |
| 287 | 人間には間違いが必ずあるもので、望まない妊娠が疑われる場合は避妊できるように何かしらの対策があるほうが良い。男女平等という言葉があるが、まだまだ男性ばかりの目線で差別が残っている。つまり、男女共に妊娠し出産を望んでいなければ、今日の様な事件(犯罪)が減ることはないと思います。関係男性の意向も尊重の上、女性自身が望まない妊娠であるならば、保険適用として認めても差し支えないと思います。なお、レイプといった犯罪等による妊娠が疑われる場合、現状は妊娠中絶を行うしかなく、理不尽である。安全な薬があるならばそれを使用し避妊することができる可能性を広げるべきだと思います。どうかノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売について承認をお願いします。  |
| 288 | ぜひともご承認願いたいと思います。日本は平和な国ですが、それでも人口1億2千万を誇る大国家です。当然レイプなど悲惨な目にあう女性が多々います。今まで中用量ピルなどで妊娠を防いできましたが体に負担が大きく、低用量ピルの必要性が増えています。女の人はいつも被害者で、薬でも苦しい思いをしなければならないなんて、心が引き裂かれます。すこしでも負担の低い薬を承認されることを祈ります。  |
| 289 | 1.ノルレボ錠は、すでに、48カ国で10年以上使用されているので、有効性と安全性に大きな問題はないと予想される。2.効能がアフターピルという性格上、全ての望まない妊娠の可能性に適用されるべきである。また、先進諸国では、すでに、処方せんを必要としないで販売している医薬品を、あえて処方せん医薬品として販売する根拠が脆弱である。3.処方せんなしでの販売を許可している他国の情報を集め、国としては、需要が高い低年齢層の女子の望まない妊娠を防ぐ効果的な使用を考えるべきである。処方せん医薬品のままでは、医師の診察が必要で、その使用の範囲は恐らく数十分の一以下に狭められるであろう。また、その実態状況を調査している間に、低年齢層での望まない妊娠が発生し、不幸な中絶が蔓延し続けるのである。これは彼女達が、将来健康な妊娠を望んだ場合の大変なリスクへと繋がる事実である。4.私は実際に、ニュージーランドでの薬剤師研修において、コミュニティーファーマシーで、薬剤師がアフターピルを、10代の女子に質問表に従い、処方箋なしで販売するのに立ち会った経験があるが、使用状況には問題がないとのことだった。つまり運用次第で、十分薬剤師の能力だけで、販売が可能と思われる。以上の現実を踏まえ、ノルレボ錠を一日も早く処方せんを必要としない医薬品とすることを進言致します。  |
| 290 | 特別な安全管理や流通管理を要するわけでもなく、濫用の危険性も考えにくいこの医薬品の承認に関して、なぜパブリックコメントを実施するのがよくわからないのですが、速やかな承認を希望します。現在の緊急避妊法であるヤッペ法は副作用のリスクが高い緊急避妊法です。極端な話をすれば、ヤッペ法は性的暴力被害により身体的にも精神的にも苦しんでいる女性が、副作用により更に苦しめる可能性が高い方法であると言えます。速やかな承認が必要であると考えます。   |
| 291 | ノルレボ・緊急避妊薬が認可されることを望みます。倫理的な面を指摘し、反対している人もいますが、万一、犯罪の被害者となってしまった場合、もしこの薬が日本で否定されて使用できなくなったら、どう対処していけばいいのでしょうか？手軽に避妊方法として利用することが無いように、教育のより充実も必要だと思います。犯罪被害者に対する積極的な取り組みがやっとなされるようになってきた日本の行政が、今後も正しい道を歩んでくれることを望みます。  |
| 292 | 社会的には非常に意味のある薬剤だと思います。処方せん医薬品で強く管理してしまうと、犯罪被害が明らかな場合にしか利用されないような気がします。かといって容易に入手可能にするのもリスクが高い(軽率な行動の促進、性感染症の拡大、犯罪への利用)と思います。未成年の場合には校医や学校薬剤師、保健の先生などを活用できるといいと思いました。  |
| 293 | 〇〇と申します。緊急避妊を早急に承認してください。レイプ被害に遭った女性を苦しめたくないです！   |
| 294 | 承認に賛成します。この薬の承認によって、緊急避妊に対する選択肢が増えるということだけをとても歓迎すべき事柄ではないかと考えます。ましてや、昨今のトイレでの新生児産み落としなどの事件を見ていると、今すべきことは「承認」及び「販売開始」のための早急な対応です。この薬はあくまでも緊急避妊のための薬なので、今までの計画的な避妊を決して否定するものではないと思いますので、かえって私には承認をしないほうがいい(してほしい)と思う人の考えが全く理解できません。過去には、ピルがコンドームメーカーからの圧力により承認が遅れたことなどもあったようですが、この薬は純粋な「緊急避妊用」の薬です。薬の成分的に問題がないのであるならば、可及的速やかに承認されるべきであるし、承認されることを強く期待します。   |
| 295 | 緊急避妊薬(ノルレボ錠0.75mg)の承認のお願い致します。個人輸入が行われている現状を考えれば、少なくとも日本でも必要だと私は考えます。医師の処方による服用とすれば、むやみに使用されることは回避されますし、体への副作用が少ない薬であれば、なおの事と思います。今までの避妊は、薬や道具を使う方法があるかもしれませんが、その方法の一つとして選ぶのは、個人ですから承認をお願い致します。   |
| 296 | 承認に賛成します。昨日もニュースで観ましたが、若い女性の産み落とし等は生命という道徳的見地からも問題だと思います。若年層に広がっている姓の開放化は止まらないと思いますので、せめて欧米並みの薬を購入できる環境を整えるべきだと思います。  |
| 297 | 世界中で使用されている薬品です。(北朝鮮では未使用とか?) 早急に日本でも恩恵にあずかれるよう認可されるべきです。望まれない子どもが、虐待や殺人などの親の被害にあったニュースはこれ以上視たくありません。日本も文明国家の仲間入りを目指すべきです。  |

|     |  |
|-----|--|
| 298 | 性暴力被害を防ぐために必要だと思います。特に、知的障がいなどのハンデを持った女性は性被害に会いやすく、彼女たちを守るためにも必要だと思います。また、子どもを産むか産まないか女性自身で意志決定することは重要だと思います。望まない出産で生まれた子供は虐待に苦しむことになる可能性もあるからです。  |
| 299 | 産婦人科医師です。強姦など悲惨な被害者を助けるため、承認おねがいします。   |
| 300 | 私の勤める病院では、レイプ被害者が多く来院されます。その方々に対して、中用量ピルを処方していますが、かつて、明らかに排卵日に被害にあったにも関わらず、「副作用があるなら、飲みたくない」という方に遭遇しました。情報提供した上で、緊急避妊薬を内服するかは、個人の自由ですが、よりよい副作用の少ない緊急避妊ピルが承認されることで、救われる女性はたくさんいます。日本においては避妊法としては、コンドームがまだまだ主流であるので、どんなにきちんと避妊をしても、破損などのハプニングもつきものです。望まない（予定しない）妊娠に至る前に食い止められる安全な緊急避妊薬が認可されることは、リプロダクティブヘルスの向上には不可欠だと考えます。 |
| 301 | 承認を望みます。墮胎や望まない妊娠を回避するために、ひとつでも選択肢を準備することが行政としての責務であり、児童虐待の多くなっているいまだからこそ重要と考えます。わたしたちが目指すべきはただ子どもを増やすことではなく、望まれた妊娠、出産を増やすことです。  |
| 302 | 必要です。緊急避妊を早急に承認してください  |
| 303 | 現在、中・高校・大学学生を対象に、デートDV防止のための講和を積極的に行っております。さまざまな暴力の中でも、性暴力は、女性の体や心に直接大きな影響を及ぼし、未成年での出産は、その後の人生を大きく変えてしまうことが非常に多いと考えられます。講義後のアンケートでも、「恋人関係から性関係につながる危険性について考えさせられた」「デートレイプという言葉を知り初めて知った」などが寄せられています。妊娠・出産は女性の性に関する大切な権利であり、中絶手術にくらべて体や心への負担のすくない、また、受精卵の着床を防ぐという妊娠自体を予防する、ノボテル薬の早い承認を望みます。                               |
| 304 | 女性のためにも是非必要であると思います。   |
| 305 | 医師です。副作用が少なく、効果が高い緊急避妊薬ノルレボを早く認可してください。  |
| 306 | 県警からの依頼で性犯罪被害者の診療・支援にあたっている産婦人科医です。児童相談所の依頼で性的虐待被害児の診察・治療も行っています。緊急避妊法で望まない妊娠を回避する場合、従来のYuzpe法では強い吐気が出現するため、心にも体にも傷を負った被害者にとっては非常に負担が大きいです。早くノルレボ錠販売を承認してください。   |
| 307 | 産婦人科の臨床に携わっている医師です。日常診療の場において、緊急避妊ピルは驚くほどの需要がございます。子供を望んでいない夫婦間や恋人間はもちろんのこと、レイプ被害に遭われた女性や、最近では女子校正などの重要も増えつつあります。産科医として、避妊指導を啓蒙していくことは今後も続けて参りますがレイプの場合は別として、人工中絶の手技のリスクを考えれば、ほとんどの諸外国ですでに認知されている緊急避妊ピルの一刻も早い認可を切望いたします。医師の責任の下、副作用の強い適用外のプラノバルを使い続けることには正直辟易しておりました。重ねて申しますが、弱者を守る意味でも早急にノルレボ錠の承認                       |
| 308 | 緊急避妊薬ノルレボに関して、女性目線での意見をさせていただきます。わたしは学生時代に妊娠したことがありました。その時はまだ緊急避妊薬の存在を知らなかったのですが、社会人になり、いろいろ調べてみたところ、緊急避妊薬の事を知りました。その後、コンドームが破れて妊娠してしまったことがあったのですが、緊急避妊薬を用い妊娠を防ぐことができました。コンドームを使用すれば、簡単に避妊ができ、エイズなどの感染症も防げると思います。ですが、破れてしまったり取れてしまうなども稀ではないと思います。日本でももっと緊急避妊薬を普及させるべきだと思います！   |
| 309 | 望まない妊娠を無くす為、またレイプ被害に遭った女性を2重に苦しめない為にも、緊急避妊薬を早急に承認して下さいますようお願いいたします。見方は違いますが、やむなく人工中絶手術をする女性が減れば、問題になっている産科医の負担も減ることになり安全な出産が出来ることに繋がると思われます  |
| 310 | 世界中で承認されていないのは、ほんの一握りの国しかないようなのに、日本がその中に含まれているとは疑問である。望まれない妊娠が、幼児・児童虐待につながっているかもしれない。ぜひとも一日も早く承認されること熱望する。   |
| 311 | 産婦人科医師です。外来で、望まない妊娠に悩んで中絶を選択する女性の相談にあたっております。現在、中用量ピルを緊急避妊に使用せざるをえません。本来の使用方法とは異なるので、副作用も心配です。早く安全性の高い、専用品承認を希望いたします。  |
| 312 | 医師です。緊急避妊を早急に承認してください。   |
| 313 | 医師です。緊急避妊を早急に承認してください。若年者の妊娠中絶を減少させる効果が大きく期待出来ます。  |
| 314 | 眼科医師です。性犯罪被害者の救済は最優先に考えるべき問題であり、可及的速やかに承認することが必要です。道徳的義務とすら思われます。  |
| 315 | 避妊に協力してくれない男性のために、身体的・精神的苦痛を受けるのは女性です。そのような苦痛から逃れるために承認を望みます。また、レイプ被害にあった女性にできる唯一の避妊方法です。ぜひ、承認していた   |
| 316 | 産婦人科医師です。日々臨床に携わっています。ノルレボ錠の承認を切望いたします。  |
| 317 | 現役産婦人科医師です。緊急避妊を早急に承認してください。お願いします。  |
| 318 | 1.当院は近くの警察署からレイプ事件の対応をお願いされていますが、緊急避妊ピルはぜひとも承認をお願いします。2.北九州市は10代の妊娠中絶が全国平均より高く、現在北九州市がその対策に取り掛かっているところですが、ここでも、ノルレボ錠の出番があると考えています。承認のほどよろしく願いたします。   |
| 319 | 医師です。早急に緊急避妊を承認して下さい。  |
| 320 | 産婦人科医師です。先日レイプの被害にあった女性を診察しました。彼女達を、”せめて”望まない妊娠からは救ってあげたいと思います。よろしく願いたします。   |
| 321 | 今は周りの若者がなかなか結婚をしません。我が家でも同じです。それは経済的にしんどいからです。給料は思うように上がらず、いつ倒産するか不安が有るからです。そのため結婚しても子どもはなかなか作れない状況です。そのためにはこのような薬が必要です。中絶手術は女性にとって身体に悪いです。48カ国で承認されていますし。日本でも早期に販売されることを願っています。   |
| 322 | 歯科医師です。レイプ被害にあった女性を救うために早急な承認を望みます。  |
| 323 | レイプ被害に遭った女性を苦しめたくないの、承認してください。   |
| 324 | 緊急避妊を早急に承認してください。望まない妊娠、虐待を減らす為にもお願いします  |
| 325 | 本薬は承認されるべきと考えます。望ましいことではないですが、やむを得ずこういった薬を使用しなければならぬ場合、より女性にとってアクセスしやすく、安全な方法が準備されているべきです。性犯罪者支援の観点からも、特にこれを承認しない理由はありません。この点、日本はあまりにも遅れていると思います。  |

|     |   |
|-----|---|
| 326 | 緊急避妊ピル「ノルレボ錠」の製造販売承認をお願いします。現在、表ざたにならないだけで相当数にのぼっている「避妊失敗」や「レイプ被害」による緊急避妊。そのための中用量ピル（プラノバルあるいはドオルトン）を医師が自身の判断で出していること、また何よりそれによる女性の身体への副作用と負荷が心配されていること。これらを解決することで、何らかのやむない事情で緊急避妊せざるを得なくなった女性への身体的負荷を少しでも軽減できるようにしていただけたらと思います。よろしく願いいたします。   |
| 327 | ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売の一刻も早い承認をお願い申し上げます。緊急避妊はレイプやデートDVの被害に遭った女性を妊娠から守る最後の手段です。現在適応外に使用されている中容量ピルは、嘔気などの副作用も強く、12時間後の2回目の服用が遵守されない場合も多くあり効果の低下の一因となっています。これに対し、安全性と効果の両面で優れているノルレボ錠0.75mgをぜひ承認して下さいませようお願い致します。  |
| 328 | 私はこの承認には賛成です。むしろ反対する理由がさっぱり分かりません。私は高校生の時、学校へ行く途中に男性2人組に攫われかけました。最初は道を聞かれたただけだったのですが、途中で1人がズボンを脱ぎだして。すごく怖かったです。なんとか逃げて学校に駆け込んだので無事でしたが。もし逃げられずに襲われて、望まない妊娠をさせられていたらと思うと今でも怖いです。私の友人には実際に攫われて襲われたという子もいます。その子は、次の生理が来るまで、不安でどうしようもなくて、鬱になってしまいました。こういう被害にあって鬱になったという人は少なくないと思います。こういうことを無くすためにも緊急避難用のピルは絶対に必要だと思います。   |
| 329 | 勤務医の産婦人科医師としております。思春期教育に力を入れて地域の中学校に思春期教育をしています。妊娠については、一方的に女性に負担がかかる現象であり生むにしても、妊娠中絶をするにしても女性の精神的負担と身体的な負担は非常に大きいもので、一生を左右する大きな出来事になります。幸せなはずの性が、性の被害や一方的なDV、避妊の失敗などによって望まない妊娠をもたらしてしまうことは、女性にとって非常に辛いことです。被害を防ぐことも重要ですが、世界中の女性が恩恵を受けてい副作用の少ないレノボ錠を日本の女性が使用できない現状は見過ごせません。現実には臨床現場では、被害にあい泣いている女性や、妊娠の恐怖や人口妊娠中絶手術を受けざるを得ない事で苦しんでいる女性が沢山います。1日も早い製造承認と臨床使用ができることを強く希望します。   |
| 330 | 性的被害者の救済のためには絶対不可欠の薬だと思います。また、多忙を極める産婦人科の中絶手術の労力を省き、女性の体を保護するためにも重要だと思います。  |
| 331 | 産婦人科医です。レイプの被害者だけではなく、適切な避妊方法も知らずに気軽に性行為を行った若者たち、私だけでもどれほどの人数に中容量のピルを処方しているのか、これ以上、悲しい妊婦を増やさないでください。その手段があるのだから許可してください。  |
| 332 | 最近の性行為は次第に低年齢化し不測の事態が多数発生しています。海外では緊急避妊薬として認められ、日本でも性教育の不足・意識の低下・性行為のみだれもあり、人体に多大な悪影響のある中絶手術は避けるべきです。早くノルレボは承認すべきです。性病発生云々は問題のすり替えです、別問題です。健全な家庭を補完する意味で必要です。   |
| 333 | 1995年に性犯罪被害に遭った被害当事者です。当時、犯罪被害者支援はまだまったくの未整備で、警察の捜査に協力すべく検査で訪れた病院では、緊急避妊薬に関する提案すらありませんでした。もし、あの時に妊娠してしまっていたら・・・。事件から15年が経過した今でも、想像をすることすら回避したい程の恐怖感が起こります。望まぬ妊娠、というものは悲しいことに今すぐにゼロになるものではありません。性暴力というものは、おそらく人類が発生した時から今まで、起こり続けていることなのですから。望まぬ妊娠が懸念されるような悲しい出来事に出合った女性を、どうか心身ともに安心させられるように、ノルレボ0.75mg錠の製造販売早期承認を願います   |
| 334 | 産婦人科医です。本剤を必要とする事例が毎日のようにあります。早急に承認して下さい。   |
| 335 | 医師です。緊急避妊を早急に承認してください。レイプ被害に遭った女性を診察することがあります。レイプの結果妊娠すれば最悪です。レイプあった本人、その人を診察した医師この二人が妊娠した場合のことを心配します。1日も早くこの薬の承認をお願いいたします。   |
| 336 | 緊急避妊をしかも副作用の少ない避妊法を必要としている若者は多く、中絶大国日本において少しでも望まない妊娠を阻止するために早期承認を希望する。またできるだけ必要とされる患者に負担がかけられないように安く提供できる方策も必要と思われる。  |
| 337 | 性被害にあった人や、避妊具のトラブル（破けるなど）で妊娠する可能性がある人のためにぜひ必要です。普及にあたっての広報も必要だと思います。  |
| 338 | 「医療法人社団 ○○○○の○と申します。緊急避妊を早急に承認してください  |
| 339 | 承認については賛成です。主な用途としては、性的暴行被害者への投与が考えられますので、その点については早急に承認すべきだと思います。しかし一方で、安易な使用により避妊や性病への意識が低下することが懸念されます。そのため、ある程度使用に制限をかける必要性があると考えます（たとえば、市販は制限し、医師の処方のみによる・・・など）。性的暴行のような緊急のケースの場合、医師にかかる勇気のない人もいるでしょうから、市販で買えるのが一番良いのですが・・・まずは医師による処方（店頭には並べない）から始めるなど、段階的に進めるのが良いのではないかと思います。   |
| 340 | 即時承認を願いたい。避妊に失敗して、緊急避妊をするためモーニングアフターピル＝アッペ法のことは知っていたが、それ用の処方してくれる産婦人科医が多くはないことを知った。電話相談でアッペ法を用いる緊急避妊を理解してくれる医師に運良く遭遇し、中容量ピルのプラノバルを処方してもらい、を事後に二錠、追加二錠で緊急避妊をしたが、ここで処方してもらえなければ産婦人科巡りをしなければならなかった。望まない妊娠や、中絶を減らすこともできるし、性暴力の被害者の女性にも、このような方法があることを広く告知し、女性が自ら自分の体を守るようにして欲しい。そのためにはすぐにでも承認されて欲しい。   |
| 341 | 緊急避妊ピル「ノルレボ錠」承認を推進します。これまでこのような選択肢が我が国では認められていないことに驚きました。女性の健康を守るためにも公衆衛生の観点からも必要と考えます。   |
| 342 | 今現在、強姦等の際使用されている医薬品は、その存在を広く一般に知らされていないわけではないですが、本当に必要な時にも適切に使用されているのではないですか？それでいいのではないのでしょうか。わざわざ広く存在を知らせて、普及させ、儲けようとする製造販売会社の意図が見え見えます。この種の薬が手に入りやすい状況になれば、「緊急避妊」の解釈の仕方でも、いくらかでも処方希望する人は出てくると思います。妊娠した彼女の意思を無視して、勝手に流産させようとする薬を投与する医師もいます。医師、看護師等による乱用も考えられます。避妊しない性交が、どういう結果をもたらすか、もっとしっかり教育するべきではないでしょうか。性病や子宮頸がんの低年齢化、増加も、世界に恥ずべき日本の現状ではないですか？一見、望まない妊娠をしてつらい思いをする女性のため...の薬ようですが、性欲に支配されるまま楽しい思いをしながら、満たされて冷静になったとたんに、妊娠は望まなかった...という身勝手な人たちのためにもなると思うと納得がいきません。ノルレボ錠が今までの薬よりも有効なら、承認はいいと思いますが、適用はあくまでも、強姦の場合のみ、被害者のプライバシーを守るべく、密かに投与されれば、それでよいのではないのでしょうか？こんな便利な薬があると公表してはいけないと思います。どうぞ、一般薬と同じようには、販売しないで下さい。お願いいたします。 |
| 343 | 自分が使用する予定はありませんができるだけ早い承認をお願い致します。ノルレボ錠は事件に巻き込まれて望まない妊娠の恐怖に怯える女性の救いになると思います。知らなければならないことと同じですので、これを機に避妊法に関する正しい知識とメリット・デメリットのわかりやすい資料を病院や学校、公的機関で誰でも簡単に手に入れられるようにしていただきたいです。正しい知識と教育は安易な考えに走る方への抑制効果があると考えられます。   |
| 344 | 医師です。緊急避妊を早急に承認してください。外来で現在処方しているものと比べて、ノルレボ錠の有効性、安全性の高さは明らかです。   |

|     |   |
|-----|---|
| 345 | <p>近年、性犯罪や望まない妊娠が増え、社会問題になりつつあります。中絶にはかなりのリスクがあり女性の体以外にメンタル的なダメージもかなり多いと思います。中絶せずに妊娠を回避できるこの薬は女性の体を守るだけでなく、メンタル的にも中絶に対するものとは少し違うのではないのでしょうか。知人で性的暴行をうけてしまい、さらに妊娠してしまった人がいました。最初は暴行のショックでなかなかそとにもでられない日が続いていたようですが、のちに妊娠が発覚してしまい、その知人は自殺してしまいました。もしこの薬が日本で承認、発売されていたなら、彼女の人生も救えたのではと今でも思っています。もう彼女のような被害者のニュースは聞きたくありません。この薬について賛否両論あるようですが、私は必要だと思います。</p>  |
| 346 | <p>女としてなんとおぞましいことでしょうか。考えるだけで息がつまりそうです。被害に遭った女性たちの苦しみを考えたらまらない気持ちになります。ましてやレイプされた挙句、望まない妊娠をしてしまったら、被害者の女性の苦しみはいかばかりかと・・・。レイプ被害に遭った女性をこれ以上苦しめたくありません。ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売を早急に承認してください。</p>  |
| 347 | <p>承認に賛成です。最後の避妊の手段として可能であり、他の多くの国でも実績があり安全性、有効性が示されているものです。レイプ被害者を救える唯一の方法です。望まない妊娠を防ぐために、これ以上女性を中絶という身体を傷つける方法をとらなくてよいように、一刻も早い承認を希望します。</p>  |
| 348 | <p>医師です。レイプ被害に遭った女性を苦しめたくありません。早期の承認をお願いします。</p>  |
| 349 | <p>産婦人科医師です。緊急避妊を早急に承認いただくようお願いいたします。性暴力被害にあった女性をさらに苦しめたくありません。</p>   |
| 350 | <p>大切な友人のプライバシーに関係する事柄を述べる為、失礼ながら匿名とさせていただきます。まずそもそもですが、緊急避妊用ピルが未だ認可されていないことについて、私が理解のできる相当な理由が存在しません。最初に考えるべきは副作用ですが、これは既に問題がないものとして公になっていることですから、特に私が述べるまでもないことかと存じます。次に多く聞く意見としては、『緊急避妊ピルが認可されることにより、貞操観念の低下や性病の蔓延が予測される』というものです。有り体にいえば、聞くに値しない意見だと言わざるを得ません。あくまでそれらの問題は教育や環境によって発生する問題に過ぎず、緊急避妊ピルが存在するかどうかは問題ではありません。そもそも、今でもピルは存在しているのですから、緊急避妊ピルによって有意な変化が起こりうるとする根拠とはなり得ません。つまりピルの問題とは別に性教育が大切だということをし上げましたが、教育が必要なのは子供や一般市民だけの話ではありません。そもそも、現状の行政・医師の緊急避妊に関する意識が余りに低いと言わざるを得ないです。過日、私のパートナーが緊急避妊を必要とする状況に陥りました。日曜の朝だった為に至急当番医へ向かいピルの処方を受けようとしたのですが、3軒あった当番医の解答は全て「月曜日に来い」というものでした。彼らは皆、緊急避妊は72時間以内に行えばよいのだから月曜に診察を受ければよいのだと言ったのです。ですが、緊急避妊の成功率は、わずかながらではありますが時間と共に減少してゆきます。その低下曲線の中で、確率統計的に有効と言って構わない閾値とされているのが72時間後だというだけに過ぎません。どうしても避妊が失敗するリスクが存在することは理解できます。ですが、結局24時間以上も経った後にピルの処方を受け、結果避妊に失敗してしまったとして、果たして我々はそれを「避けられない妊娠だった」と受け入れることができるのでしょうか？もっと早く、月曜まで待たずに処方を受けられていたら、妊娠せずに済んだのではないだろうか？そう思い続けることでしょう。その重さを、病院や医師、そしてこのように言われてしまうべき#7119救急相談センターは一切理解していなかったのです。結局遠く離れた他地区の当番医全てにしらみつぶしの電話を行い、数時間後にやっと1件処方可能な婦人科を発見し事なきを得ました。しかし、相当な数の電話を試みましたが、もしかしたらそれは偶然であったかも、他の日ならば処方してくれる医師は存在しなかったのかも知れないのです。医師の意識の低さもさることながら、行政においても、常に緊急避妊ピルの処方が可能な病院を用意しておくべきであるという意識が欠落していると言えます。「望まれない妊娠を防ぐ」「避妊・墮胎による身体負担を防ぎ軽減する」という考えは、既に一般的なものであり、理に適ったものです。そのような教育を国が指導しておきながら、緊急避妊ピルは認めない、医師が緊急避妊ピルに対する知識を持ち合わせていないなどという状況が存在すべきではありません。早急に認可し、合わせ、緊急避妊ピルに関する正しい知識を行政医師そして国民に広く周知する絶好の機会として利用すべきであると申し上げます。</p> |
| 351 | <p>看護師として上級思春期保健相談士として、中学校・高等学校で健康教育講演をさせていただいておりますが、まだまだ他人事だと受け止められているように思います。現場で働いておりますと、10代の妊娠に出会うたび、彼女は誰にも相談できなかったのだろうかと考えてしまいます。だったら、一人、一人に知らせる必要があり、それが、大人の責任だと思います。緊急避妊の方法と言えば、中学校ではまだ早いと言われてしまうかもしれませんが、保健体育のテストで、グループ分け（エイズ・性感染症・妊娠・緊急避妊ピル）などと必然的に覚えられる工夫をすれば、子どもたちに自然に伝えられるでしょう。ぜひとも、緊急避妊ピルの承認をお願いいたします。</p>  |
| 352 | <p>緊急避妊薬は絶対に必要だと思います。早急に承認してください。緊急避妊薬を簡単に考えて、誰でもいつでも使用するべきものではないとは思いますが、望まない妊娠はできるだけ避けるべきです。レイプ被害者の妊娠はつらいものがあります。女性の心の傷は少ないほうがよいと思います。よろしくをお願いします。</p>   |
| 353 | <p>副作用の少ない緊急避妊を早急に承認してください。</p>   |
| 354 | <p>産婦人科医です。緊急避妊を早急に承認してください。</p>  |
| 355 | <p>望まれない子供を増加させるのはどうかと思うので、承認には賛成です。墮胎などは精神的にも肉体的にも深い傷を負う事があると思うので、緊急性のある場合の避妊に対しての処方として承認すべきだと思います。</p>  |
| 356 | <p>司法修習生としての立場から、ノルレボ錠の製造販売承認をすみやかに行って頂きたいと考えています。現在は強姦被害者の妊娠防止のためには、医師が、自己責任で、本来緊急避妊薬ではない中用量ピルを代用するしかありません。中用量ピルでは嘔吐の副作用が出やすく、嘔吐すれば避妊効果がなくなることから、被害者は、被害にあっただけでさえ疲弊しているのに、さらに副作用に耐えるか、妊娠の恐怖に耐えるかの二択を迫られる状況です。ノルレボ錠は、嘔吐など副作用発現率が中用量ピルに比して有意に低いです（<a href="http://www.koshu-reisei.net/cgi/topics/disp.cgi?mode=detail&amp;id=1111">http://www.koshu-reisei.net/cgi/topics/disp.cgi?mode=detail&amp;id=1111</a>）。被害者に不要な苦しみを与えないため、中用量ピルでなく、ノルレボ錠を使用するようにすべきだと考えています。あと、パブコメを集める前に、もっと一般の方に、ノルレボ錠、緊急避妊全体についての情報を伝えてください。読売新聞の記事から本件を知った約1800名の人たちが、webでコメントをしていますが（<a href="http://news.mixi.jp/list_quote_diary.pl?id=1420432">http://news.mixi.jp/list_quote_diary.pl?id=1420432</a>）（会員制サイトの記事なので読めないかもしれませんが）、誤解に基づく意見が非常に多いです。一例を挙げると、ノルレボ錠が中用量ピルと同等の副作用発生率であると誤解して、あんなに副作用が強い薬は危険であるという反対意見を述べる人がいます。また、厚労省がノルレボ錠をどこでも買えるようにする意見をまとめた誤解して、ノルレボ錠が簡単に手にはいると、コンドームをみんな使わなくなって性感染症が蔓延する、といった反対意見を述べる人がいます（本当にびっくりするほど多いです）。副作用発生率が有意に低いこと、処方箋がなくても買えるようにすると決まったわけではないこと、認可されている国でも「日常の避妊手段」としては使われていないことがもっと周知されればと思います。この問題について誤解している国民が多数いるのをそのままに、パブリックコメントを集めても、誤解に基づいたコメントしか集まらないのではないかと、それを参考に議論を進めることはかえって議論を遅らせるのではないかと、疑問を有しています（わたしのコメントにも、理解が不十分な点はあるでしょうが）。繰り返しになりますが、現在でも中用量ピルを医師が処方しての緊急避妊は行われており、ノルレボ錠も市販薬でなく、医師が処方する薬とするのであれば、「あとで楽に避妊できると思ってコンドームを使わなくなる」ということは起きないはずで、その点についての誤解が解けるよう、広報や、意見募集要項への明記をお願いしたいと思います。</p>   |
| 357 | <p>私は製造販売に賛成致します。たしかに避妊および性感染症の防止という点ではコンドームの使用が推奨されるべきです。しかし、同意に基づかない性行為があった場合などといった最悪のリスクケースを考えると、一刻も早く製造販売を許可して頂きたいと思致します。</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 358 | 現在でも、中容量ピルで緊急避妊をしてくれる産婦人科医もありますが、副作用の吐き気がとても強いので、選択肢の一つとして、新たな薬が承認されるのは良いと思います。  |
| 359 | 緊急避妊ピルの承認を御願います。副作用や性行動の活発化を指摘する声もあるようですが、人間の性行動は衝動的な部分も大きく、避妊方法があってもなくても、その場での性行動を抑制することは少ないと思っています。コンドームを自由に販売すると、性交が増えると懸念する向きもあったと聞いていますが、コンドームがあろうと無かろうと、したいときはする、というのが普通の行動です。緊急避妊ピルによる不利益は小さく、女性の望まない妊娠を防ぐことができるという効果の方が上まわると考えます。私は産婦人科医として外来診療を行っています。望まない妊娠をする女性が数多くいます。中絶手術も行いますが、費用、精神的負担、合併症による障害、など多大な不利益が生じてしまいます。避妊用としての低用量ピルが市販されていれば、このような悲しい事例もずっと少なくなると考えていますが、いまだに医師の処方が必要となっており、中絶手術などによる被害が続いています。これは、当初の低用量ピルの承認時の戦略が間違っていたことが是正されず、引き継がれているものと認識しています。低用量ピルの制限を解除することが必要と考えて行動しています。今回の緊急避妊ピルについても、いずれは市販薬とすることが望ましいと考えています。その前に、少なくとも医師が処方できるようにして、副作用情報などを集積する必要があると考えます。ぜひ、承認を御願います。 |
| 360 | 人工妊娠中絶手術によって、不妊症になってしまう可能性も考えられる。人工妊娠中絶によって起こりうる影響より、いわゆるモーニングアフターピルによる緊急避妊の方が、女性の体への影響が少ない。   |
| 361 | 医師の処方により使用が可能ということですが、性犯罪に巻き込まれた場合など、性交後72時間以内に診察を受けるのが難しい場合も多々あるかと思えます。一般薬局で販売し、そのことを周知徹底していただいた方が、解禁するにしても効果的ではないでしょうか。またその際にコンドームの使用の必要性も併せてPRしてはどうでしょうか。「事前はコンドーム、緊急は緊急避妊薬」とセットにして。世界的に見ても性的な事柄に対して日本は実態ベースではオープンだと思のですが、それらの事について公な場で語る事が難しいのも事実だと思います。ただ、そのねじれが、無知・無防備を招いているのは危険なのではないでしょうか。   |
| 362 | 緊急避妊を月1回はしています。コンドームトラブルから、はてはレイプまで多くの女性を救いたいと思います。  |
| 363 | 緊急避妊は多くの女性にとって必要となりえる薬剤です。早急な承認よろしくお願いたします。  |
| 364 | 緊急避妊は、女性の権利です。この薬の承認をお願いします。   |
| 365 | 性的被害で望まない妊娠に至るのは、加害者側の男性ではなく、「女性のみ」です。彼女達を守ってあげてください。  |
| 366 | 無用の妊娠中絶を減らすためにも、是非認可をしていただきたいと思えます。  |
| 367 | 産婦人科の開業医です。レイプ被害や避妊の失敗で泣いている女性がたくさん来院しています。副作用が少なく緊急避妊ができる薬剤が承認されていない日本では、いつも大変困っています。こういう薬剤が早く承認されることを願っています。関係各位の速やかなる決断を期待しています。  |
| 368 | 医師であり、性被害の女性をサポートする仕事をしています。ぜひ、ノルレボを認可してください。お願いします。このお薬があれば不幸な妊娠から救われる人が大勢居ます。  |
| 369 | 医師です緊急避妊を早急に承認してください。  |
| 370 | 性の問題については倫理観の教育も大切な課題とは思いますが、倫理は大切なものであるだけに、簡単に”万人にとって正しい基準”を設定できるものではないと思えます。それよりも今、すぐ、目の前にあるトラブルを食い止めるためにも、緊急避妊薬の普及が必要だと思えます。国民の一人として承認を求めます。  |
| 371 | 私の妹は、性犯罪の被害を受けた事があります。その時は運よく妊娠をしたなどはありませんでしたが、もしあの時妊娠してしまっていたらと思うと、本当に怖いです。女性を助ける事の出来る、女性の不安を和らげる事の出来る薬だと思うので、ぜひ販売して頂けたらと思えます！！よろしくお願いたします致します。   |
| 372 | 私自身、望まれない形で妊娠をした事があります。避妊をしなかったとかではなく…その時は、中絶手術をし、手術後の経過も良かったものの、もしそれで今後妊娠出来ない体になっていたら…とか、手術をした時の恐怖心、色々不安でした。そんな時にこの薬があったらと思えます。ぜひ、こんな女性を増やさない為にも、よろしくお願いたします。   |
| 373 | 緊急避妊薬は避妊法として完全なものではありませんが、ノルレボが望まない妊娠を減少させることは明らかです。避妊に失敗することは誰でもあることです。産婦人科医としても中絶は避けたいといつも思っております。中絶という不幸な結果を減少させるためにノルレボの承認を希望します。  |
| 374 | ノルレボ錠は性犯罪（レイプ）の被害者救済や好まない妊娠を避けるため世界48国で承認されている安全性の高い薬であり、日本でも早く承認販売されることを要望致します。（「緊急避妊薬」ノルレボ錠は性犯罪（レイプ）の被害者救済のためや、好まない妊娠を防ぐための薬として、世界48カ国で承認され、安全性も証明されているものであり、日本においても是非承認をしていただければ、要望致します。）   |
| 375 | 医師です。緊急避妊を早急に承認してください。   |
| 376 | 承認賛成です。ぜひお願したいです。人工妊娠中絶を避けられるからです。我々女性の身体に優しい薬です。私の高校時代からの何でも話せる真の友人が、結婚後、帰宅途中、見知らぬ男に暴行を受けて妊娠。そして中絶処置をしました。悩みに悩みましたが彼女の主人にも誰にも知らせません。35年前くらいの出来事です。世間に知られたくないために泣き寝入りしました。そういう人も今でもいると思えます。そういうときに72時間以内に飲むと84%が回避出来るのはとても女性の身体に優しい薬だと思えます。色々な意見があると思えますが是非承認願います。   |
| 377 | ノルレボ錠の承認は必要だと思えます。というのは性暴力に遭った女性にとっての救いになると思うからです。中絶は女性の不妊にもつながることがあります。女性の精神的負担も大変大きなものです。このような負担は事前に妊娠を防ぐことで回避することが出来ます。ぜひ、承認お願いたします。  |
| 378 | 女性として、この薬は早く承認して欲しいです。特にレイプ被害者にとって重要なものです。心身ともに大きな傷をおった被害者が、妊娠してしまう事は、絶対にさなければならぬ事です。レイプ被害者には即座に処方・服用させるようにして欲しいです。ただ、レイプ被害者のみに限る必要はないと思えます。明らかに避妊を失敗し、妊娠したら墮胎する事になるのなら、この薬を服用すべきです。墮胎手術によって、妊娠出来なく（しくく）になってしまう事もあるので。こういった薬があると、避妊をしなくなると言われるかもしれませんが、運用次第で避けられるのではないのでしょうか。1回の診察で1回分しか処方しないようにしたり、または医師の目の前で服用を義務付けるようにすれば、問題は少ないと思えます。「72時間以内に服用」と「医師の診察」となれば、避妊する方が楽ですから。ただし、薬が裏ルートで広がらなければの話です。販売承認を前提に、適切な運用方法で女性を守る薬を早く世の中に出して下さい。よろしくお願いたします。  |
| 379 | ぜひ承認をお願いします。性的被害にあった人が望まぬ妊娠を避けるために、まさに必要な薬です。妊娠によって母体の命が危険にさらされる人もいます。私も性被害にあい、妊娠を避けるために処方された中容量ピルを服用したことがあります。吐き気が本当にひどくて、「でも吐いたら薬の効果がない」と泣きながら我慢しました。本当に苦しく、なぜ女性ばかりがこうした苦しみを味わわねばならないのだと、本当に辛かったのを思い出します。どうかこれ以上、女性の苦しみを増やさないためにも、ノルレボの承認をお願いします。  |

|     |   |
|-----|---|
| 380 | こんにちは、性犯罪被害者の方をさらに苦しめる事態があってはならないと思います。緊急避妊ピルの承認をお願いいたします。  |
| 381 | 望まない妊娠による中絶の方がリスクが大きく以後のSEXパートナー同士の仲も悪くなることが多いと思います。コンドーム使用による性交渉でも100%ではないのと万が一コンドームが破ける可能性は0%ではないため重大な決断をするうえでの選択肢の一つとして選べるように承認して欲しいです。  |
| 382 | 性犯罪等の望まない妊娠の場合や、墮胎時の女性の体の負担を考えたら、有効な薬だと考えます。  |
| 383 | レイプ被害に遭った女性を苦しめたくないで、よろしく願います。  |
| 384 | 緊急避妊薬のできるだけ早い承認を望んでいます。インターネットの質問掲示板を見ていても「緊急避妊薬」「アフターピル」の存在を知っている人は少なくないです。それだけ、緊急避妊薬が必要とされる場面は多いのです。しかし、現状で個々の医師の責任で行われている中用量ピルによる代用では辛い副作用に悩まされ、嘔吐してしまったり代用であるが故に不適切な処方されたりして避妊に失敗してしまう例もあるように見受けられます。望まない妊娠、中絶は女性の心身を深く傷つけます。強姦被害者が、二重三重の苦しみを受けることになります。緊急避妊薬が承認されることで少しでも多くの女性が救われることを、切実に望みます。医薬品の承認は、効果や安全性という医学的見地からその当否が判定されるべきです。パブリックコメントを募集すること自体その趣旨に反するのではないのでしょうか。   |
| 385 | 一刻も早い承認と販売を望みます。セーフティセックスの妨げになるのではないかと等々の意見もあるようですが、それはもともと個人の良識によるものだと思うので、常識のある人は、緊急避妊薬が認可されようがきちんとコンドームを着けるだろうし、着けない人は何をしても着けはしないと思います。妊娠をしてしまう女性側からの意見としてみれば、望まない妊娠を避ける方法はいくらあっても足りないですし、極端な話ですが性的暴行を受けた際のことを考えると、必ず必要です。極論になってしまいますが、望まない妊娠は女性にとって自殺を考える、あるいは選ばせる位の絶望だと思います。また、それによって生まれてきてしまった子供を愛せないとなると、それが更に負の連鎖に繋がるのではないかと思います。あと、性行為の低年齢化が進んでいる現代だということも承認を希望する理由の一つです。そのほかにもまだいくつも希望する理由はありますが、とにかく一刻も早い承認を是非お願いします。  |
| 386 | 今現在、緊急避妊を行う為に、中用量ピルなどが「代用」されています。本来であればそれらのピルは緊急避妊用でなく、ほかの症状に対して処方されるべきものであり、使用目的が同じでありながら、その副作用の差は歴然としています。「安易な性行為を増長する」という推測を理由にし、安全な処方ができるにも関わらず、大きな身体的負担を強いるのは、釈然としません。この薬を必要とする全ての人が「安易な性行為」の末に、使用する訳ではなく、一部の短絡的な方だけでしょう。それよりも、心身共に大きな傷をおった方はもちろん、別の方法で避妊を行ったが失敗してしまったなど、人為的なミスもあると思います。それは決して「安易な性行為」とは言い切れません。事実、すでに「代用品」があるのですから、「本来使用されるべきもの」がしっかりと使われるべきだと思います。ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認を求めます。  |
| 387 | 私は日本の薬学部を卒業し、日本の病院で8年ほど勤めたあと、オーストラリアの薬学部で修士課程で今現在学んでいます。このレボノルゲストレルという薬はオーストラリアでは緊急避妊薬として、すでに使われています。2つの国で薬学を学んでみた観点から見ると、外国では普通に使われている薬（しかもこの薬はWHOの推奨薬）が日本では使えないという点は患者の不利益以外の何者でもありません。さらに、この点は日本全体の医療の発展の妨げとなっていると感じます。なぜなら医師、日本の薬剤師、医学生、薬学生、看護師、その他コメディカルがこうした優れた効果のある薬を使う場が生じなければ、いくら本や論文から学んでも、すぐに忘れてしまいます。実際に使う場が生じてこそ、知識を知識として吸収できると実感します。今回の緊急避妊薬のようなエッセンシャルドラッグが使えない国の医師や薬剤師、あるいは看護師は決して能力が低いわけでもないにもかかわらず、世界に羽ばたいた時、少なからずショックを受けるのと同時に、海外では使えない物にならない医師や薬剤師となったり、経験に基づいた討論すらできません。日本経済が低迷している中、色々な会社が海外に目を向けています。日本人は内向き志向が強く、海外に出たがる人も少ないとの報道もあります。日本が世界で重要な位置を占めるには色々な意味で努力が必要です。もちろん海外のものがすべていいわけではないですが、こうした実績のある薬を素早く承認することは、患者の不利益を防ぐのと同時に、メディカルスタッフのレベルを世界標準に引き上げるのに役立つのではないのでしょうか？ |
| 388 | 緊急避妊を早急に承認してください。   |
| 389 | レイプ被害など緊急に避妊が必要な女性に対してより安全な緊急避妊ピルが提供されることは必要だと思います。   |
| 390 | 緊急避妊ピルこそ最も必要なピルです。性暴力被害者の被害の軽減に絶対に必要です。   |
| 391 | 承認に賛成です。法律上胎児は人ではありませんが、人として考えた場合、中絶は日本人の死亡原因上位を占めると聞いた事があります。非常に衝撃を受けました。もし、事実であるとするならば日本人として恥ずかしいです。中絶手術を減らすことができる薬は必要です。   |
| 392 | レイプ被害者や否認の失敗など望まぬ妊娠で、母子ともに更に苦しめぬ為にも、緊急避妊を早急に承認してください。   |
| 393 | 去る11月26日、厚労省薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会が、緊急避妊薬の製造・販売を承認してもよいとの意見を出したことを全面的に歓迎します。国際社会では、女性の性と生殖に関する健康を女性の権利として保障すべきであるとの合意がなされています。その観点から、緊急避妊薬が望まない出産を防ぐ選択肢の一つとして一日も早く承認されることを強く望みます。緊急避妊薬はすでに世界の多くの国で使用されており、その効果も十分実証されています。道徳的観点から緊急避妊薬に反対する声もありますが、それは単に女性が直面する現実の問題に目を閉じているという過ぎません。望まない出産という女性の人生を左右する重大な問題を解決するには、緊急避妊薬の承認こそが必要で、正式に承認されればこの薬についての情報・知識が広まり、それがひいては正しい理解に基づく使用につながると信じます。いまこそ厚労省が、緊急避妊薬の製造・販売承認に向けゆるぎない行動を起こすことを切望します。  |
| 394 | 緊急避妊ピルである、ノルレボ錠の早期承認を強く望みます。現行では緊急避妊用として中容量ピルが使われていますが、悪心・嘔吐などの副作用が大きく、ノルレボ錠ではその副作用の軽減が見込まれます。妊娠の恐れという大きなストレスにさらされている女性に、悪心・嘔吐といった更なるストレスを加える必然性はどこにもありません。以上の理由から、私は、緊急避妊ピルであるノルレボ錠の早期承認を強く望みます。   |
| 395 | 賛成いたします。  |
| 396 | 緊急避妊を早急に承認してください  |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>「早期」承認の必要性 2009年に内閣府男女共同参画局から公表された「男女間における暴力に関する調査報告書」によれば、異性から無理やり性交された被害経験のある人は7.3%です。被害者のうち、加害者と「面識があった」という人は8割近く、加害者は「配偶者(事実婚や別居中を含む)・元配偶者(事実婚を解消した者を含む)」という人が35.5%と最も多く、次いで「職場・アルバイトの関係者(上司、同僚、部下、取引先の相手など)」(25.8%)、などとなっています。さらに、「無理やり性交された」と被害者本人が認識していても、加害者からの暴力や脅迫を恐れて望まない性交に応じる、加害者との力関係から性交を拒否できない、相手方に嫌われたくないから性交に応じる、相手方に経済的に依存しているため性交を拒否できないなど、上記数値には含まれない性暴力が蔓延しています。このように性暴力の被害にあったとき、妊娠の可能性について最も大きな不安を抱く被害者が多いのが現実です。しかし、日本では、現時点では緊急避妊の専用の薬(緊急避妊ピル)が認可されておらず、適用症とは異なる中用量ピルを一部の医師の責任で処方しているに過ぎず、このようなことが性暴力被害者の負担を大きくし、また性暴力被害女性の緊急避妊へのアクセスを困難にし、望まない妊娠を招き、また被害者の精神的ストレスを増加させています。アメリカ合衆国では強姦被害者の5%が妊娠し、その半数がやむなく人工妊娠中絶をしています。もともと、まだ緊急避妊が普及していない1960年・70年代には、緊急避妊は性暴力の被害者対応として利用されていました。このような緊急避妊薬のうちでも、有効で副作用が少ない薬品が早急に承認されることは、性暴力の被害者の支援にとって不可欠なことであり、承認が遅れることは、それまでの間に性暴力の被害にあった女性の良質な緊急避妊へのアクセスを妨げることになりません。なお、本パブリックコメント募集の際に公開されている「品目概要」には、「コンドームの装着不備、低用量経口避妊薬の飲み忘れなど、避妊措置に失敗した又は避妊措置が十分ではなかった場合」と記載されており、あたかも使用する女性に積極的な責任があるかのような記載がされておりますが、誤解を招くものとしてふさわしくありません。性暴力が蔓延しており、未だに女性が対等に性行為について男性と交渉することが困難な社会状況とその状況下での女性の人権保障の観点から早期に承認に踏み切るべきです。また、「ノルレボ錠0.75mg」(Levonorgestrel)の承認が性道徳を乱し、安易で危険な性行為を増加させるとの誤情報もあるようです。下記の引用文献にも記載されておりますが、Levonorgestrelについては、このような悪質な誤情報がまことしやかに流布され、しかもこれにもとづいて承認や利用拡大を阻止しようとする勢力があるとすれば、その多くは虚偽の情報を悪用して女性の人権を侵害する、または女性の人権の保障を快く思わない勢力の限られた、しかし、声高で強硬な意見に過ぎません。さらに、「ノルレボ錠0.75mg」(Levonorgestrel)の承認が性感染症の予防に効果的なコンドームの普及を妨げるなどの暴論もあるようですが、男性が着用するコンドームの普及を妨げているのは、女性が男性と対等かつ平等な関係がないことが主な原因であり、これを文部科学省が必要な性教育さえも拒否し、厚生労働省がエイズ対策を除いてコンドームの積極的な普及に消極的であるからです。「ノルレボ錠0.75mg」(Levonorgestrel)を早期に承認しないことは解決にならないばかりか、ますます女性の人権を侵害するものであります。したがって「ノルレボ錠0.75mg」(Levonorgestrel)の承認は当然必要なことであり、早急に承認されることを求めます。</p> <p>2 安全性について すでに多くの国々でLevonorgestrelは承認されております。また、WHOが本剤をEssential Medicineに指定していることからわかるように、安全性については検証済みであります。ただし、不適切な使用方法による誤用が報告されておりますが、このような事態を減らすためには、むしろ早急に承認して適切な使用方法を普及させることが先決です。例えば「Safety of levonorgestrel-alone emergency contraceptive pills Fact sheet」は、Levonorgestrelの単独使用の安全性をさまざまな角度から検証しています。例えば、深刻または長期間の副作用が生じないこと、子宮外妊娠の危険性を増加させないこと、将来の妊孕性に悪影響を及ぼさないこと、誤って妊娠初期に服用した場合に胎児の成長に悪影響を及ぼさないこと、妊娠をした場合には流産を引き起こさないことなどが根拠データとともに検証されています。ちなみに、Levonorgestrelの利用が性的または避妊の点からリスクの高い行動を引き起こすわけではないことも実証されています。</p> <p>3 今回のパブリックコメント募集について 女性差別撤廃条約を批准し、国際人口開発会議の行動計画や北京行動綱領の採択にて合意した政府には、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを積極的に推進する責務があり、このような緊急避妊についての社会的認識不足を是正していく役割があります。しかし、今回のパブリックコメント募集という手法はそのような政府の役割を半ば放棄したものです。今後には、少なくともリプロダクティブ・ヘルス/ライツを否定する立場を助長しあおむような意味での安易なパブリックコメント募集は慎重にされることを求めます。医療品の中でも、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関わるものについては、女性にとっての必要性和安全性という観点からではなく、女性の人権や健康の犠牲によって社会での既得権を維持しようとする立場からの、しかも誤った情報からの数集めに過ぎない反対がなされること予測され、そのような立場を承認の是非の際に鵜呑みにすることや厚生労働省の消極的対応の口実とすることは回避される必要があります。</p> <p>4 今後の課題 「ノルレボ錠0.75mg」(Levonorgestrel)の承認は早急にされるべきですが、承認された場合でも、承認後の課題は山積しており厚生労働省におかれましては、下記の点について、対応をとられることを求めます。「Emergency contraception dispelling the myths and misperceptions」においては、次のような指摘があります。既にLevonorgestrelを承認している多くの国では、必ずしも望まない妊娠率を画期的に減少できていないわけでもありません。承認されても緊急避妊についての情報や知識が関係府省の怠慢により普及しないという現実があり、例えば、Levonorgestrelが緊急避妊薬として解禁されているニューヨーク市の調査でも若者の半数以下しか緊急避妊について知りません。また、知識があっても利用できていないわけではなく、英国の調査では女性の91%が「モーニング・アフター・ピル」を聞いたことがあるが、7%しか利用したことがないとのことでした。その理由として、Levonorgestrelが不妊やがんを引き起こすという誤解があることがあげられています。Levonorgestrelの承認とともに、社会全体に緊急避妊についての、利用方法を含めての正確な知識を普及させること、緊急避妊についての誤解を積極的に解くことも必要です。とりわけ、犯罪被害者対策として緊急避妊のアクセス向上はとくに、積極的に推進されるべきです。また、医療機関が緊急避妊について充分理解していないということも報告されています。薬剤の承認だけでなく、緊急避妊を必要とする女性が来院する可能性がある全医療機関でLevonorgestrelが利用できるようにする必要があります。さらに、緊急避妊について正しい情報を普及させるためにはメディアの役割は重要ですので、厚生労働省におかれましては、報道機関との連携を密にして、緊急避妊について正しい情報を普及させることを求めます。</p> |
| 397 | <p>緊急避妊を早急に承認して下さい。レイプ被害者に遭遇した女性は多いといわれます。被害者を苦しめたくない</p>  |
| 398 | <p>ノルレボ錠の販売承認に賛成します。望まない性交と望まない妊娠によっての中絶は女性の体だけに負担がかかります。現在緊急避妊薬として認可されている中容量ピルの副作用に苦しむのも女性です。せめて医師の診断の元なるべく女性に負担のかからない方法を選べる様にしてほしいと思います。それとお願いがあります。安易な性交と妊娠を無くすための教育を学校教育に組み込んでいただきたいです。家庭でももちろん親の務めとして話すべきだと思いますが、学校全体として取り組んでいくことも重要だと思います。是非よろしくお願いします。</p>  |
| 399 | <p>助産師として働いていた経験から申し上げます。性的被害に遭われた方は、その後の周囲の反応や裁判など、二次的、三次的に被害を受け続けます。心身の被害を少しでも軽減するために、緊急避妊の一刻も早い承認をお願いいたします。</p>   |
| 400 | <p>私たちの日常業務において、コンドームの脱落・破損などで緊急避妊を求めて来院する女性は少なくありません。またレイプ被害に遭い警察官とともに受診する女性もいます。日本でも多くの諸外国と同様に彼女たちに副作用の少ない緊急避妊薬が提供されることが望ましいと考えます。</p>   |
| 401 | <p>必ず承認してください 望まない妊娠を避ける手段が実際はあるのに、それを公には認めないというのは理解に苦しみます。この薬を承認していない国は日本を含め北朝鮮など7カ国のみであるということを知りました。日本は女性の体を守ることにしてなぜこれほど消極的なのでしょう。低用量ピルの時もそうでしたが、この薬によって不適切な性行動が増加するという意見があるようです。ではバイアグラはなぜあれほど早く承認されたのでしょうか。心臓に対する重篤な副作用もあったはず。男性本位の社会の中、せめて女性が自分の体を自分で守ることができるようになって欲しい。その一つの手段として、この薬は欠かすことができないものです。必ず承認してください。</p>   |
| 402 | <p>宗教関係を含めての反対意見もあるでしょうが、救われる人も多いので、ぜひご承認していただきたいと存じます。</p>  |
| 403 | <p>4年前まで日本で助産師として働いていました。現在は米国にてWomen's Health Nurse Practitionerとして産婦人科の診療所に勤めています。避妊教育および避妊薬の処方が私の仕事の重要な柱です。緊急避妊薬は通常の避妊方法が正しく使えなかった場合のバックアップ方法として多くの女性の最後の砦だと実感しています。コンドームが破れたりピルを飲み忘れてしまったりと、どんなに気をつけていても避妊にはどうしても失敗が伴います。失敗を失敗だと気づきながらみすみすやり過ぎて妊娠する、それとも緊急避妊薬を使って望まない妊娠を防ぐかは、女性自身の健康だけでなく彼女をとりまく家族、そして社会全体にも大きな影響を及ぼします。望まない妊娠は、妊娠を継続するにしろ、人工妊娠中絶を選ぶにしろ、女性の健康に多大な影響を及ぼすだけでなく、学業の中断、労働力の低下、また社会福祉への依存にもつながります。今日私は目の前のアメリカ人女性に緊急避妊薬の処方しながら、日本の女性も早くこの薬が使えるようになってほしい、と切に願っています。1日も早くノルレボの製造販売を承認ください。</p>  |
| 404 | <p>レイプされた高校生など、本人が母親になる準備のないまま出産せざるを得なかった事例を通して、地域の産婦人科で緊急避妊薬があったら、その後の人生にレイプ以上の負担をさせなくて良かったのと思っています。また、児童虐待についても望まない妊娠ということから始まっていることもあり、是非、本薬の承認をお願いしたい。</p>   |
| 405 |  |

|     |   |
|-----|---|
| 406 | 副作用が少ないので、早急に承認して頂きたい。  |
| 407 | 産婦人科医師です。望まない妊娠を阻止するために、早急に承認をお願い申し上げます。  |
| 408 | 人工妊娠中絶による母体保護ならびにレイプなどによる妊娠の恐怖心等を取り除く事や 夫婦の間でも避妊の失敗で望まない妊娠等に必要です 是非承認して下さい よろしくをお願いします。   |
| 409 | 産婦人科の現場で働く医師です。避妊の失敗、レイプ被害を受けた患者様のために、早急に安全で、安心して処方できる緊急避妊薬を承認してください。   |
| 410 | 高校の養護教諭としております。性被害に遭う生徒というのは、私たち大人が思っているより意外に多いものです。性被害者は、その後も長い間苦しい思いを抱えていくわけですが、せめて、妊娠の心配だけでもすぐに取り除いてあげたいと思います。緊急避妊薬の早急な承認をお願いします。  |
| 411 | 私は、この薬の承認をぜひして頂きたいと願っております。私には、不妊治療の末授かったかわいい子供が二人おります。その後、思いがけない理由で望まない妊娠をしてしまったのですが、諸事情により中絶をする事になってしまいました。もし、その時に緊急避妊薬があれば中絶をするというつらい経験はしなかったかもしれません。中絶は、心と体に深い深い傷を残します。この薬は、わたしのように望まない妊娠をしまう可能性がある人にとっては本当に素晴らしい薬だと思っております。わたしのような思いをする人が、一人でも減る事を願っております。ぜひ、このお薬を、女性のために認めて頂けると嬉しいです。よろしくお願致します。  |
| 412 | 現在65歳ですが40年前結婚する前妊娠し中絶をしましたその時の中絶のミスでその後子供が出来なくなりましてどうしても結婚前性交します人間でしたらします。私みたいな思いをさせたくありませんのでこの薬早く承認してください   |
| 413 | 産婦人科医師です、安全な緊急避妊の薬であるノルレボ錠をなるべく早く承認をお願いします。   |
| 414 | 子供は男女の愛の延長の結果生まれてくるべきもの。レイプなどの結果として生まれてはならない。   |
| 415 | 私は職業柄、時々身の上相談を受ける事も多いのですが、此の度のノルレボ錠承認の方向云々の報道を聞いて、まず思い浮かんだのが二年程前に相談を受けた父親の姿でした。彼が言うところは、二人娘の次女のかたが当時で30歳でしたが、どうも鬱が続いて父親として見るに忍びない状態であると言う所から話が始められました。状況を聞いているうち、父が打ち明けられたお話は衝撃的でした。娘さんが中学2年生の時、下校時に農道から引き込まれて暴行を受けられたとの事で、最悪だったのが、その後、妊娠してしまわれ、結果、やむなく中学2年生の身で中絶手術をされたとの事です。爾来、ふさぎこむ事が多くなられ、生来の明るく活発だった娘さんの姿は、二度と見られる事なく今日に至り、虚ろな日々を過ごされているとの事です。何とか仏様の力で少しでも娘に元気を取り戻してやって貰えないかという涙ながらの悲痛な父親のご相談でした。その後、父親と共にお寺に見えられ、何度か、無論、事件には触れることなく、人生の生きる励ましになるかと思われるような事をお話したり、ご一緒にお経を上げたりしたのですが、今もって基本的に陰鬱な状態は脱しられない儘、過ごされているようです。私見としては、婦女暴行を受けられたことは事として、もし、不本意極まりない妊娠と言う事態が避けられていたら、娘さんも随分、心の傷の状況が違うような気がしてなりません。そういう意味で、この娘さんのような不幸な事件があった時、今回のノルレボ錠の服用が出来るようになることを強く望む所です。不幸な妊娠が医学的に未然に防げるとしたら、実に画期的なことだと思えます。   |
| 416 | 日本は避妊にの考えが遅れていると思います。女性が望まない妊娠をしたときにどれだけ傷つくか。それを未然に防げるというのなら、素晴らしいと思うのに、それ以上に認可されないという理由はなんなのでしょう。女性が生涯背負う痛みよりも、重大なことなのでしょう。現在だって緊急避妊薬は存在しています。しかし、副作用が強いのです。この薬が認可されれば、より負担を失くすことができます。何が理由で認証が反対されているのでしょうか？簡単に緊急避妊薬を手にする人が増えるとも思われているのでしょうか。では、緊急避妊薬を使用せず、妊娠してしまった場合。中絶するか産むか。中絶とは自分の赤ちゃんを自分で殺すものです。さずかった命を殺す。決して良いことではありません。でもそこにはレイプだったり、金銭的な理由で育てられなかったり、様々な背景が存在するのです。苦しいうえでの決断で、死にたいほどきつい思いをします。身体だって心だって傷つきます。男性には想像できない恐怖と苦しみだと思います。なんとか中絶せずに産むことを決断しても、お金がなければ満足に育てられません。子供にも親にも苦しい思いをさせます。また、愛情がわかず、近年問題になっている児童虐待がおこったりもするでしょう。未然に望まない妊娠を防ぐことができれば、こんな想いを女性も子供もしなくていいのです。それを許さず、女性だけに苦しみを負わせるというのは男女差別ともいいませんか？レイプ等の被害にあう確立だって女性のほうが高いうえに、妊娠ということまでついてくるのです。緊急避妊薬が認証されれば、こんな思いをする人がきっと減ります。そして、将来は計画的に家族を作り、豊かな人間が増えるほうが、国家としての最終的な利益にもなると思うのです。どうか、この緊急避妊薬を認証し、女性の苦しみを少しでも取り除いてほしいです。 |
| 417 | 望まない妊娠・中絶を避け、女性の健康と人生を守るために早期の緊急避妊薬の承認を望みます。  |
| 418 | 日本では、未承認で使われているヤツペ法だけが唯一の緊急避妊法だと思います。未承認でオフラベルの医薬品の使用法を行政が黙認している状態は黙認しかねます。ノルレボが承認されることにより、適正使用が可能になるでしょう。早期の承認を望みます。ただし、緊急に必要とされることを考慮して、海外のように、特定の薬局では訓練をされた薬剤師による判断により、ノルレボが販売される必要があるでしょう。産科婦人科が開院するのを待って、行列して処方されるだけでいいと厚労省の方々が判断しないことを望みます。   |
| 419 | 〇〇区で開業をしている助産師の〇〇です。性教育活動を行っておりますが、どんなに危険回避の方法を伝えても、相手の協力がなかったり、ちょっとした避妊具の使い方の間違い、あやふやな性知識で、予期せぬことが起こり、悩んでいる間に身体の負担を強いられる方もあります。緊急避妊を知っておくことの大切さ、なるべく副作用のない方法で回避し、二度とくり返さない様に指導していくこと。心に傷を残さないように、苦しまないように、女性の身体と心を守っていく1つの方法になればと思う次第です。   |
| 420 | とても良いと思います出来るだけ早くを願います  |
| 421 | 産婦人科医師です。望まない妊娠出産から始まる負の連鎖を断ち切るために早期の承認を望みます。   |
| 422 | そもそもすべて妊娠したことは望まれて生まれてくることができたらよいと思います。しかし、そうではないこともあるのが現実だと思います。その場合、中絶に伴う心身に対する負担が大きいのは、どうしても女性のほうです。安易な使用は避けられるべきだと思いますが、薬剤による緊急避妊の選択肢さえない状態は、とても不思議な状態だと思います。是非上記薬剤の製造販売を承認していただきたいと思います。なお、産科医の不足のことも鑑み、助産師による処方も認めるなど、販売方法についてもご検討いただきたいと思います。  |
| 423 | 日本にはすでに承認されているはずだと思っていたが、まさか副作用の強い代替品だったとは驚いた。遅すぎることにこの上ない。一刻も早く承認するべきだ。北朝鮮と同レベル以下の医療水準であると毅然と説得してほしい。当然あわせて義務教育としての性教育も充実させるべきである。   |
| 424 | ノルレボ錠0.75mgの医薬品について、早期の承認が必要であると考えます。望まない妊娠を抑制するノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認は、母体の中の子供も殺してしまう中絶を減らす為に、妊娠の抑制、すなわちノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認が必要であると考えます。   |
| 425 | 産婦人科の現場では、若者の無知や無節操な行動から妊娠に至る例が沢山あります。妊娠継続の結果離婚・虐待・DVに至る例や、無理やりの中絶手術の結果、自尊心の低下から社会生活を営めなくなる若者も少なくありません。安易な緊急避妊ピルの承認が若者の性行動をますます荒廃させるという論議がありますが、若者は緊急避妊ピルがあろうとなかろうとセックスに走っています。ノルレボの解禁がそれを大きく左右するとは思えません。早期の承認を期待します  |

|     |   |
|-----|---|
| 426 | 女性です。望まない妊娠を減らすために、少しでも安全な方法を取れる手段があつてほしいと願います。   |
| 427 | 30年近く前に強姦され妊娠し墮胎手術を受けました。あの頃、このような薬があつたら…その後、結婚し生まれた娘が私が被害を受けた歳になりました。娘に同じような思いをさせたくはありません。どうか承認して下さいますようお願い申し上げます。   |
| 428 | この医薬品のことを知り、レイプで望まない妊娠をした女性にとって朗報だと思いました。自分も消防署の方に助けていただいたおかげで大事に至りませんでした。通り魔に合ったことがあるだけに、人事ではありません。女性にとっては、いつなんどき、そういった被害者になってもおかしくない現社会において、是非、この医薬品の製造販売承認を許可して欲しいと思い、このパブリックコメントを知り送らせていただきました。安易な墮胎という目先にとらわれないで、今も心と身体を傷つけられて悩んでいる女性のことを考えて、ご判断くださるよう、心からお願ひ申し上げます。   |
| 429 | 緊急避妊薬の承認を早期をお願いします。避妊に失敗した時の選択が、妊娠したかどうか待つだけというのは、あまりにも女性の体に対して暴力的です。避妊に失敗し、妊娠が継続できない場合、中絶をするリスクは、緊急避妊薬のリスクを大きく上回ります。また、避妊に失敗し、中絶も怖くて選択できず、産む気がないのに産む選択をした場合の、生まれた子に対するリスクは更に大きいものです。助産師として緊急避妊薬の必要性を強く感じています。どうか、承認をお願いします。  |
| 430 | 産婦人科医として37年間診療をしております。その間、希望しない妊娠のため中絶を希望する女性をたくさん診療してきました。また、不十分な避妊のために緊急避妊を希望する女性にも中用量ピルによる緊急避妊であるヤツペ法の処方を行ってきました。多くの国で使用が認められているノルレボ錠がなぜ日本では認められていないのでしょうか。認められていないために、副作用の確率が高く、緊急避妊効果も低いヤツペ法を日本の女性だけが受けなければならぬ現状はどうみてもおかしいと思います。副作用が少ないノルレボ錠が認可されれば安易な性行動が増加するという考え方は違います。希望した妊娠であれ、希望しない妊娠であれ、その負担は女性だけが受けるものです。女性が自ら選択できる低用量ピルやノルレボによる緊急避妊が普及することにより、女性だけがダメージを受ける状況を少しでも改善して欲しいと願っています。レイプ被害の女性のことを考えると、さらにノルレボ錠が早く使えるようになることを願ってやみません。 |
| 431 | 早急に承認が降りるよう願います。  |
| 432 | 性犯罪の被害に遭った方や、性の自己決定権を尊重するためにも、緊急避妊薬を承認してほしいです。よろしく願ひします。  |
| 433 | 性犯罪の被害者がこれ以上辛い思いをしないために、緊急避妊薬を承認してほしいと思います。   |
| 434 | ノルレボの有効成分はWHO（世界保健機関）により緊急避妊での使用におけるエッセンシャルドラッグとして指定されています。日本でも低用量経口避妊薬（ピル）として既に含有され、海外においては、ヒトでの安全性について多くの情報が得られており、安全性が高い薬剤です。産み捨てやネグレクトの様な事をさせない様、本薬剤の承認をお願い致します。  |
| 435 | 性犯罪やDVなどによる妊娠から女性の精神や体を守るためにノルレボ錠は必要だと思います。副作用の大きい中容量ピルを使用している現状の方が世界的に見てもおかしいです。日本は先進国のはずです。   |
| 436 | 日常臨床で緊急避妊を必要とする人は多数います。より安全な薬は国民の安全とその後の妊娠を回避するためにも福音はあると思います。早急に承認されることを期待しています。   |
| 437 | 緊急避妊薬を早急に承認してください。現在使用できる薬剤では、嘔吐などの副作用が少なくありません。  |
| 438 | 私はレイプ被害者です。事件後に妊娠している可能性があり、それで不安な時期を過ごし、心身ともに傷つきました。レイプ被害者にとって、レイプ後の妊娠は最悪の悪夢です。これ以上被害者を苦しめないために、この薬の承認は必要不可欠です。先進国ではもう20年前から常識です。ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認をお願いします。   |
| 439 | レイプなどの被害にあわれた方のために、できるかぎりのことはするべきだと思います。処置の選択肢があることは被害者の方の支援となると思います。この薬の存在を知ることで、その後自殺や精神を壊すようなことが少なくなるとも思います。また避妊は気をつけていても100%完全ではないものです。その場合にも女性にとって有効な選択肢になるとも思います。   |
| 440 | レイプ被害者を苦しめないようにしてください。性暴力は日常的に蔓延しています。また、望まない妊娠は不注意だけでなくとも起こります。女性に負担を押しつける風潮がまだまだ強いので、このような薬による処置しか女性を救えません。薬の承認をよろしく願ひします。  |
| 441 | 望まぬ妊娠・中絶を減らすための現段階では最良の選択肢。先進国のひとつとして、早急な承認が必要。ただし、安易な使用、本末転倒な濫用は許さぬよう高額な価格設定をするなどの整備、周知徹底も同時に必要。   |
| 442 | 望まない妊娠を避けるという大きなメリットがあります。人工妊娠中絶は女性の心身へのダメージがはかり知れませんが、ぜひとも承認をお願いします。   |
| 443 | 世界の数十カ国で早くから承認されているこの薬剤について、日本も早急な承認を行うことを希望します。先進国として、そして様々な状況で生きる国民を抱える政府として、このノルレボが安心をもたらす悲しみを軽減する大きな役割を果たすことは明らかです。これが承認されないばかりに、誤った知識のもとに個人輸入した薬剤で処置を試みて身心を痛めたり、レイプも含めた望まぬ出産を迎え、育てきれずに母子共に大きな悲劇に巻き込まれたりしている例が実際にあることを踏まえ、選択肢をきちんと用意してあげることは国民の利益に適うものと思います。もちろんそれ以前に、人としてのモラルや性教育についてはこれ以上に力を入れて守っていかねばなりません。どうぞ早急な承認および販売を実現させて下さいませ。   |
| 444 | 緊急避妊薬について。性暴力によって妊娠した場合、緊急避妊薬がなければ中絶よりほかに方法がありません。中絶は女性の体に大変リスクがあります。どうかノルレボ錠を使えるようにしてください。   |
| 445 | 長崎市内で開業している産婦人科医です。当院には平均月3件の緊急避妊ピル希望で来院者がいます。その原因はコンドームを使ったがずれたり破損したりということが多いのですが、中にはレイプ後の女性もいます。基本的にその女性たちは避妊に対して真剣であるからこそ、来院しています。決して、いい加減な「緊急避妊さえすればいい」といった女性は少ないのが現状です。ましてやレイプでも妊娠するという悲惨な問題を放置できません。長崎では先日3人に輪姦され、妊娠し、気付かないまま中絶時期を過ぎ、出産したケースが新聞報道されたばかりです。現在の中途半端はブラックマーケット的な処方ではなく、副作用や効用が確認できた緊急避妊薬の認可が待たれます。そして人々に人権問題としての性の啓発が喫緊の課題と政府が対応されることを切に願ひします。   |
| 446 | レイプ被害に遭った女性を苦しめないためにも、望まない妊娠や中絶で、女性が深く傷つくのを防ぐためにも、緊急避妊薬を早急に承認してください。  |
| 447 | 望まない妊娠を避けるため、ノルレボ錠0.75mgの製造販売承認を求めます。プラノバルは副作用がきつくなるので、変えてほしい。  |
| 448 | そーせいのノルレボ錠は他国ではすでに承認されています。性犯罪の被害にあわれた方の為にも是非承認してあげてください。ノルレボ錠が承認されれば人口妊娠中絶も減るのではないのでしょうか？  |
| 449 | 承認販売されるデメリットは考えにくく緊急時に医師の処方の元で選択肢が一つ増え、当事者にとって有益であると考えられるため是非とも承認されるべきだと思う。   |
| 450 | 賛成である。女性が望まない妊娠をできるだけ身体に負担のない形で回避する手段を準備しておくことは重要と考える。  |

|     |  |
|-----|--|
| 451 | 承認はするべきだと思います。女性の健康、人生にとって、「もしも」の際に対応する手段は必要だと思います。日本が墮胎の多い国であるのは周知の事実です。これは、大変悲しい、重い現実ではないでしょうか。女性にとって、墮胎は体にとっても心にとってもダメージとなります。事前に対応策をとれば、悲しい思いをする人が減るのではないのでしょうか。ぜひ、承認をしていただきたいと思っています。よろしくお願いたします。   |
| 452 | 今回の経口緊急避妊薬「ノルレボ錠」の製造販売承認に関するパブリックコメント募集に意見提出致します。本剤の有効成分レボノルゲストレルは、望まない妊娠を防ぐ緊急避妊薬として、人工妊娠中絶を回避することができ、レイプ被害者への緊急対応にも有用です。悪心・嘔吐などの副作用が少ないとは言えませんが緊急時のものとして許容され、「安全で有用性の高い緊急避妊薬」として世界48カ国以上で承認されています。世界保健機関（WHO）の「必須薬モデルリスト」にも、1999年の改定以来レボノルゲストレルが収載されています。多くの国で緊急時のアクセスを考慮してOTC化が進んでいます。OTC薬が購入者の手に届かないところに保管・販売されるなど医薬品の取り扱いが厳しいことで知られるフランスでも、緊急避妊薬が学校保健室に常備され、与薬が認められています。わが国にはこのような緊急避妊薬がなく、女性の多くが掻爬による妊娠中絶を行っている現状があり、アクセスしやすい緊急避妊薬はとりわけ必要性が高いものです。希望するときに希望するだけの子どもを安全に生むことができる権利は保証されなければなりません。日本家族計画協会と日本助産婦（師）会は2002年に、「緊急避妊薬の日本への導入に関する要望書」を厚生労働大臣に提出しています。私たちは、今回のパブコメ募集に際して、「ノルレボ錠」が承認されることを強く望みます。そして、服用までに72時間以内の制約があるため、購入者からのアクセスを考慮して将来は一般用医薬品としても早期に認められることを要望致します。本剤に関しては、正確な情報が購入者に十分に伝わる社会環境を整えることが大切です。医療関係者のみならず、教育者、保護責任者も正しい情報を把握し、当事者を支援できる体制をとることが重要です。とりわけ、薬学関係者・薬剤師の役割は重要です。本剤の効能、用法、副作用を当事者に適切に伝えるとともに、そのプライバシーにも配慮しつつ対応する必要があります。本剤の販売にあたっては、このような環境整備への配慮もなされるべきであることを要望致します。 |
| 453 | 緊急避妊薬であるこのノルレボ錠で望まれない出産を回避できることは、望まれない出産をさせられそうな女性にとっては墮胎のリスク、墮胎により子供が産めない体になってしまうリスクを回避することができる。のみならず新たなコスト負担を避けられる点で社会全体にとっても有益であると考えます。したがって、ノルレボ錠の医薬品製造販売承認を速やかに行うべきである。   |
| 454 | 緊急避妊ピルの承認に賛成です。レイプ被害に遭った女性をそれ以上苦しめたくないのは当然のことです。また夫婦や恋人間でも、女性の真の同意なしに、そして男性が避妊に協力しない状態で性交が行われている例は数多くあります。さらに、コンドームを使っていたけれど脱落してしまったりやぶけてしまったりという例もあります。上記のような事態の発生を防ぐために、性についての正しい啓発・教育をしていかなければならないのは当然のことですが、それでは今現在困っている女性、すべての女性は救えません。緊急事態に陥った女性を救い、またいつそのような状況に陥るかわからない女性一般の不安を軽減するために、ぜひ承認をお願いしたいと思います。  |
| 455 | 現在ピルの処方、医者の許可が必要であるが、ノルレボ錠は、街中の薬局でも購入可能と聞きました。緊急なのに、すぐに購入できないのは、緊急ではない。望まない妊娠を減らす1つの手段として必要である。望まない妊娠は、心身ともにダメージを受ける。これは、絶対に女性が被ることである。だから、緊急の時に手に入るは安心感！！   |
| 456 | レイプや望まない妊娠によって、母子の分離等、その後の人生に大きな影響を及ぼしております。また、望まない妊娠によって生まれた子どもへの虐待原因についても言われております。このようなことから、地域の医療機関でも迅速な使用が推進されるよう是非、ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売が承認されるようお願いいたします。  |
| 457 | 八戸市で産婦人科開業をしているものです。現在のヤツペ法による緊急避妊法は医師に責任において行われているという不自然な投与です。それに副作用も多い。ノルレボ錠の早期の承認を希望します。目の前で内服させられるのも失敗時のクレーム防止に有効です。   |
| 458 | 特に、レイプの被害にあわれた方に、安全性の高い緊急避妊薬を処方していただけるよう、承認をお願いします。また、望まない妊娠での中絶を減らすためにも、承認をお願いします。  |
| 459 | 緊急避妊薬を使えないことで起きる不幸はあっても、使えることで起きる不幸なんてないはず。血が出ていれば止血するように、レイプ等の被害に遭ったなら緊急避妊薬を服用する。こういった当然の流れをつくる助けにもなるはず。以上  |
| 460 | ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に賛成いたします。望まぬ妊娠への不安は心身両面、社会・経済的活動においても、とくに発展を期待される時期にある女性の生活に大きな陰を落さずにはおられません。適切な処方により回避できる手だてが増えるということは、女性一人のみならず周囲の人間および社会全体にとっての損失を防ぐことにつながると考えます。また人権の観点から、一番の当事者であるところの女性個人の意思が反映されやすい手段であることも長所と考えます。  |
| 461 | 高校の教員をしています。性・妊娠・中絶に対する知識が不十分なため、安易な性交渉に走ってしまうものがあります。不幸にして望まぬ妊娠をしてしまった人間の、救いになる、副作用の少ない薬を望みます。  |
| 462 | 〇〇と申します。緊急避妊ピルであるノルレボ錠0.75mgの、日本国内における製造販売の承認を是非ともお願いいたします。現在の日本ではこのような緊急避妊薬の承認がままならず、まともな性暴力被害者の相談機関がない状態で、創作物における過剰な性表現の規制を行えば性犯罪は減少するであろうという意見に関する議論が繰り返されています。しかし、いくら過剰な性表現の規制が行われたところで、女性が被害者となる性犯罪は起きるものなのです。むしろそれで性犯罪が後を絶つことなどまず有り得ないでしょう。この現状を改善する一歩として、是非ともノルレボ錠を日本国内の、全ての女性の手に届く所に流通して下さい。そしてノルレボ錠の製造・販売が日本国内で可能になる事によって、医療の場においてプラスになる事もあるかもしれませんから。世の中が少しでも良くなる可能性を、時代錯誤かつ空虚な政治的・宗教的・倫理的な考え方で消してしまう必要はないと思います。是非とも宜しくお願いします。以上   |
| 463 | 緊急避妊ピルでパブリックコメントを募集するということで驚いています。今更この錠剤について、コメントが必要な事などあるのでしょうか？既に多くの諸外国で承認されており、認可されていない国は日本を含めて数えるほどしかありません。また、現在日本では実質的な緊急避妊目的で中用量ピルが性被害者に無料で配布されるなど、緊急避妊を認めているのが現状です。現在代用されている中用量ピルでは、副作用が大きな問題です。先日性被害に遭われた方が服用しましたが、直後に嘔吐してしまい追加の服用が必要かどうか戸惑われた例を目撃しました。確実に緊急に作用すべき錠剤で、このように嘔吐で必要な容量を摂取できているか分からなくなってしまうとは、副作用として大変な問題です。ノルレボ錠では嘔吐感が中用量ピルに比べて大きく改善されています。一刻も早い承認が必要です。どうか認可をお願い致します。  |

## 承認すべきでないとのご意見

|   |   |
|---|---|
| 1 | <p>望まない妊娠なんてないし！！だったらセックスしなきゃいいじゃん(怒)</p> <p>私どもは、緊急避妊ピル(ノルレボ錠)の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国で10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内での死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合はその危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、吐き気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続くことになる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代に影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分(エチニルエストラジオール)が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期科学的中絶作用があります。4. 十代の子供達の安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 3 | <p>私どもは、緊急避妊ピル(ノルレボ錠)の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代に影響が及びます。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 十代の子供たちの安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらず本剤は「避妊薬」とはいっても、他の避妊薬とは生物学的な位置づけがまったく異なり、いわば「超早期墮胎薬」ともいえる薬剤である。この薬剤を承認するのであれば、この薬剤の使用による避妊行為と、刑法第214条との関連性を明確に説明すべきである。また言うまでもなく、現段階点においては「緊急避妊」は「救急医療」ではない。基本的には医療機関も土曜・日曜及び夜間を休業としている現状で、「性交後72時間以内の投与」を保障する医療体制をとる必要があると、厚労省側は考えているのだろうか。今後、緊急避妊を救急医療の一部と考える考えが無いのであれば、この薬剤を承認することは「無責任」であると考ええる。更に、一部では「避妊する」＝「STDに罹らない」というような誤解もあるようだが、他の避妊方法より「STDの蔓延防止効果」という点で著しく劣ったこの薬剤を承認する必要性について、リスクベネフィットの観点から、十分な理解が得られるものとは考えられない。以上の理由により、ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に対して、反対を表明する。</p>   |
| 4 | <p>ノルレボ錠には「緊急避妊剤」の名称が付されていますが、実際には受精卵の着床を阻害し、また着床後の受精卵を流産させる作用を持つ「早期墮胎剤」です。周知のとおり、現行の母体保護法は、一定の要件を満たす場合、墮胎(人工妊娠中絶)を許容していますが、墮胎は原則として、刑法212条以下で処罰される違法行為です。墮胎罪の成立時期について、法律は明らかにしていませんが、行政上の指針では、着床前の胚は「特に尊重されるべき存在」として位置づけられており、自由に処分することは許されていません。受精卵のその後の成長過程は質的に連続であり、発生学や産科学上は成長の度合に応じて便宜上、胎芽(embryo)、胎児(fetus)と呼称されていますが、「妊娠の成立は精子と卵子の融合(受精)で始まる」(南山堂医学大辞典19版、2006年)という今日の科学的知見に従えば、着床後の受精卵はもとより、着床前の受精卵についても、故意にその成長を阻害し、体外に排出する行為は、墮胎罪を構成すると解さざるをえません。したがって、早期墮胎剤ノルレボ錠の製造販売は、現行法に抵触する犯罪行為として承認できないと思われま。</p>  |
| 5 | <p>1. 十代の子供たちの安易な性行動につながる。諸外国において、解禁はむしろ中絶件数は増加している 2. 緊急避妊ピルは環境ホルモンであることがわかっており(英国・環境庁調査)未来の子供たちへ大きなリスクを与える。 3. 厚労省は国民の健康を考えるべきです。諸外国では、ピルは死亡例も多く乳ガンや血栓症などの被害も多く、危険です。集団訴訟も起きている。厚労省の適切な対応をお願いしたい。</p>   |
| 6 | <p>私どもは、緊急ピル(ノルレボ錠)の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されています。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きております。また、血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もあります。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅にふえております。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的な暴力、性欲減退が認められますが、緊急避妊ピルは極短期間にピルの何倍もの量を服用するため、副作用は極めて強いとされ、頭痛のほか吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐やだるさが何日も続くとのことで血栓症の危険さえ大変懸念されているところであります。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンと言われ、次世代へ影響が懸念されます。英国での調査では川魚の生殖異常の原因の一つに挙げられております。日本でも公害の一つとされるピルの環境ホルモンについて調査と情報公開を求めます。3. 緊急避妊ピルによって着床直後の受精卵を流出させるのは、極早期の科学的中絶行為であり、倫理的にも問題があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性行動に走る恐れを助長します。緊急避妊ピルの普及は英国においても、スウェーデンにおいても中絶件数の減少より、むしろ増加傾向にあると報告されております。我が国の医療行政のなかで新薬の承認については、治験などの臨床試験を繰り返し、極めて慎重に行われていることは世界的に定評があるところであります。そのような無謀な薬物の製造販売がなされることは理解に苦しむ次第です。</p>  |
| 7 | <p>わたしたちは「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売承認に反対します。理由は次のとおりです。①このほど医薬品製造販売承認申請が行われた「ノルレボ錠0.75mg」は、「避妊に失敗した場合等に性交後に服用する避妊薬で、「緊急避妊」という効能・効果が期待されている」とされています。今回の医薬品製造販売承認により、日本国内でいわゆる緊急避妊ピルは、子宮内膜に作用し受精卵を着床しにくくし、着床直後の受精卵を流産させる極早期科学的中絶作用をもつとされます。したがって、その服用は積極的な中絶を目指しており、道徳的に認められません。②カトリック教会は早くから人工妊娠中絶に反対してきました。人工妊娠中絶は人滅の生命尊重の義務に反しますが、「人間の生命を尊重することは、単にキリスト者としての義務にとどまらない。人間理性のみで…その義務を人に課することが十分できる」ものです。ところで、「受精によって生じた接合子において、新しい個人の生物学上のアイデンティティーはすでに形成されている」ので、「人間は、受精の瞬間から人間として尊重され、扱われるべきである」とわたしたちは考えます。緊急避妊薬に関しては「受精した可能性のある胚の着床を阻止しよう」と望み、この薬や処方要求する者は一般的に中絶を意図しているということを認識しなければなりません。…除胎剤使用により実際に起こっているのは着床したばかりの胚の中絶です③したがって、わたしたちは日本国内で今回新たに「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売承認が行われることに反対するとともに、その医薬品製造販売承認が行われた場合は、その使用を避けることを多くの善意の人に呼びかけたいと思います。</p>  |

|    |   |
|----|---|
| 9  | <p>緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。このほど医薬品製造販売承認申請が行われた「ノルレボ錠0.75mg」は『避妊に失敗した場合等に、性交後服用する避妊薬で、「緊急避妊」という効能・効果が期待されている』とされています。日本国内で初めて、いわゆる緊急避妊ピル（モーニングアフターピル）が承認されようとしていることについて厚生労働省はどのようにお考えなのでしょうか。かつて「アウシュビッツ」でユダヤ人600万の命を虐殺した歴史を持つドイツは、「命」を、その始まりである「胎児」から守ろうとするため、国の施策として「妊娠葛藤相談」や「赤ちゃんポスト」などの施策を講じております。何より、生命の尊重を優先させるとする国のビジョンの現れではないでしょうか。翻って、日本の現状は、命の始まりについての科学的・医学的・倫理的な議論もなされないうまま、なす崩壊的に受精卵を中絶させる薬を承認しようとしています。このような国の在り方で、子供たちに、命の大切さを感じる心が育っていくのでしょうか。兵庫県民は「阪神淡路大震災」で、物は一瞬でなくなりましたが、何より「命があったことに感謝した」という経験をしております。命を物とした捉えられず、簡単に殺害をしたり、幼子を虐待して死亡させる等の事件の続発は、生命軽視の風土の現れと感じます。「命は授かりもの」という日本古来の美しい文化の復活を願い、「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売承認が行われることに断固反対致します。</p>  |
| 10 | <p>私も、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>                               |
| 11 | <p>認可に反対！ノルレボ錠は殺人薬です！未来の子ども達を殺すな！私も、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 12 | <p>私も、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>                               |
| 13 | <p>私も、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>                               |

|    |   |
|----|---|
| 14 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>   |
| 15 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>   |
| 16 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、吐き気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。ピルを服用する人が増えている現実と、胎内環境の変化…河川の変化…めぐりめぐって、魚や水を食する女性ホルモンの過剰摂取…胎児の女性化につながっている気がします。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。若い世代の軽い気持ちでの性交をさらに助長すると思います。その時の気分で、性交だけ楽しんで妊娠だけを防げばいいという都合のいい行為は、人間の欲望の蔓延に連結します。しかも人間の（女性）生理、自然の摂理を攪乱させてまで避妊させる方法は”いのち”を操作できるという身勝手さを男女共に増大させ、いのちは”授かるもの”という畏敬の心をますます失わせてゆくにちがいないありません。今回のノルレボ錠は、経口ピルより、さらに手軽にできるし大反対です。しかも副作用のリスクは2倍です。ツケは…あとから…心身にきます。</p> |
| 17 | <p>私達は、緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で納得できませんので反対します。①避妊薬ピルは環境ホルモンで、次世代に又自然破壊に繋がり、悪影響を及ぼします。※ピル先進国といわれている英国では、川魚の生殖異常の原因の1つに、ピルの成分、エチニルエストラジオールが関係している。と英国政府環境機関の調査で解明されて発表しました。※環境ホルモンは極微量でも含まれた女性ホルモン作用により、次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすと言われています。ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも桁外れに強力な環境ホルモンです。調査も情報公開もされなままの承認は許されません。②女性の健康を害する恐れがある女性だけに責任を負わせる危険を負わせます。（精神的・肉体的にも）※英国では、ピルによる死亡例は多数報告（10年間に104人血栓症）公表されています。スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。緊急避妊ピルは、短期間にピルの何倍もの量を服用、副作用は極めて強く、頭痛、吐き気、イライラ、だるさ、が何日も続き、生活も危険にさらされることとなります。血栓症の危険もピル以上であると懸念される。③緊急避妊ピルの普及は、十代の子供達の安易な遊び化してきた性を助長します。</p>   |
| 18 | <p>緊急避妊ピル、ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に以下の理由で反対します。①私達は「ピル先進国英国からの警告」というビデオを見てピルが女性、子供達にとって生命を及ぼしかねないという危険性があることを知りました。又、別の会で、環境ホルモンのこわさを学んだ時に、このままでは世間の人には何も知らされていないのだと感じました。緊急避妊ピルは、もっと強い薬だと聞いています。「ノルレボ錠を服用することで妊娠しない」とのPRを信じて子供達にあんい性交にはしらせかねません。現在でも性の低年齢化は、教育問題に留まらず社会問題化しています。ピルによる死亡例も多数報告されております。スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起こされているようです。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もあると聞きました。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は危険性が大きいようです。未来ある子供達には、とても、すすめられる薬ではありません。こういう危険性の高い大変懸念されている薬を認可することに大反対致します。環境ホルモンのこわさも大です。このような理由で反対します。</p>   |
| 19 | <p>今回の承認に対して緊急避妊ピルの解禁には、反対致します。ピルは非常に分解しにくい極めて強力な化学合成物による女性ホルモンであること。しかもこのピルの場合は、子宮内膜に作用し受精卵を着床しにくくしたり着床直後の受精卵を流産させてしまう極早期化学的中絶作用があります。受精の瞬間から人間であると信じている私たちにとって、強く反対いたします。このピルの作用を詳しく明瞭に知らせることなく、倫理的にも女性の精神的にもどのように対処なされるのでしょうか。英国でのピルによる血栓症で死亡による集団訴訟さえ起きています。決してピルは安全ではないのです。このノルレボ錠0.75mgは絶対に解禁しないでください。</p>  |

|    |   |
|----|---|
| 20 | <p>私共は、緊急避妊ピル「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売承認に以下の理由で反対します。1. このほど医薬品製造販売承認申請が行われた「ノルレボ錠0.75mg」は、子宮内膜に作用し受精卵を着床しにくくしたり、着床直後の受精卵を流産させてしまう極早期科学的中絶作用があると聞いています。また、副作用が懸念され、英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されています。そしてスウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きています。今回の緊急避妊ピルは、ごく短期間に低用量ピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続くことになるということです。そして血栓症の危険も大変高くなります。2. このような防止策は、返って10代の子ども達に安易な性を助長することになると思います。受精した時から人の命として尊ぶ心や、性には相手を慈しみ生まれてくる命をも慈しむ心が伴わなければならないという本来の性教育と経口避妊薬ピルや緊急避妊ピルは完全に相反するものです。また緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながりません。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。3. したがって、私たちは日本国内で今回新たに「ノルレボ0.75mg」の医薬品製造販売承認が行われることに反対します。</p>  |
| 21 | <p>私どもは二十一年間にわたって生命尊重センターニュースやVideoを参考に学習会や講演会を続けて参りました。学べば学ぶ程、知れば知るほどピルは女性を解放するよりもむしろ副作用により女性を苦しめ、女性の身体を害することを痛感します。にも拘わらずmediaは殆どその面を明らかにせず、容認への「空気」が作り上げられることに対し恐れを感じます。製薬会社の利益は上がるが、薬害により取り返しのつかない影響を受けるのは女性と未来の子供です。事は民族の深部に及び致命的な期間は長く後を引きずります。分科会に関わられる方々はどうか慎重な上にも慎重にご審議を尽くされ、拙速の議りを受けて悔いを千載に残すことのないよう、じっくり時間をかけてご検討下さることを切に願います。少なくとも分科会の前に生命尊重センター（03-6407-2333）のビデオ「ピル先進国英国からの警告」をご覧頂ければ、私共の願うところをご理解頂けると思います。授業でこれを見た皆さんの生徒は、Dr. マーガレット・オワイトのメッセージに強いショックを受けています。「お願いします。日本の皆さん。欧米の私達を見て下さい。私達は若い人達の人生をメチャメチャにしまいました。彼等の健康・生殖機能みんなピルの影響を受けています。ピルの影響は結婚生活にも及び、離婚や婚外児の出生も増えました。全てがピルで悪くなっています。どうか欧米のマネをしないで日本の文化を守って下さい。私達の過ちを繰り返さないで下さい。please, please」私も心から、空気に流されないで、先に歩んだ人の失敗を繰り返さないよう、分科会の方々からpleaseとお願ひしたいです。</p>  |
| 22 | <p>1、本剤の承認について検討された医薬品第一部会の担当者の資格要件が不明 本件は今後のいのちの誕生又は抹殺に大きく影響を及ぼす、極めて重大な案件である。本剤は製造販売元が株式会社一せい、発売元があすか製薬株式会社、販売が武田薬品工業株式会社となっているが、本剤の承認の審議に直接携わった医師及び担当者は、本人は勿論その家族においても、これら3社から何等かの形で金銭の受領があつては絶対にならない。治験手数料、原稿料、研究費、講演料、交通宿泊代肩代わり、これ等が様々な形で行われていたかどうか、過去にさかのぼっての厳しいチェックを行うことこそ、国民の健康を守り続ける厚労省の重要な責務である。今回の案件でもし行われていなければ、厚労省の重大な瑕疵となり、今回の審議は全て無効である。2、本剤は母体保護法の第14条に該当する時に、母体保護法の指定医によつてのみ、さらに本剤には中絶作用もあることの説明と承諾が行われた時のみに使用され得るとの条件が付けられていない。本剤は排卵抑制効果だけではなく、受精卵が子宮内壁上に着床しても極早期に内壁の剥落などで、流してしまう作用がある。受精卵は子宮内壁上への着床が極早期で内壁への取り込みがまだ浅くても、必ずその部位において、休むことなく連続して発育し、10ヶ月後に誕生出来るのである。明らかに本剤は化学的中絶作用を含むと言える。母体保護法によらず妊娠者が用いれば自己墮胎となり、指定医以外の医師、助産師、薬剤師が女子の囁託を受け、例え承諾済みでも、墮胎させた場合は業務上墮胎となる3、本剤の極早期中絶作用を含む詳しい作用機序と副作用、特に同種剤が先行販売されている諸外国での副作用事例などが、一般国民向けに情報開示が厚労省からなされていない。大学では一個の受精卵の扱いにおいても、研究に用いる場合その都度倫理検討委員会が開かれている。着床前の受精卵からヒトのいのちと信じている者は宗教に関係なく多数いる。極早期化学的中絶作用について明瞭に説明せず、本人から承諾書も取らず用いられ女性が後で知った場合、精神的に倫理的に時に宗教的に非常に苦しみ続けることになる。これは墮胎罪の中でも最も刑が重い不同意墮胎（6月以上7年以下の懲役、未遂も罰せられる）に該当するとも考えられる。以上の観点からノルレボ錠0.75mgの製造販売に反対いたします。</p>  |
| 23 | <p>私は、この度のノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に反対致します。メディカ出版から出された『ビターピル～経口避妊薬の落とし穴』（エレン・グラント著、うえのけいこ／服部裕子訳）の本があります。エレン・グラントはイギリスで初めてピルを造るとき、その計画に参加した方ですがその後、女性に善かれと思って造った薬がとんでもないものであった事を認め、そこを退き、この本を著わした方です。造った人が、とんでもないものだったと思うものを、どうして、私達の国、日本で承認しなければならないのでしょうか。11月27日の読売新聞に、この緊急避妊薬ノルレボ錠0.75mgを『女性の心身を深く傷つける人工妊娠中絶を避けられるようになるとして、医師らが導入を要望していた。』とあったが、決して、中絶を避けるものではなく、女性を騙しているものであると思います。なぜなら、72時間以内に服薬するという事は、もう受精卵となり私達と同じいのちがもうすでに始まって、その自分の子どもをこの薬で殺すという事です。すなわち避妊ではなく人工妊娠中絶です。そして、この真実を知らないで服薬する女性は被害者です。避妊薬と信じて飲んだものが中絶薬であった事を知れば、将来、製薬会社を訴えることになるかも知れません。着床がいのちの始まりと社会ではいわれるけれど、それはこの薬を避妊薬と言うための。いのちの始まりは受精の瞬間です。人と人との間の受精は後で、決して、牛や鶏は生まれません。薬は人のいのちを救うためにあります。人を殺すためにあるものではありません。また、先日、日刊ゲンダイに掲載された記事で、インターネットでいわゆる中絶薬を購入した女性が、墮胎罪で書類送検されていたが、出血等で気分が悪くなり、医者に行き、この事が分かったという。幸いこの女性はいのちを落とさず良かったのですが、成分は異なっても、この緊急避妊薬においても同様に、強い副作用のため、時に女性を死に追いやっている事もあります。医者に行かず、これからの社会では容易にインターネットで購入可能となれば、血栓症のある女性は特にこのような死に方を増やす可能性があります。なによりこの度の緊急避妊薬が承認されれば、10ヶ月後には必ず赤ちゃんとして誕生出来る、私達と同じ人間のいのちを生まれる前に殺してしまう事になります。又、ピルは環境ホルモンで、以前から、環境汚染の問題で、社会をにぎわせていることは御承知のことと思います。薬でいのちを救いましょう。殺してはいけません！参考ホームページ：http://www.lifeissues.net/</p> |
| 24 | <p>私も、女性の身体を狂わせる薬を国が承認するのは、いかがなものかと存じます。ましてや、アフターピルとも言われ、着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期の中絶作用があり、人間の命は、受精した瞬間から始まることを考えると、一人の命を奪う恐ろしい薬といわなければならず、少子化が問題になっている現在、赤ちゃんの命を奪う中絶をもっと安易する国が、日本であってはほしくありません。緊急避妊ピルの普及は、中絶の減少にはつながらないと聞きました。英国の例でいうと1000人中11人から1000人中17.8人に上昇しているのです。性に興味のある十代、二十代の女性が、心身共に健全であるためにも、当薬の製造販売に強く反対致します。</p>  |
| 25 | <p>私たちの会はノルレボ錠0.75mgの医薬品販売承認に反対します！私たちの会は妊娠して出産費用の捻出に困難を抱えている女性の相談、支援をしています。相談内容はご主人のリストラや、借金苦からくるものが多くありますが、最も多いのは妊娠を告げたら彼が逃げてしまったという相談です。この相談に応じていても、男女ともに「いのち」に対する、責任のなさ、安易な性行動に、はかなさを感じます。若い時代に、初回の妊娠をこのような形で、中絶するようなら、これから先、幸せな人生が本当に送れるでしょうか？中絶して、その後悔に何十年も苦しんでいる女性もたくさんいらっしゃいます。また、ホルモンバランスの崩れや、血栓の危険も伴います。この薬は妊娠したことも感じることなく、流れてしまい、ますます、生命軽視に拍車がかかります。妊娠して初めて苦しむ、真剣に色んな事を考える、これが人生にとって大事なことです。責任も取れない男女に性を楽しむだけの薬をあてるなど、もつてのほかです。性産業にも利用され、ますます、傷つてしまう女性が増えます。悲しい、悲惨な事件の影には、やはり、家庭環境の悪さ、未熟さが必ずあります。「いのち」を授かりものとして、大事に育てる心こそ、家庭が安定し、社会の安定につながります。どうか、将来の日本人のために販売承認を取りやめて下さい。以上</p>   |

|    |   |
|----|---|
| 26 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 27 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 28 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に断固反対します！1. 緊急避妊ピルは女性だけに性の責任を負わせ、女性の健康を害する恐れがあります。ピル先進国と言われている英国では、ピルによる死亡例が多数報告されており、10年間に104人が、血栓症で死亡していると報告されています。また、ピルは、乳がんの大きな要因であり、特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えているといわれています。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及ぼす恐れがあります。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることがわかっています。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は一錠でも環境ホルモン物質と比べるとけた外れに強力な環境ホルモンと言えます。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。</p>  |
| 29 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 30 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |

|    |   |
|----|---|
| 31 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>   |
| 32 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>   |
| 33 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。私どもは日本国内で今回新たに緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の医薬品製造販売承認が行われることに反対するとともに、その医薬品製造販売承認が行われた場合は、その使用を避けることを多くの善意の人々に呼びかけたいと思います。</p> |
| 34 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。これらの子供達の未来の為に絶対反対です。</p>   |
| 35 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。中学生の女子を持つ親として非常にこわい事を政府は承認しようとしています。絶対反対です。</p>  |

|    |  |
|----|--|
| 36 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。子供に明るい未来をつなげるには避妊ピルの解禁でなく、人としての道を教える道徳です。これでは益々性の乱れを助長するだけです。国の未来を壊さないで下さい。反対します。</p> |
| 37 | <p>モーニングアフターピルのことを知り、大変驚いています。昔は、本当に好きな人の子供を産みたい！とか子孫繁栄の為に性交し、自然に任せていました。今では、命の大切さや、体・心の傷のこともなど全く考えず、ただその時の快楽の為に、遊び感覚で、出来た後のことなど少しも考えない人が増えている。だから、墮胎や虐待が増えている。このような状況の時に、このような薬が販売されれば、ますます簡単に、誰構わず、関係を持ってしまおうと思います。薬を開発するより、学校での性教育に力を注いで欲しいと思います。</p>   |
| 38 | <p>モーニングアフターピルの医薬品製造販売承認に反対です。最近、中高生の性行動には驚くばかりですが、興味本位の性教育が横行し、自分の身体を大事にするという事がわからなくなっています。中学生でさえも快楽目的に行動する人が増えて来ています。この現状を見ても、いたたまれない日本ですが、モーニングアフターピルが販売されると、性交渉だけを目的とするものには、飛びつくものでしょう。しらすらうちに命の始まりの着床を流し、殺人をおかしているのと同じ行為だと思えます。性の営みを健全にするためにも、私達日本人の生命に対する畏敬の念を失わせるものではないでしょうか。性が氾濫しているから、いらない生命は生まれる前に殺してしまえという優秀な生命だけをこの世に出せといわんばかりの製薬会社の方々、お役人の方々に不快感をかんじます。授かったら生むという生命を真中にすえた教育、いらない生命なんて一つもないだ！という考えのもとに、政策を立て、国民を（見えない）罪人にしないように導いてほしいと思います。</p>   |
| 39 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |
| 40 | <p>今回の承認に対して緊急避妊ピルの解禁には、反対致します。ピルは非常に分解しにくい極めて強力な化学合成物による女性ホルモンであること。しかもこのピルの場合は、子宮内膜に作用し受精卵を着床しにくくしたり着床直後の受精卵を流産させてしまう極早期化学的中絶作用があります。受精の瞬間から人間であると信じている私たちにとって、強く反対いたします。このピルの作用を詳しく明瞭に知らせることなく、倫理的にも女性の精神的にもどのように対処されるのでしょうか。英国でのピルによる血栓症で死亡による集団訴訟さえ起きています。決してピルは安全ではないのです。これ以上絶対に解禁しないでください。</p>  |
| 41 | <p>私は十代の娘2人を持つ親として、ノルレボ錠の製造販売の承認に大変不安を感じ、以下の理由で反対します。○＜女性の健康への害、副作用について＞ピルによる死亡例は多数報告されています。イギリスでは10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きているとのこと。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合、危険が大幅に増えます。緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛、激しい嘔吐、だるさが何日も続いたり、又、血栓症も大変心配です。○＜十代の子供達の安易な性を助長するのではないのでしょうか＞緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらないと思えます。イギリスでは、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず中絶件数は増加しているとの報告があり、又、スウェーデンでも上昇しているとのこと。○＜避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が心配です。＞イギリスの調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解ったとのこと。ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言えます。次世代の子供達への影響（特に生殖器の障害）が心配です。避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を希望します。</p>   |
| 42 | <p>緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。このほど医薬品製造販売承認申請が行われた「ノルレボ錠0.75mg」は『避妊に失敗した場合等に、性交後服用する避妊薬で、「緊急避妊」という効能・効果が期待されている』とされています。日本国内で初めて、いわゆる緊急避妊ピル（モーニングアフターピル）が承認されようとしていることについて厚生労働省はどのようにお考えなのでしょうか。かつて「アウシュビッツ」でユダヤ人600万の命を虐殺した歴史を持つドイツは、「命」を、その始まりである「胎児」から守ろうとするため、国の施策として「妊娠葛藤相談」や「赤ちゃんポスト」などの施策を講じております。何より、生命の尊重を優先させるという国のビジョンの現れではないのでしょうか。翻って、日本の現状は、命の始まりについての科学的・医学的・倫理的な議論もなされないまま、なし崩し的に受精卵を中絶させる薬を承認しようとしています。このような国の在り方で、子供たちに、命の大切さを感じる心が育っていくのでしょうか。兵庫県民は「阪神淡路大震災」で、物は一瞬でなくなったけれど、何より「命があったことに感謝した」という経験をしております。命を物とした捉えられず、簡単に殺害をしたり、幼子を虐待して死亡させる等の事件の続発は、生命軽視の風土の現れと感じます。「命は授かりもの」という日本古来の美しい文化の復活を願い、「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売承認が行われることに断固反対致します。</p>   |
| 43 | <p>ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に大反対です！これからの若い人には「いのちの大切さ」と「責任ある行動」を教えなければなりません。着床直後に着床が十分に完成する前に受精卵を流産させるなど、生命軽視の他の何物でもありません！妊娠しなければいいのでしょうか？これで都合がいいのは男性だけではないのでしょうか？女性は常に不安と、身体の不調を抱えなければなりません！責任のない性欲、販売側の経済的利益のために、「いのち」が軽んじられてはいけません！これからの日本人のために販売を承認しないでください！絶対に反対です！</p>  |

|    |   |
|----|---|
| 44 | <p>緊急避妊ピル・ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に反対します。私は、女性の立場でまた母親として、このような中絶薬の販売承認を許す事は出来ません。妊娠したくない女性にとっては簡単に使えて安心と思うかもしれませんが、副作用については詳しい説明もなく効能、効果だけを掲げ健康を害する恐れがあるのではないのでしょうか。すでに使用している英国では10年間に104人が血栓症で死亡し、スウェーデン・ニュージーランドでも集団訴訟が起きている。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は大幅に増えるとされています。厚生省においては現在特に乳がんの検診を勧めています、このような副作用があると判っているピルを承認することは本末転倒ではないのでしょうか。緊急避妊ピルを販売承認することでどんなメリットがありますか…？誰のためのピルの解禁ですか？望まない妊娠をなくすためにですか。中絶の減少には決してつながらないと思います。英国ではむしろ中絶件数が増加しているという報告もあります。どうかこれから生命を生み育てる若い女性に、副作用のあるピルの販売承認について、考え直して頂きますようお願い申し上げます。</p>   |
| 45 | <p>私たちは「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品販売の承認に反対します。理由は以下のとおりです。1. この程、医薬品製造販売承認申請が行われた「ノルレボ錠0.75mg」は緊急避妊という効能・効果が期待され、今回緊急避妊ピル（モーニングアフターピル）という名前で初めて承認されることとなります。この緊急避妊薬は性交後72時間以内に服用すれば、受精卵の着床阻害のみならず、着床直後の受精卵の排出をする極早期中絶薬です。このような中絶薬を倫理的にも道徳的にも認めることはできません。2. このような緊急避妊ピルには副作用がありますが、この薬を服用する女性たちには、くわしく説明される事もなく効能・効果だけをうたい、女性だけに責任を負わせ女性のみが健康を害する恐れがあります。ピルの死亡例は英国で10年間に104人が血栓症で死亡、スウェーデン・ニュージーランドでは集団訴訟が起き、ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は大幅に増える。厚生省においては現在、特に乳がんの検診などを推していますが、このような副作用があると思われるピルを承認することは本末転倒ではないのでしょうか。3. 緊急避妊薬の効果に関しても、米国によるとピル服用者の一般的な妊娠率は1年以内で5%、10代の若者で10%以上です。緊急避妊薬の効果は妊娠率が服用しなかった場合の1/4になると言われています。この避妊薬は100%ではありません。一部の医師による間違った情報…「性交後72時間以内の服用で妊娠はしません」などのピル推奨は医師も含め製薬会社、厚生省担当官も倫理的に訴訟も含め罰せられることも考えられると思われます。4. 緊急避妊ピルの普及は決して中絶の減少にはつながらない。英国ではむしろ中絶件数が増加しているというエジンバラのグレイシア所長の報告もあります。またピルの普及は10代の中高生に自己決定による性交をすすめるもので、決して許されるものではありません。5. この日本では世界の中で唯一、生命を「作る」ではなく「授かる」という尊いことばで綿々と受けつがれてきた国です。生命は人間の手で操作してはいけない神の領域のものです。したがって、私たちは日本国内で承認が行われる「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売には断固反対します。5. 厚生労働省医薬食品局担当官の皆様、どうかこれからこの日本に新たな生命を生み育てる若い女性に副作用のある「ノルレボ錠0.75mg」の承認について、今一度考え直して頂けることを切に望みます。</p> |
| 46 | <p>私も、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国で10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。人間は受精の瞬間から人間として尊重され、扱われるべきであると私たちは考えます。緊急避妊ピルは受精した可能性がある胚の着床を阻止しようと望み、この薬を望み、処方を要求する物は一般的に中絶を意図していることを認識しなければなりません。4. 10代の子供たちにとって安易な性を助長します。「モーニングアフターピル」の名称は性交後の朝、簡単に中絶薬を飲むことからくるのでしょうか。全く罪悪感をもたない名称は中絶を安易にしてしまいます。</p>  |
| 47 | <p>私たちは、緊急避妊ピル・ノルレボ錠の製造販売の承認に以下の理由で反対します！1. 女性の健康を害する恐れを大変懸念します。ピルによる副作用を考えたとき、特に10代から服用した場合、血栓症で死亡した例があり、スウェーデンやイギリスなどで訴訟になっています。緊急避妊ピルはごく短期で服用のため、頭痛、吐き気、嘔吐、など何日も続くこととなります。女性の健康を害するピルは反対です。2. 安易な性交渉を助長します。ピル服用は、自己決定権による男女の性交を進めるだけです。市場拡大の製薬会社の思惑を感じます。特に中高生の子供達の性の関心は大きく、安易な性交による中絶回避の手段であってはならない事です。3. 避妊ピルは環境ホルモンで生態系を破壊します。生態系を変えるピルの合成ホルモンは、分解されにくく、体外に出たものは河川に排出されると魚などに影響が現れ、雄が雌化した事例など見られ、自然の生態系を壊す元になります。4. 生命を尊ぶ心が育ちません！カビひとつですら人間は作れません。ましてや人間の生命も作る事はできません。着床した受精卵を流してしまうことは、倫理的にかんがえて中絶を助長します。生命を闇から闇に流してしまうことは、人を尊ぶ心が失われます。</p>  |
| 48 | <p>私も、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。ノルレボ錠についても十分調査され、その内容を広く公開されているとは思えません。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 10代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。”ピルがあるから避妊しなくても大丈夫””いざとなったら飲めばいい”という安易な考えが広まり、性交渉の低年齢化が進むのではないのでしょうか？ピルに頼るのではなく、命の大切さ、命を尊重するという視点に立った教育を充実させるほうが子供たちにとっても必要なことだと思います。ノルレボ錠は性犯罪の被害者限定にした方がいいと思います。</p>          |

|    |  |
|----|--|
| 49 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |
| 50 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |
| 51 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。※十代の娘をもつ母親として安易な性を助長する事になりかねないアフターピルの認可は、大変心配です。</p>  |
| 52 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |
| 53 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。※緊急避妊ピルが一般的に普及すれば、十代の子供たちにも、安易な性交渉の末、後で緊急避妊薬を飲めばいいという安易な考えが広がりがねません。このような十代の安易な性を助長する緊急避妊ピルの承認に反対します。</p> |

|    |   |
|----|---|
| 54 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 55 | <p>私たちは緊急ピル・ノルレボ錠の承認に反対します。女性だけに性の責任を負わせ、また女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は英国で10年間に104人が血栓症で亡くなるなど、またスウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もあります。ピルは乳がんの大きな要因となり、特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えています。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐やだるさが何日も続く事になり、血栓症の危険も大変懸念されます。また避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が懸念されます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつにピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが分かりました。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされますが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べるとけた外れに強力な環境ホルモンと言えます。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。十代の子供たちの安易な性を助長するのではないかとすることも懸念されます。緊急避妊ピルの普及は中絶の現象にはつながりません。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人にまで上昇するなど、緊急避妊薬ピルの増加にもかかわらず、英国の中絶件数はむしろ増加の傾向にあると報告されています。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られます。</p>                                    |
| 56 | <p>私たちは緊急ピル・ノルレボ錠の承認に反対します。女性だけに性の責任を負わせ、また女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は英国で10年間に104人が血栓症で亡くなるなど、またスウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もあります。ピルは乳がんの大きな要因となり、特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えています。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐やだるさが何日も続く事になり、血栓症の危険も大変懸念されます。また避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が懸念されます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつにピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが分かりました。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされますが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べるとけた外れに強力な環境ホルモンと言えます。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。十代の子供たちの安易な性を助長するのではないかとすることも懸念されます。緊急避妊ピルの普及は中絶の現象にはつながりません。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人にまで上昇するなど、緊急避妊薬ピルの増加にもかかわらず、英国の中絶件数はむしろ増加の傾向にあると報告されています。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られます。</p>                                    |
| 57 | <p>私たちは緊急ピル・ノルレボ錠の承認に反対します。女性だけに性の責任を負わせ、また女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は英国で10年間に104人が血栓症で亡くなるなど、またスウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もあります。ピルは乳がんの大きな要因となり、特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えています。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐やだるさが何日も続く事になり、血栓症の危険も大変懸念されます。また避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が懸念されます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつにピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが分かりました。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされますが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べるとけた外れに強力な環境ホルモンと言えます。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。十代の子供たちの安易な性を助長するのではないかとすることも懸念されます。緊急避妊ピルの普及は中絶の現象にはつながりません。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人にまで上昇するなど、緊急避妊薬ピルの増加にもかかわらず、英国の中絶件数はむしろ増加の傾向にあると報告されています。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られます。</p>                                    |
| 58 | <p>緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。このほど医薬品製造販売承認申請が行われた「ノルレボ錠0.75mg」は『避妊に失敗した場合等に、性交後服用する避妊薬で、「緊急避妊」という効能・効果が期待されている』とされています。日本国内で初めて、いわゆる緊急避妊ピル（モーニングアフターピル）が承認されようとしていることについて厚生労働省はどのようにお考えなのでしょうか。かつて「アウシュビッツ」でユダヤ人600万の命を虐殺した歴史を持つドイツは、「命」を、その始まりである「胎児」から守ろうとするため、国の施策として「妊娠葛藤相談」や「赤ちゃんポスト」などの施策を講じております。何より、生命の尊重を優先させるとする国のビジョンの現れではないでしょうか。翻って、日本の現状は、命の始まりについての科学的・医学的・倫理的な議論もなされないうまま、なし崩し的に受精卵を中絶させる薬を承認しようとしています。このような国の在り方で、子供たちに、命の大切さを感じる心が育っていくのでしょうか。兵庫県民は「阪神淡路大震災」で、物は一瞬でなくなっただけで、何より「命があったこと」に感謝したという経験をしております。命を物とした捉えられず、簡単に殺害をしたり、幼子を虐待して死亡させる等の事件の続発は、生命軽視の風土の現れと感じます。「命は授かりもの」という日本古来の美しい文化の復活を願い、「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売承認が行われることに断固反対致します。</p>  |

|    |   |
|----|---|
| 59 | <p>緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。このほど医薬品製造販売承認申請が行われた「ノルレボ錠0.75mg」は『避妊に失敗した場合等に、性交後服用する避妊薬で、「緊急避妊」という効能・効果が期待されている』とされています。日本国内で初めて、いわゆる緊急避妊ピル（モーニングアフターピル）が承認されようとしていることについて厚生労働省はどのようにお考えなのでしょうか。かつて「アウシュビッツ」でユダヤ人600万の命を虐殺した歴史を持つドイツは、「命」を、その始まりである「胎児」から守ろうとするため、国の施策として「妊娠葛藤相談」や「赤ちゃんポスト」などの施策を講じております。何より、生命の尊重を優先させるとする国のビジョンの現れではないでしょうか。翻って、日本の現状は、命の始まりについての科学的・医学的・倫理的な議論もなされないまま、なし崩し的に受精卵を中絶させる薬を承認しようとしています。このような国の在り方で、子供たちに、命の大切さを感じる心が育っていくのでしょうか。兵庫県民は「阪神淡路大震災」で、物は一瞬でなくなっただけで、何より「命があったこと」に感謝したという経験をしております。命を物とした捉えられず、簡単に殺害をしたり、幼子を虐待して死亡させる等の事件の続発は、生命軽視の風土の現れと感じます。「命は授かりもの」という日本古来の美しい文化の復活を願い、「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品製造販売承認が行われることに断固反対致します。</p> |
| 60 | <p>私たちは、緊急避妊ピル・ノルレボ錠の製造販売の承認に以下の理由で反対します！1. 女性の健康を害する恐れを大変懸念します。ピルによる副作用を考えたとき、特に10代から服用した場合、血栓症で死亡した例があり、スウェーデンやイギリスなどで訴訟になっています。緊急避妊ピルはごく短期で服用のため、頭痛、吐き気、嘔吐、など何日も続く事になります。女性の健康を害するピルは反対です。2. 安易な性交渉を助長します。ピル服用は、自己決定権による男女の性交を進めるだけです。市場拡大の製薬会社の思惑を感じます。特に中高生の子供達の性の関心は大きく、安易な性交による中絶回避の手段であってはならない事です。3. 避妊ピルは環境ホルモンで生態系を破壊します。生態系を変えるピルの合成ホルモンは、分解されにくく、体外に出たものは河川に排出されると魚などに影響が現れ、雄が雌化した事例など見られ、自然の生態系を壊す元になります。4. 生命を尊ぶ心が育ちません！カビひとつですら人間は作れません。ましてや人間の生命も作る事はできません。着床した受精卵を流してしまうことは、倫理的にかんがえて中絶を助長します。生命を闇から闇に流してしまうことは、人を尊ぶところが失われます。</p>   |
| 61 | <p>モーニングアフターピル「ノルレボ錠」の使用に反対致します。なぜ女性だけが体の負担になる事をしなければいけないのでしょうか？生命の教育なくして性教育もありません。少なからず人体に何らかの影響があります。こんな日本で良いのでしょうか？きちんと議論してから決めて下さい。私は看護師をしております。</p>  |
| 62 | <p>緊急避妊ピルの解禁に反対します。緊急避妊ピルは女性の体にとって安全なのでしょうか。世界各地で血栓症をはじめとする副作用、ピル服用による被害が、特に10代に数多くあがっている事実があるのに、ピル以上にきつい副作用の起こる可能性が強いものを解禁するだなんて、とんでもありません。もし、このピルが普及したとしたら、中絶の歯止めどころか、その服用による被害を受ける人たちが、たくさん出てくることは明らかです。次世代を担う若い人たちのために、厚生労働省の方々の良識ある判断を期待します。</p>   |
| 63 | <p>私たちは緊急避妊ピルの製造販売の承認に以下の理由で反対します。今回の製造販売の認可について、大変危惧しております。女性にだけ、性の責任を負わせ、健康にも影響を与える恐れがあるピルの解禁について絶対に反対します。ヨーロッパでは、英国では血栓症での死亡者がかなりの人数でいるそうです。他国でも訴訟問題になっています。10代からの服用は乳癌の危険性があります。子どもたちの将来の健康を損なう可能性があるものはやめていただきたい。もっと、外国の症例の情報について慎重になるべきです。危険性について国民は知るべきです。また、緊急避妊ピルの普及は、中絶の減少には繋がりません。昨今の子どもたちの性行動をみていると、安易に手し、今エイズの拡大を予防しようとしている中、全くの逆の道をたどっているとしか思えません。そして、中絶をふやしてしまいます。子どもたちの将来を考えると、大変心配です。再度、認可については、ご検討いただきたく要望いたします。</p>  |
| 64 | <p>私は緊急避妊ピルについて反対します。1. 十代の子供たちの「不純異性交遊」の拡大につながるものである。長らく青少年相談に関わってきて今つくづく日本の家庭が崩壊しつつあることを痛感しています。そして子供たちが、その淋しさを埋めるために性行動に走るようになり、私が相談を受けたことからみると女子高生の約8割がすでに性行為を経験していること、また中には性依存症になっているのではないかとと思われる者もいる程で、ここに記載する事を憚れるような実情をみてきています。このように考えると緊急避妊ピルは、安心して不純異性交遊にふけり、これを拡大するものに他ならないものであると考えます。2. エイズ予防に逆行する行為 今、世界を挙げてエイズの予防に取り組んでいるときに、それに逆行するのが、緊急避妊ピルの解禁です。一方でエイズの予防運動をしながら一方でエイズの蔓延を助長するようなことは、絶対にあってはならないと思います。3. 避妊ピルは環境ホルモンで問題視されている 今、ヨーロッパでは避妊ピルが環境ホルモンとして問題視されているのに何故日本はそのことに目を向けないのか、製薬会社に目を向けていて、人の生命に目を向けない政治家に全く愛想がつかないです。</p>   |
| 65 | <p>国民の健康と命を守るべき厚生労働省がノルレボ錠0.75mgの製造販売を承認する意見をまとめた事を知り、一母親として反対致します。・避妊薬ピルは乳がんの大きな要因といわれており、副作用も強い。また、当人のみならず次世代の子どもにも障害を及ぼす環境ホルモンであることは、英国で調査済みであり、日本ではその検証がなされないまま、承認するのはなんのためか？女性の体を軽んじ、大切に考えていないとしか思えません。・緊急避妊ピルは短期間にピルの何倍もの量を服用になり、血栓症や強い副作用で危険も増大する。ピルによって中絶は減ってはならず、性交後72時間以内に服用すれば、受精卵の着床阻害だけでなく、着床直後の受精卵の排出をするというまさに極早期中絶薬であり、国が中絶を奨励するのですか。・中学、高校に医師が講演で「性行為後には、緊急避妊ピル」と推進していると聞きます。命につながる性を軽んじることは人の命も軽んじることにつながります。命や性の尊厳を教えず快楽の責任を女性に負わし、中絶を容認する風潮を助長するノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に反対致します。</p>  |
| 66 | <p>緊急避妊ピル・ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に反対します。私は、女性の立場でまた母親として、このような中絶薬の販売承認を許す事は出来ません。妊娠したくない女性にとっては簡単に使えて安心と思うかもしれませんが、副作用については詳しい説明もなく効能、効果だけを掲げ健康を害する恐れがあるのではないのでしょうか。すでに使用している英国では10年間に104人が血栓症で死亡し、スウェーデン・ニュージーランドでも集団訴訟が起きている。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は大幅に増えるとされています。厚生省においては現在特に乳がんの検診を勧めています。このような副作用があると判っているピルを承認することは本末転倒ではないのでしょうか。緊急避妊ピルを販売承認することでどんなメリットがありますか…？誰のためのピルの解禁ですか？望まない妊娠をなくすためにですか。中絶の減少には決してつながらないと思います。英国ではむしろ中絶件数が増加しているという報告もあります。どうかこれから生命を生み育てる若い女性に、副作用のあるピルの販売承認について、考え直して戴きますようお願い申し上げます。</p>   |
| 67 | <p>私どもは、緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. ピルの安全性に疑問があります。ピル先進国といわれている英国では、ピルによる死亡例が多数報告されており、10年間に104人が、血栓症で死亡していると報告されています。また、ピルは、乳がんの大きな要因であり、特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えているといわれています。2. 10代の子供たちの性の乱れを助長します。ピルの普及で、益々10代の安易な性交渉を助長になることが心配です。その前にいのちの大切さを伝える教育こそ緊急に必要ではないでしょうか。そもそも、女性の健康に重要な影響を及ぼすであろう薬の製造販売認可が、私たち女性にほとんど情報も知らされることなく、解禁されることは、誠にゆゆしきことだと思います。製薬会社や医師の金銭的思惑も疑われます。何卒、緊急避妊ピルの製造販売許可を許可しないようお願い致します。</p>   |
| 68 | <p>私どもは、緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 十代の子供もたちに命の大切さを伝えられませんが、安易な性交渉を助長するだけで、中絶の減少にはつながりません。受精したときから人間として尊ぶ心を子どもに一番伝えたいです。性は、いのちにつながるもの。お互いの相手を大切に思う気持ちが伴わなければならないということこそ教えないければなりません。2. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期科学的な中絶作用があります。これは、倫理上問題であるだけでなく、後日、特に女性にとって、精神的に非常に苦しみとなることが懸念されます。3. 副作用の危険性が非常に懸念されます。4. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代に影響が及びます。以上の理由により、今回あらたに販売承認が行われることに反対するとともに、その医薬品製造販売承認が行われた場合は、その使用を避けることを多くの善意の人に呼びかけたいと思います。</p>  |

|    |   |
|----|---|
| 69 | <p>緊急避妊ピル・ノルレボ錠0.75mgの医薬品製造販売承認に反対します！ピルは本当に安全な薬なのでしょうか？ピルによる死亡例は多数報告されており、イギリスでは、10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されています。またスウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きているとききます。血栓症だけでなく、乳癌の大きな要因はピルといわれており、10代から服用した場合はその危険が大幅に増えているといいます。緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するわけですが、その副作用は極めて強いといわれています。このように女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れのある緊急避妊ピルの製造販売に断固反対いたします！</p>  |
| 70 | <p>私は、十代の子供を持つ親として緊急避妊ピル一般名「ノルレボ錠」の製造販売を承認されることに反対いたします。ピルは薬品で妊娠することをさけるもので中絶と同じことだと思います。人間の力が生殖機能までおかしてよいことではないと思います。これからの日本人の生殖健全をおかすものです。そして一番きつつき、悩み、心と精神をきづつけ一生精神的ふたんをおわせるような避妊剤製造販売には、だんこ反対いたします。こういう薬剤を承認販売を認める厚生労働省を国民として認めるわけにはいきません。</p>  |
| 71 | <p>私達は、緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。学校現場ではエイズ教育と称して、平成4年からフリーセックスを前提として性教育が行われています。つまり中学生もセックスしてもいい、あたりまえという前提こそが問題であると思っています。そういう性教育を長年にわたってした結果、十代中絶が下がったこともなく、性感染症の急増、いのちの軽視による事件、虐待等が日常的にメディアに流れています。私達は20年ほど前から十代中絶が急増していることを知り、驚き、何とか、次代を担う子供達に自分のいのちの尊さ、どれほど自分が望まれて生まれてきたか、いのちの肯定感を伝えたいと思い、活動しているボランティアグループです。体の面からでも、中学生は第二次成長期でもあり、子宮の細胞が分裂していく大事な時に、化学物質である合成ホルモンを投与することは、大変危険です。特に緊急避妊ピルは高濃度のため、体に与えるダメージは、はかりしれません。益に、生命軽視の風潮に拍車のかかるピル販売承認は決して精神的にも肉体的にもプラスにはなりません。</p>  |
| 72 | <p>私たちは「ノルレボ錠0.75mg」の製造販売承認に反対します。理由は以下の通りです。1) 「ノルレボ錠0.75mg」の効能・効果は「緊急避妊」とされています。しかし、ノルレボ錠0.75mgの主たる目的は子宮内膜に作用して受精卵を着床しにくくして体外に排泄させる、あるいは着床早期の胚を死亡排泄させるところにあると言われています。したがって、それは「避妊」ではなく明らかに中絶です。通常の人工妊娠中絶を細胞レベルで不可視化して隠蔽したものに過ぎません。 私たちは、人の受精卵は受精の瞬間から人となるべく定められた存在であり、人として取り扱われるべきであると考えています。これは何も宗教的信条からのみ出た考えではなく、一般通念としても受け入れられています。例えば、科学技術会議生命倫理委員会ヒト胚研究小委員会が2000年3月に答申した「ヒト胚性幹細胞を中心としたヒト胚研究に関する基本的考え方」の中にも、「・・・ヒト胚は、いったん子宮に着床すれば成長して人になりうるものであり、ヒトの発生のプロセスは受精以降一連のプロセスとして進行し、受精に始まるヒトの発生を生物学的に明確に区別する特別な時期はない。したがって、ヒト胚はヒトの生命の萌芽としての意味を持ち、ヒトの他の細胞とは異なり、倫理的に尊重されるべきであり、慎重に取り扱わなければならないと考える」という記載があります。従来の経口避妊薬は排卵を抑制するものでしたが、ノルレボ錠0.75mgは受精卵あるいは胚の滅失・排除を目的とするもので根本的に性格が異なります。私たちはこのような人命を断つことを目的とする薬品の製造販売を認めることはできません。2) WHOその他の臨床試験によれば、ノルレボ錠0.75mgの妊娠阻害率は約80%であると言われています。逆に言えば、約20%は妊娠の可能性があるわけです。こうして生き残った胎児には薬剤による傷害が発生する危険性があります。動物実験では高用量使用の場合に胎児の死亡や傷害発生が報告されています。人間における臨床用量でも障害児出生率を増加させる可能性は排除できません。3) WHOその他の臨床試験において、多くの副作用、すなわち、頭痛、悪心・嘔吐、めまい、疲労感などが、どの試験においても高頻度に報告されています。今までの経口避妊薬による脳血栓症などの副作用は大きな問題となっていますが、ノルレボ錠0.75mgも将来問題を起す恐れがあります。人工妊娠中絶よりも母体に与える身体的、心理的損傷が少ないという意見が一部医師たちの間にあるようですが、この薬剤の副作用も看過できないと考えます。4) この薬剤によって簡単に中絶ができるということは人の生命の軽視につながります。人命軽視の風潮が社会に蔓延している現在、これをさらに助長するような薬を世に出すことは、日本の現在の道徳的頹廃をさらに推し進めることになるという危惧の念を禁じ得ません。 以上の理由から、私たちはノルレボ錠0.75mgの製造販売の承認に反対します。</p> |
| 73 | <p>着床前であれ、受精卵は命である、ということは疑い得ない事実であると考えの人が少なからずいること、そして全ての中絶という行為がその命を絶つ行為であると考えている人間（私もそうです）がいます。"望まない妊娠"という現実を受け取ったマイノリティの方々にとって、その命をどうするのかという重大なテーマは勿論考慮すべきですが、それは医療や政策ではなく、社会による解決が望ましいと考えます。マイノリティ論争は、"望まない妊娠によって宿った命"が最も弱いマイノリティであることを考えれば、議論の論点としては成り立たないと思われます。望まない命であれば、よりマジョリティである生者の側が中絶してもいい、というのはいささか乱暴な議論でしょう。また、マイノリティの立場か、生命そのものの立場か、という判断はとても難しいテーマですが、そこに医薬品を普及したい企業の商売の論理が紛れ込んでいる時点で、もっと議論が必要、というのが私の考えです。数少ない未承認国であるという事実も、商売の論理と生命の論理は違う、という重要なメッセージを世界に対して提出できるいい機会である、と逆に考えるべきだと思います。</p>   |
| 74 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |

|    |  |
|----|--|
| 75 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |
| 76 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |
| 77 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |
| 78 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。三人の娘を持つ主婦です。安全性が疑われるピルの解禁に（読み取り不明）。女性だけが危険にさらされることは娘を持つ母親として絶対に反対です。どうかピル解禁を中止してくださいようお願いいたします。</p> |
| 79 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>  |

|    |   |
|----|---|
| 80 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>   |
| 81 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>   |
| 82 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>   |
| 83 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。中絶の減少のためには、もっとするべき対策があります！</p>                       |
| 84 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。高校生でも平気でピルを使っています。保健の授業でそう教わりましたが、これはこわい事だと思います。</p> |

|    |   |
|----|---|
| 85 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 86 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 87 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 88 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 89 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |

|    |   |
|----|---|
| 90 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 91 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 92 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 93 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |
| 94 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳ガンの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p> |

|     |  |
|-----|--|
| 95  | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>        |
| 96  | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。ピルによる死亡例は多数報告されている。英国では10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。血栓症による被害は服用期間に関係なく1ヶ月以内の死亡例もある。ピルは乳がんの大きな要因で特に10代から服用した場合は、その危険が大幅に増えている。一般的には頭痛、はき気、うつ状態、イライラからの発作的暴力、性欲減退が認められるが、緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続く事になる。血栓症の危険も大変懸念される。2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解った。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。日本でも公害を起こし始めた避妊薬ピルの環境ホルモン性について、早急な調査と情報公開を求めます。3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。緊急避妊ピルの普及は中絶の減少にはつながらない。エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。1984年に15歳から44歳までの女性の1000人のうち11人から、2004年には1000人のうち17.8人に上昇している。スウェーデンでも同じ上昇パターンが見られる。</p>        |
| 97  | <p>私達は、「ノルレボ錠0.75mg」の医薬品販売の承認に反対いたします。理由は以下のとおりです。今回、医薬品製造販売承認申請が行われる「ノルレボ錠0.75mgは、緊急避妊という効能、効果が期待されています。72時間以内に服用すれば受精卵の着床阻害、着床直後の受精卵の排出をする極早期中絶薬です。もちろん副作用があり、この薬を服用する女性は、くわしく説明される事もなく、女性のみが健康を害する恐れがあります。ピルの死亡例も、英国やスウェーデン、ニュージーランドでは集団訴訟が起きているようです。（空白用紙：記載不明）厚生労働省医薬食品局担当官の皆様どうかこの日本に新たな生命を生み育てる若い女性に副作用のある「ノルレボ錠0.75mg」承認について、今一度考え直して頂ける事を切に望みます。</p>  |
| 98  | <p>承認に反対します。本来ならば「性」とは「生命」に直結するもの。とても大切なものです。今世界中が生命を大切にしたいという平和を望む思いがあるのに、何故、その生命の始まりである胎児を殺す中絶に関しては罪悪感が少ないのでしょうか。「ノルレボ錠0.75mg」は「モーニングアフターピル」と名称は柔らかいですが歴とした「中絶薬」です。昨今の日本の性道徳の乱れは目に余るものがあります。若者だけではない、大人にもモラルの欠けた行動する、しかも若年層を相手にしたり、海外の子どもを相手にしたり、身近には不倫など、そのような欲望を満足させて幸せになった人はいないのです。恐ろしい思いをした被害者はその後もずっと苦しみ続け、社会はより荒んでいきます。日本をどどん荒んだ国にしたいですか？金儲けのために「性のモラル」という本来とても人間として大切な「生命を大切に作る心」を捨ててしまっているのですか？又、別の面からはピルは環境ホルモンであり、益々、次の世代への悪影響があります。心身共にこれからの日本人、世界の人に悪害となるノルレボ錠0.75mgの製造販売は断固反対します。</p>   |
| 99  | <p>性交後に服用する緊急避妊ピルの承認について、否定的意見を述べたいと思います。1. まず、人の命の始まる受精卵に大きなダメージをあたえます。着床直後の受精卵を流産させてしまう極早期化学的中絶作用があるからです。一人の人間の命を阻害するという倫理的問題もあります。胎内の中の見えないテロとも言えるのではないのでしょうか。2. 外国ではピル服用後に血栓症で死亡したケースが報告されています。3. 乳がんの大きな要因であることも指摘されています。その他多くの副作用も報告されています。私は15歳から20歳代の多くの若者達に「与えられた命の大切さと性のあり方について」伝えていきます。その中で、命を阻害する「経口避妊薬及び緊急避妊ピル」の恐ろしさについて科学的根拠をもとに話をしてきました。学生達の反応は「ピルについて正しい知識をもっと知りたかった」「避妊出来る便利なものと思っていた」「ピルは副作用もあると初めて知った」「性感染症にかかりやすいことが分かった」など。このように若者達に正しい知識を与えないまま、ピルを服用させている誤った社会の流れは、心に痛みを感じさせないまま、「尊厳ある命を」闇に葬るといふ悪の感覚を麻痺させ、本来の愛と性から切り離されていくでしょう。若者達は「与えられた大切な命」「命を引き継ぐ使命」を大人が正しく伝えることで、本物の愛、命の尊厳について大人以上に敏感に反応します。そして真理を目指す生き方を持つようになり、「責任ある行動」「本当に愛する人のために、きちんとした知識、考えをもち誤った情報に流されないようにしたい」「これ以上感染症が広がらないために命を大切にしたい」と感じている若者もいるのです。このような若者達に対して、ピルは危険であることを知らせること。ピルに頼らない正しい生き方、性の正しい理解を家庭や学校でも伝え、又大人達が示す社会ことこそ大切と言えるでしょう。日本人の命と性が、これ以上失われてよいものではないかと。私は緊急避妊ピルの製造販売承認に強く反対します。</p> |
| 100 | <p>FAXにて失礼いたします。既に解禁されている一般的なピルも、海外では死亡例があるほど副作用が強いものだと聞いています。今回解禁されようとしている緊急避妊ピルは、一度の服用量が多い分、副作用も強いのではないのでしょうか。解禁が既に決定しているのでしたら、人体、特に吹く揺する女性への影響、それから日本の将来、子供たちの未来など、1粒のクスリによってもたらされる全ての事柄について、徹底的に調査・追及していただきたいと思ひます。情報公開も絶対して下さい！環境ホルモンをばら撒くことへの責任をきちんと取ってくださいね。誠意ある対応を期待しております。</p>  |
| 101 | <p>どうかこれから、この日本に新たな生命を生み育てる若い女性に副作用のある「ノルレボ錠0.75mg」の承認について、今一度考え直して頂けることを切に望みます。</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 102 | <p>以下の理由で中学高校生に緊急避妊薬を処方することを反対します。1. 中学高校生が、性交後に緊急避妊ピルを飲む教育・社会になる事を反対します。日本の家庭が崩壊しつつある中、子供達が寂しさをうめるために安易な性行動に走っていることを痛感します。今回の緊急避妊ピルが承認されると、安心して安易な性に走る風潮を助長することになります。母親の立場として、中学高校生が性交後に緊急避妊ピルを飲む教育・社会になることに反対します。2. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。世界中でピルによる死亡例は多数報告され、集団訴訟が起きています。緊急避妊ピルはごく短期間にピルの何倍もの量を服用するため副作用は極めて強く、子宮外妊娠、頭痛の他、吐き気止めを同時に服用しても止まらない嘔吐や、だるさが何日も続くことになり、血栓症の危険も大変懸念されます。3. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代に影響が及びます。英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることが解っています。環境ホルモンはごく微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされますが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンです。世界でピルの環境ホルモン性が問題視されているのに、なぜ日本はそのことに目を向けないのか。製薬会社に目を向けて、人の生命に目を向けない政治に反対します。4. エイズ予防に逆行する行為に反対します。今、世界を挙げてエイズの予防に取り組んでいるときに、それに逆行するのが、緊急避妊薬ピルの解禁です。一方でエイズの予防運動をしながら一方でエイズの蔓延を助長するようなことは、絶対あってはならないと思います。</p>  |
| 103 | <p>1) 避妊薬ピルは環境ホルモンであり次世代に影響が及ぶこと 2) 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があること 3) 十代の子供達の安易な性を助長させること 以上で反対します。</p>  |
| 104 | <p>私どもは、緊急ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。1. 女性だけに性の責任を負わせ、しかも女性の健康を害する恐れがあります。（ピルによる死亡例は多数報告されている。英国で10年間に104人が血栓症で死亡したと公表されており、スウェーデンやニュージーランドでも集団訴訟が起きている。）2. 避妊薬ピルは環境ホルモンであり、次世代へ影響が及びます。（英国政府環境機関の調査で、川魚の生殖異常の原因のひとつに、ピルの成分（エチニルエストラジオール）が関係していることがわかった。環境ホルモンは極微量でもその女性ホルモン作用により次世代の子供の生殖器に障害を及ぼすので問題とされるが、ピルや緊急避妊ピルの合成女性ホルモン量は1錠でも環境ホルモン物質と比べると桁外れに強力な環境ホルモンと言える。）3. 着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用があります。4. 十代の子供たちにとって安易な性を助長します。（エジンバラの初期医療機関のグレイシア所長によると、緊急避妊ピルの増加にもかかわらず英国の中絶件数はむしろ増加していると報告している。）</p>   |
| 105 | <p>私どもは、緊急避妊薬ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に反対します。理由：①10代の子ども達がセックスをし、避妊に失敗したかもしれない！と思った時、「緊急避妊薬があるから大丈夫」と子ども達が考え、そういう言葉が飛び交うようになったら…それは、恐ろしい。命に対する麻痺を感じずにはおれない。性には色々な意味合いがあるが、命に繋がる尊いものであることを忘れてはならない。②緊急避妊薬が悲しい中絶から逃れられる？緊急避妊薬を肯定することは、性の考え方がすでに中絶を肯定しているように思えます。英国では緊急避妊薬ピルが増加したにもかかわらず、中絶件数も増えていること。③製造販売の承認が決まったなら、週刊誌やティーン向け雑誌に、副作用は小さく書いて、良い薬としての印象をどんどん植え付けてくるでしょう。そこで産婦人科医の方々のモラルが問われます。WHOが限定的に緊急避妊法を勧めているといっても、限定的とは？判断は各々ことになってくるのではないかと。以上の理由で承認反対いたします。</p>   |
| 106 | <p>私は緊急避妊ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に反対します。避妊薬ピルは健康な女性が服用することで免疫が低下し、エイズにもかかり易うなると聞いています。健康な女性が不健康になってゆくのです。死亡例も多数あり血栓症の危険もあります。緊急避妊薬ピルの普及は、ますます健康な子供が生まれにくい環境になり、健康な次世代を育むことが難しくなると思います。緊急避妊薬ピルは、着床直後の受精卵を流出させてしまう極早期化学的中絶作用もあり、命を軽視した動きだと思います。絶対に製造販売承認に反対します。</p>   |
| 107 | <p>私は緊急避妊薬ピル（ノルレボ錠）の製造販売の承認に以下の理由で反対します。①娘がおり、使わせたくない ②副作用が心配</p>  |
| 108 | <p>私はノルレボ錠の製造販売を反対します。女性のからだに負担が多すぎます。日本は神の国です。発展反映するよう祈ります。</p>   |
| 109 | <p>子供達が神様から見守られこの世に生を受け、又、自分の命、相手の命を大切にしている性を大切にしていって欲しいので、性欲に走るピルを禁止することが、大人の責任だと思います。</p>  |
| 110 | <p>こんにちは。いち国民として、また人として、女性として、今回のパブコメを提出させていただきます。結論から言いますと、私はノルレボ錠0.75mgを製造販売承認することに反対です。快楽を求めることが悪いとは思いません。しかしそれは、妊娠を望まないのならきちんと避妊したうえで行うべきであり、避妊に失敗する可能性も頭に入ったうえで行うべきだと思います。若かりうが中高年だろうが。これは、避妊ではなく墮胎です。ヤツてもこれ飲めば大丈夫だから、と、安易な無避妊のセックスを楽しむ人を増やします。それは墮胎だけでなく、エイズをはじめ病気をも広めてしまうでしょう。たとえこのような薬があっても、使う側がしっかりしていれば濫用されないうえに、今の社会を見て、それに対してまっとうな判断をできないであろう人が多いのは否めません。まっとうな人が多いならそもそもこんな薬自体開発の必要がありませんが。人の一生は受精した時から始まり、受精卵も30歳も100歳も同じ人です。体の大きさや言葉が話せるかなどの違いだけです。話が出来なければ、その命は軽んじられますか？障害者や赤ちゃんや犬猫の命は軽いのですか？それと同じことだと思います。安易な妊娠により不幸な子どもが増えるなどと言いますが、不幸な子どもを増やさないということは大人の精神、心の成長によって改善していくべきであって、増やさないために墮胎を進める（この薬の開発を認めることは推進です）のはあまりにも愚か。産んだが育てられないから捨てましょう、殺処分しましょうというのと何ら変わりない。これは、殺人と同じです。まず、病院での妊娠中絶で墮胎はできるのに、わざわざこういう薬を開発せねばならない理由を示して下さい。病院での中絶だからいいというわけではありませんが、薬による副作用も考えられるのですから、そちらをわざわざ承認する必要性を述べて下さい。世の中に、考えの足りない、命も大切にできない人間が増えるばかりではないでしょうか。そうではないと言うのなら、きちんとそれを述べ、お互いに議論したいものです。</p> |
| 111 | <p>ノルレボ錠は受精卵の着床を阻害する等の効果を持つとされる、中絶のための薬物である。他の妊娠回避方法が受精を拒もうとする避妊法である点とまったく異なることに留意する必要がある。薬物としての副作用、後遺症などの検証もじゅうぶんとはいえないが、中絶手段であるという点で、母体保護法の要件を満たしているかどうかの慎重な判断を行うための時間がとれない点で採用できない方法である。受精後およそ3日以内、現実的には1日程度の短時間でないと効果を持たないにもかかわらず、この間に客観的に身体的、経済的に健康をそこなうおそれの有無を判断することはできない。暴行等によるものかどうかについても同様である。また、環境への影響についてはわが国ではほとんど研究されていないが、大きな問題となる可能性を指摘する声がある。さらに、若年層に向けた性教育に関しての効果はなく、エイズ対策に関しての取組みに全く反する行動を誘発しかねない。結論として、薬品としての販売承認を認めるべき理由はまったくくないものである。</p>   |
| 112 | <p>抵抗を感じます。目の前の即効性の強い避妊薬に意識が向くばかりで、ピルそのものや、ピルを飲んだ後どんな症状が起こるのか、女性たち自身に知識や経験がないことがほとんどなのではないでしょうか。のちのち女性の体や、また環境にどんな影響がでるか計り知れません。また、避妊薬があることで、レイプや望まない妊娠をなくすなどの根本解決に至らないような気がします。一方で、性暴力や近親姦姦、子どもの妊娠など、到底耐えられない極限の場合に限り、副作用などに同意のうえで、処方されても仕方がないこともあると思う。こうした事例をなくしていくためにも、MAPの解禁を急ぐより、じっくり性についての正しい知識と生きている実感、責任感を育てていくほうが大切だと思います。</p>  |

113 I 薬は人のいのちを救うためのものです。殺すことを目的にした薬というものは倫理的に存在できないはずで、それを薬として認め、一般の個人に処方することはできないはずで、殺すことが目的になるものなら、それは武器です。兵器です。緊急避妊をうたうこの新薬は、実際の機能においては早期中絶を目的とします。中絶は殺すことではない、ということはおかしい。早期中絶の機能をもつ新薬が標的にするのは、受精卵です。受精卵は、まだ姿形があらわれていない小さな粒であっても、後に発現する全プログラムが組み込まれた完全にデザインされた人間です。端的に人間です。われわれとなんら変わるところはありません。時間軸で捉えるなら「受精卵の段階にある人間」です。われわれが「成人の段階にある人間」であるのと同様です。着床前であろうとも、人生を開始した人間であることは疑いようがありません。科学的な事実です。感情や迷信の入り込む余地はありません。従って意図的にその消去を試みることは、殺戮以外のなにものでもありません。論理的な事実として、まずそのことが社会全体で認められなければなりません。そのうえで、このケースでの殺人の扱いについて検討されなければなりません。法的には問題がないのかもしれませんが、そもそも“被害者”を弁護するひとはいないでしょうから。しかし、処置は簡単でも、ひとりの人間が殺されるという重い事実は残ります。そのときは動転しながらこの薬に頼ったとしても、後に、母親（だった人）の心身にどんな影響を及ぼすか計り知れません。トラウマまで拡散するそんな殺戮目的の化学兵器を、もし薬として認めれば、製薬会社に働く多くの善意の人たちの良心を挫くことにもなるでしょう。小さいのちが、誰からも愛されることがないまま消されていく。そのたびに、社会は希望を失っていくでしょう。II どうしてこんな悲劇が起こるのでしょうか。ますます悲劇の連鎖から逃れられないのはどうしてでしょうか。いまいちど、われわれ人間として、足もとを整理する必要があるでしょう。歴史的に、われわれは“近代の人間”というふうに定義されます。それは、個人として自分の足で自立できることを前提とします。以前には神を目的としていた人間が、自己を目的化することになりました。それは素晴らしい“夜明け”であるように思えました。「神の道具」として生きることからの解放。個人の権利として与えられる自由。われわれの社会には輝かしい未来が待ち受けていると人々は信じた。しかし、どうでしょう。われわれは本当に自分の足で立てているでしょうか。いま、この社会を“輝かしい”と思える人がどれだけいるでしょうか。自立できるといふほどに人間は強くなれたでしょうか。われわれは、ちょっとしたことで自分を失わないでしょうか。自立どころか、資本の論理に屈して自己を捨てない限り、企業は経営を成り立たせられなくなっているのではないのでしょうか。自立がもてはやされるのは、消費欲求を駆り立てるためではないのでしょうか。けっきょく近代の人間は「資本の道具」になっただけなのではないのでしょうか。資本は、かつての植民地の代わりに、女性の身体を支配していないのでしょうか。資本が生き延びるために、いのちが犠牲になる。それでいいのでしょうか。誰も自分ひとりの足で立つことはできないという深遠な事実を、いま一度、社会全体が見つめ直すべきときが来たのかもしれませんが。われわれの社会は、互いが支え合うことでしか生きられません。権利を行使できる成人の大人同士の関係だけではなく、産まれる前の小さいのちとも支え合わなければなりません。そこにしか人類の希望はありません。

114 ノルレボ錠という名前だけかいてありますが、これは、緊急避妊ピルのことであり、安易に承認されることで、女性の健康が害されるばかりか、女性だけに性の責任をおわせることになりかねない。英国で10年に、104人が脳血症で死亡したと公表されており、大変危険である。私達は、これからの子供たちの性の健全さと安全を考える上でも、断固として緊急避妊ピル・ノルレボ錠0、75mgの製造販売の承認に反対いたします。

## その他のご意見

1 ノルレボ錠につきましては、一般的に緊急避妊薬という視点により承認の是非を問われがちです。しかしながら、緊急避妊薬だけでなく、子宮筋腫の治療薬としての見方も重要です。子宮筋腫治療薬として現在認められている、ピルでは、副作用が大変強く、ねむけ、だるさ、食欲不振など、職業を持っている子宮筋腫患者が厳しい生活をせざるを得ない副作用に苦しめられています。そうした患者の苦しみを和らげる役割としても、ノルレボ錠が必要ではないかと考えます。望まない妊娠を避けるためだけでなく、子宮筋腫患者の妊娠の願いを叶える為の薬として、ノルレボ錠が使用されることを願ってやみません。また、日本の啓蒙活動により、中国、インド、東南アジアなどにおいても、ノルレボ錠が普及されることを期待しています。